

令和7年度 岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事

図面リスト								
【意匠】			A-19	矩計図（2）	1/40	【電気設備】		
A-00	表紙・図面リスト	—	A-20	展開図	1/80	E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	—
A-01	建築木造工事特記仕様書 1	—	A-21	建具表	1/100	E-02	電気設備平面図	1/100
A-02	建築木造工事特記仕様書 2	—	A-22	屋根詳細図	1/4	【機械設備】		
A-03	建築木造工事特記仕様書 3	—	A-23	ホース乾燥塔詳細図	1/50	M-01	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	—
A-04	建築木造工事特記仕様書 4	—	A-24	ホース乾燥塔基礎詳細図	1/30 1/60	M-02	配置図（改築前）	1/100
A-05	建築木造工事特記仕様書 5	—	A-25	汲取便槽詳細図	1/30	M-03	配置図（改築後）	1/100
A-06	建築木造工事特記仕様書 6	—	【構造】			M-04	機械設備平面詳細図	1/50
A-07	建築木造工事特記仕様書 7	—	S-01	木造在来軸組工法標準納まり図（1）	—			
A-08	建築木造工事特記仕様書 8	—	S-02	木造在来軸組工法標準納まり図（2）	—			
A-09	建築概要・仕上表	—	S-03	木造在来軸組工法標準納まり図（3）	—			
A-10	附近見取図・配置図	1/150 1/2500	S-04	基礎伏図・杭伏図・基礎詳細図	1/30 1/100			
A-11	仮設計画図（参考）兼外構図	1/100	S-05	1階床伏図・2階床伏図・軸組図	1/150			
A-12	面積表	1/100	S-06	小屋伏図・母屋伏図	1/50 1/150			
A-13	平面図・天井伏図	1/100	【解体】					
A-14	壁量計算表（1）	1/100	K-01	建築解体工事特記仕様書	—			
A-15	壁量計算表（2）・LVS検討表	1/150	K-02	解体撤去配置図兼仮設計画図（参考）	1/100			
A-16	平面詳細図	1/60	K-03	【解体建物①②】平面図・立面図・基礎伏図	1/100 1/50			
A-17	立面図・断面図	1/100	K-04	【解体建物③】平面図・立面図	1/100 1/50			
A-18	矩計図（1）	1/40	K-05	電気設備撤去図	1/50			

工 事 名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.		
図 面 名		表紙・図面リスト			縮尺	—			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和7年4月				
公共建築課	課 長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任			設計担当

④ 木造工事	⑬ レディーミクスト コンクリート [6. 4. 1~2]	※Ⅰ類（JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類	5 軸組構法（壁構造系）工事	1 共通材料 [5. 2. 2~3]	軸組構法（壁構造系）工事に使用する木材は、使用材料表1による 軸組構法（壁構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による	⑥ 軸組構法（軸構造系）工事	9 接合金物の工法 [5. 5. 8]	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタン断熱材（JIS A 9526）	7 枠組壁工法工事	3 現寸図 [6. 4. 2]	床書き現寸図 ・作成する	R05_01																							
	⑭ セメントの種類 [6. 3. 1]	表6. 3. 1		2 接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・接合金物 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		10 釘及び木ねじの工法 [5. 5. 9]	釘及び木ねじの種類、本数及び間隔 ・図示 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ埋め木		⑤ 木材の表面仕上げ [6. 4. 6]	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・構造用集成材 ・機械加工 ・A種 ※B種 ・機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種																								
	⑮ 骨材の種類 [6. 3. 1] [6. 5. 4]	表6. 3. 1								⑥ アンカーボルトの 設置等 [6. 5. 3]	埋込み深さ ※図示 ・ 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示																								
	19 混和材料 [6. 3. 1]	※混和剤（JIS A 6204に適合するA剤、A剤減水剤又は高性能A剤減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205による防錆材とする。） ・混和材（JIS A 6201に適合するフライアッシュのⅠ種、Ⅱ種、若しくはⅣ種、JIS A 6206による高炉スラグ微粉末、JIS A 6207によるシリカフューム又はJIS A 6202による膨脹材とする。）						⑦ 基礎天端及び柱底 均し等の仕上げ [6. 5. 4]		材料 ○（6. 5. 4）（ア）による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※20mm程度 工法 ・A種 ※B種																									
	⑯ コンクリート強度 試験 [6. 9. 3]	※調査管理強度の管理試験、構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定試験及び構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定試験は公的機関において行う。						⑧ 建方精度 [6. 5. 7]		建入れ直し後の建方精度の許容値 ※1/1000以下 ・図示																									
	① 木材の寸法表記 [4. 1. 3]	本設計図において用いる、木材の断面を表示する寸法は、仕上り寸法とする						⑨ 接合金物の工法 [6. 5. 9]		熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタン断熱材（JIS A 9526）																									
	② 木材の含水率の表記	本設計図において用いる、木材の含水率は、表記された数値以下の値とする						10 輪型ジベル [6. 5. 15]		種類、材質、形状、寸法 ・図示 ・																									
	③ ホルムアルデヒド [4. 1. 4]	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆						11 圧入型ジベル [6. 5. 16]		種類、材質、形状、寸法 ・図示 ・																									
	④ 防蟻・防蟻処理 [4. 2. 1~3]	・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 <table><tr><td>適用部材</td><td>薬剤の加圧注入</td><td>薬剤の塗布等</td></tr><tr><td>・</td><td>・K2 ・K3 ・K4 ・行う</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・K2 ・K3 ・K4 ・行う</td><td>・</td></tr></table> インサイジング ・適用する ・適用しない ○薬剤塗布等による防蟻・防蟻処理 <table><tr><td>適用部材</td><td>薬剤の種類</td><td>処理の方法</td></tr><tr><td>○L-L.0m以内の柱、筋交い、土台</td><td>※図示 ・</td><td>※4.2.1(ウ)(b)による ・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 <table><tr><td>適用部位</td><td>処理の方法</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入（K3）による防蟻・防蟻処理 適用部位 ※図示 ・ ・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書 ・4.2.2(ア)による ・4.2.2(イ)による 配筋 ・図示 ・ ・地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統（ ） 剤型の種類 ・液剤 ・粒剤 処理方法及び使用量 ・帯状散布（帯状の幅：約20cm） 液剤：処理長さ1L/m 粒剤（ ） ・面状散布 液剤：3L/m2 粒剤（ ）		適用部材	薬剤の加圧注入		薬剤の塗布等	・		・K2 ・K3 ・K4 ・行う	・		・	・K2 ・K3 ・K4 ・行う	・	適用部材	薬剤の種類	処理の方法	○L-L.0m以内の柱、筋交い、土台	※図示 ・	※4.2.1(ウ)(b)による ・	・	・	・	適用部位	処理の方法	・	・	・	・				12 火打土台 [6. 6. 2]	木材の火打土台 ・適用する 鋼製火打土台 ・適用する
	適用部材	薬剤の加圧注入		薬剤の塗布等																															
・	・K2 ・K3 ・K4 ・行う	・																																	
・	・K2 ・K3 ・K4 ・行う	・																																	
適用部材	薬剤の種類	処理の方法																																	
○L-L.0m以内の柱、筋交い、土台	※図示 ・	※4.2.1(ウ)(b)による ・																																	
・	・	・																																	
適用部位	処理の方法																																		
・	・																																		
・	・																																		
5 防蟻措置 [4. 2. 4]	・基礎外周部の換気孔 ・ねこ土台 材質等（ ） ・換気孔 材質等（※防鼠スクリーン又は防虫網） ・小屋裏換気 ・4.2.4(3)(a) ・4.2.4(3)(b) ・4.2.4(3)(c) ・4.2.4(3)(d) ・4.2.4(3)(e) 換気孔の大きさ ※図示 ・					13 火打梁 [6. 7. 8] [6. 8. 6]	小屋組 木製の火打梁 ・適用する 鋼製の火打梁 ○適用する 床組 木製の火打梁 ・適用する 鋼製の火打梁 ・適用する																												
6 防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法（ ） 防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・ ・防火被覆の厚さ ・図示による ・ ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・ ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・ ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・ ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・ ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・ ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・ ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・ ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による ・ 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による ・ 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・ ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・ ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・ ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による ・ 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による ・ 不燃処理木材等 ・図示による ・	3 仕口及び継手の工法 [5. 4. 2]	・仕口及び継手の工法 ※図示	4 孔あけ加工 [5. 4. 3]	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表5.4.2による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示	5 木材の表面仕上げ [5. 4. 4] [18. 3. 2]	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 ・機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・構造用集成材 ・機械加工 ・A種 ※B種 ・丸太材 ・機械加工 ・A種 ・B種 ・手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種																												
		6 アンカーボルトの 設置等 [5. 5. 3]	埋め込み深さ ※図示 ・ 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示	7 基礎天端及び柱均し モルタル仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書表5. 5. 4（イ）による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示	8 建方精度 [5. 5. 6]	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※1/1000以下 ・図示																												

④ 木造工事	① 共通材料 [6. 2. 2~3]	軸組構法（軸構造系）工事に使用する木材は、使用材料表3による 軸組構法（軸構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による	7 枠組壁工法工事	1 共通材料 [7. 2. 2. 3]	・釘及び木ねじ ・釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘	R05_02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	② 接合金物・接合具等 [6. 2. 4] [6. 5. 10~16]	○接合金物 ○Z、C、X、D、Sマーク表示金物		2 接合具・接合金物等 [7. 2. 4] [7. 5. 8]	・釘及び木ねじ ・釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		<table><tr><td>種類</td><td>Z、C、X、D、Sマークの規格</td><td>短期許容耐力(kN)</td><td>その他</td></tr><tr><td>○火打金物</td><td>Z、D、S等間等以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○筋かいプレート</td><td>Z、D、S等間等以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○引き寄せ金物</td><td>Z、D、S等間等以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・梁受け金物</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書表6.2.2による 寸法 ※図示 座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.3（ ）種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.4（ ）種 表面処理 ※図示		種類	Z、C、X、D、Sマークの規格		短期許容耐力(kN)	その他	○火打金物	Z、D、S等間等以上			○筋かいプレート	Z、D、S等間等以上			○引き寄せ金物	Z、D、S等間等以上			・梁受け金物				・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格		短期許容耐力(kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○火打金物	Z、D、S等間等以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	○筋かいプレート	Z、D、S等間等以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	○引き寄せ金物	Z、D、S等間等以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

[illegible]

[illegible]

使用材料表 1	・ JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材 (G)									
	施工箇所	樹種	構造材の種類		等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用	
			・構造材Ⅰ	・構造材Ⅱ	・乙種	・1級	・2級	・3級	・15	・20
			・構造材Ⅰ	・構造材Ⅱ	・乙種	・1級	・2級	・3級	・15	・20
			・構造材Ⅰ	・構造材Ⅱ	・乙種	・1級	・2級	・3級	・15	・20
	・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材 (G)									
	施工箇所	樹種	曲げ性能等級		寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用		
						・15	・20			
						・15	・20			
						・15	・20			
(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ										
(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準 (等級と曲げヤング係数)										
等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150				
曲げヤング率 (×10N/mm ²)	3.9以上	5.9以上	7.8以上	9.8以上	11.8以上	13.7以上				
	～5.9未満	～7.8未満	～9.8未満	～11.8未満	～13.7未満					
・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 (G)										
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	形状	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用			
		・特等	・1等	・2等	・耳付材	・10	・13			
		・特等	・1等	・2等	・耳付材	・10	・13			
		・特等	・1等	・2等	・耳付材	・10	・13			
加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材:)										
・無等級材 (G)										
施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	等級 (材面の品質)	間伐材等の適用			
		・			・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験 (対象部材:)	・ JAS 1083-4 製材-第4部: 機械等級区分構造用製材				
		・			・縦振動ヤング係数測定 (対象部材:)					
		・								
旧 J A S 規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。										
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 (G)										
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用					
				・15	・20					
				・15	・20					
				・15	・20					
・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (G)										
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用				
		・1級	・2級		・15	※20				
		・1級	・2級		・15	※20				
		・1級	・2級		・15	※20				
・ 「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 (G)										
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用		
				・1級	・2級	・3級	・A	・B	・C	
				・1級	・2級	・3級	・A	・B	・C	
				・1級	・2級	・3級	・A	・B	・C	
・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 (G)										
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用			
		化粧薄板: 芯材:				・1等				
		化粧薄板: 芯材:				・2等				
		化粧薄板: 芯材:								
・ JAS 0600に基づく甲種枠組材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用				
					・等級	・1級	・2級	・3級		
					・等級	・1級	・2級	・3級		
					・等級	・1級	・2級	・3級		
・ JAS 0600に基づく乙種枠組材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用				
					・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ			
					・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ			
					・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ			
・ JAS 0600に基づくMS R枠組材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MS R等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用					
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMS R枠組材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用					
・ JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用						
			・等級	・1級	・2級	・3級				
			・等級	・1級	・2級	・3級				
			・等級	・1級	・2級	・3級				
・ JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用						
			・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ					
			・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ					
			・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ					
・ 「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMS R枠組材 (G)										
施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MS R等級)	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用						

・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用				
・ JAS 0701に基づく構造用単板積層材 (G)									
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用	
				・A	・B	・C	・K3		
				・A	・B	・C	・K3		
				・A	・B	・C	・K3		
・ 丸太材 (G)									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	末口径 (mm)	間伐材等の適用				
			・20	・					
			・20	・					
			・20	・					
加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材:)									
・ 木質接着成形軸材料 (G)									
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用					
			・						
			・						
			・						
・ 木質複合軸材料 (G)									
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用					
			・						
			・						
			・						
・ 木質断熱複合パネル (G)									
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用					
			・						
			・						
			・						
・ 木質接着複合パネル (G)									
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用					
			・						
			・						
			・						
・ C L T (直交集成板) (G)									
施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用		
・ 構造用パーティクルボード (G)									
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用				
・ 構造用MDF (G)									
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用				
・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用	
	※12	※1類	※2級	※C-D					
	・	・特等	・1級	・					
	・	・1類	・2級	・					
	・	・特等	・1級	・					
	・	・1類	・2級	・					
	・	・特等	・1級	・					
・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名		接着の程度	間伐材等の適用				
				・1類	・特等				
				・1類	・特等				
				・1類	・特等				
・ JAS 0360に基づく構造用パネル (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験	・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用					
		・1級	・2級	・3級	・4級				
		・1級	・2級	・3級	・4級				
		・1級	・2級	・3級	・4級				
使用材料表 2									
・ JAS 0600に基づく甲種枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用			
					・等級	・1級	・2級	・3級	
					・等級	・1級	・2級	・3級	
					・等級	・1級	・2級	・3級	
・ JAS 0600に基づく乙種枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用			
					・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ		
					・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ		
					・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ		
・ JAS 0600に基づくMS R枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MS R等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用				
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMS R枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用				
・ JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用					
			・等級	・1級	・2級	・3級			
			・等級	・1級	・2級	・3級			
			・等級	・1級	・2級	・3級			
・ JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用					
			・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ				
			・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ				
			・コンストラクション	・スラグ-ード	・3フィリ				
・ 「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMS R枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MS R等級)	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用					

・ 「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 (G)									
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用	
				・1級	・2級	・3級	・A	・B	・C
				・1級	・2級	・3級	・A	・B	・C
				・1級	・2級	・3級	・A	・B	・C
・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 (G)									
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
		化粧薄板: 芯材:				・1等			
		化粧薄板: 芯材:				・2等			
		化粧薄板: 芯材:							
・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材 (G)									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能等級	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用			
				・SD15	・SD20				
				・SD15	・SD20				
				・SD15	・SD20				
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 (G)									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用				
(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ									
(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準 (等級区分と曲げヤング係数)									
等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150			
曲げヤング率 (×10N/mm ²)	3.9以上	5.9以上	7.8以上	9.8以上	11.8以上	13.7以上			
	～5.9未満	～7.8未満	～9.8未満	～11.8未満	～13.7未満				
・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 (G)									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	基準強度の測定	等級	形状	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用	
				・特等	・1等	・2等	・耳付材	・10	・13
				・特等	・1等	・2等	・耳付材	・10	・13
				・特等	・1等	・2等	・耳付材	・10	・13
加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材:)									
・無等級材 (G)									
施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	等級 (材面の品質)	間伐材等の適用		
					・ JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験 (対象部材:)	・ JAS 1083-4 製材-第4部: 機械等級区分構造用製材			
					・縦振動ヤング係数測定 (対象部材:)	・旧 J A S 規格第10条 ひき角類1等			
旧 J A S 規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。									
・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (G)									
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用			
		・1級	・2級		・SD15	・SD20			
		・1級	・2級		・SD15	・SD20			
		・1級	・2級		・SD15	・SD20			
・ JAS 0600に基づく甲種枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用			
			・特等	・1級	・2級	・3級			
			・特等	・1級	・2級	・3級			
			・特等	・1級	・2級	・3級			
・ JAS 0600に基づく乙種枠組材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用			
			・特等	・1級	・2級	・3級			
			・特等	・1級	・2級	・3級			
			・特等	・1級					

・JAS 0600に基づく甲種たて離ぎ材 (G)					・C L T (直交集成板) (G)					・木質接着成形軸材料 (G)					・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用	施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級																				※1等 ・	
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級																				※1等 ・	
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級																				※1等 ・	
・JAS 0600に基づく乙種たて離ぎ材 (G)					丸太組壁用木材					・木質複合軸材料 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用	施工箇所	機械加工の丸太組壁用木材 (G)	寸法 (mm)	品質	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
			・コンストラクション ・スタンダード ・スフィヤ																			※1等 ・		
			・コンストラクション ・スタンダード ・スフィヤ																			※1等 ・		
			・コンストラクション ・スタンダード ・スフィヤ																			※1等 ・		
・JAS 1083-5 製材-第5部に基づくMSRたて離ぎ材 (G)					・手加工の丸太組壁用木材 (G)					・木質断熱複合パネル (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MSR等級)	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用	施工箇所	樹種	径 (mm)	品質	間伐材等の適用	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
								・図示 ・8.2.2(1)(c)による ・図示 ・8.2.2(1)(c)による ・図示 ・8.2.2(1)(c)による																
・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (G)					丸太組壁以外に用いる木材					・木質接着複合パネル (G)					・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (G)									
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	品質	間伐材等の適用	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用			
		・1級 ・2級		・15 ※20				・図示 ・8.2.2(2)(c)による ・図示 ・8.2.2(2)(c)による ・図示 ・8.2.2(2)(c)による											※図示	※15 ・				
		・1級 ・2級		・15 ※20															※図示	※15 ・				
		・1級 ・2級		・15 ※20															※図示	※15 ・				
・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 (G)					・JAS 0600に基づく目視等級区分構造用製材 (G)					・柱に用いる丸太材 (G)					・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 (G)									
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	構造材の種類	等級	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用	
				・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C							・構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級	・15 ・20							※図示	※15 ・		
				・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C							・構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級	・15 ・20							※図示	※15 ・		
				・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C							・構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級	・15 ・20							※図示	※15 ・		
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材 (G)					・「合板の日本農林規格」による構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能等級	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用	
				・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C							・15 ・20 ・15 ・20 ・15 ・20				※12 ・	※1種 ・特級	※2級 ・	※C-D					
				・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C											・	・1種 ・特級	・2級 ・	・					
				・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C											・	・1種 ・特級	・2級 ・	・					
・JAS 0701に基づく構造用単板積層材 (G)					(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 (G)									
施工箇所	品名	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用						
		・A ・B ・C			・A種 ・B種		・K3									・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
		・A ・B ・C			・A種 ・B種		・K3									・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
		・A ・B ・C			・A種 ・B種		・K3									・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
・構造用鋼材					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・JAS 0701以外造作用単板積層材 (G)									
施工箇所	材料	形状	板厚 (mm)	表面処理	強度	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用						
																	・1種 ・特級							
床材、壁材及び屋根下地材					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理の適用	間伐材等の適用					
	※12 ・	※1種 ・特級	※2級	※C-D												・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
		・1種 ・特級	・2級	・												・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
		・1種 ・特級	・2級	・												・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
		・1種 ・特級	・2級	・												・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧 ・塗装)								
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用				
						・1種 ・特級																		
・JAS 0360に基づく構造用パネル (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用		
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級							・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C														
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級							・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C														
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級							・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C														
・パーティクルボード (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用			
	※15		※13タイプ																					
・ハードボード (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	油、油脂などの特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用				
・バルブセメント板 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	種類	備考	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	
		・かさ密度による区分	・化粧加工の有無による区分																					
		・0.9板 ・1.0板	・普通板 ・化粧板																					
		・0.9板 ・1.0板	・普通板 ・化粧板																					
		・0.9板 ・1.0板	・普通板 ・化粧板																					
・MDF (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	厚さ (mm)	普通MDF、構造用MDFの区分	表裏面の状態による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用					
・国土交通大臣の認定を受けた耐力壁に使用する壁材 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	仕様	強度	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率 (%)	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・15 ※20 ・15 ※20 ・15 ※20																					
・JAS 0600に基づく甲種たて離ぎ材 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級																					
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級																					
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級																					
・JAS 0600に基づく乙種たて離ぎ材 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・スフィヤ																					
			・コンストラクション ・スタンダード ・スフィヤ																					
			・コンストラクション ・スタンダード ・スフィヤ																					
・JAS 0600に基づくMSRたて離ぎ材 (G)					・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (G)					・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 (G)									
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用	施工箇所	厚さ (mm)				

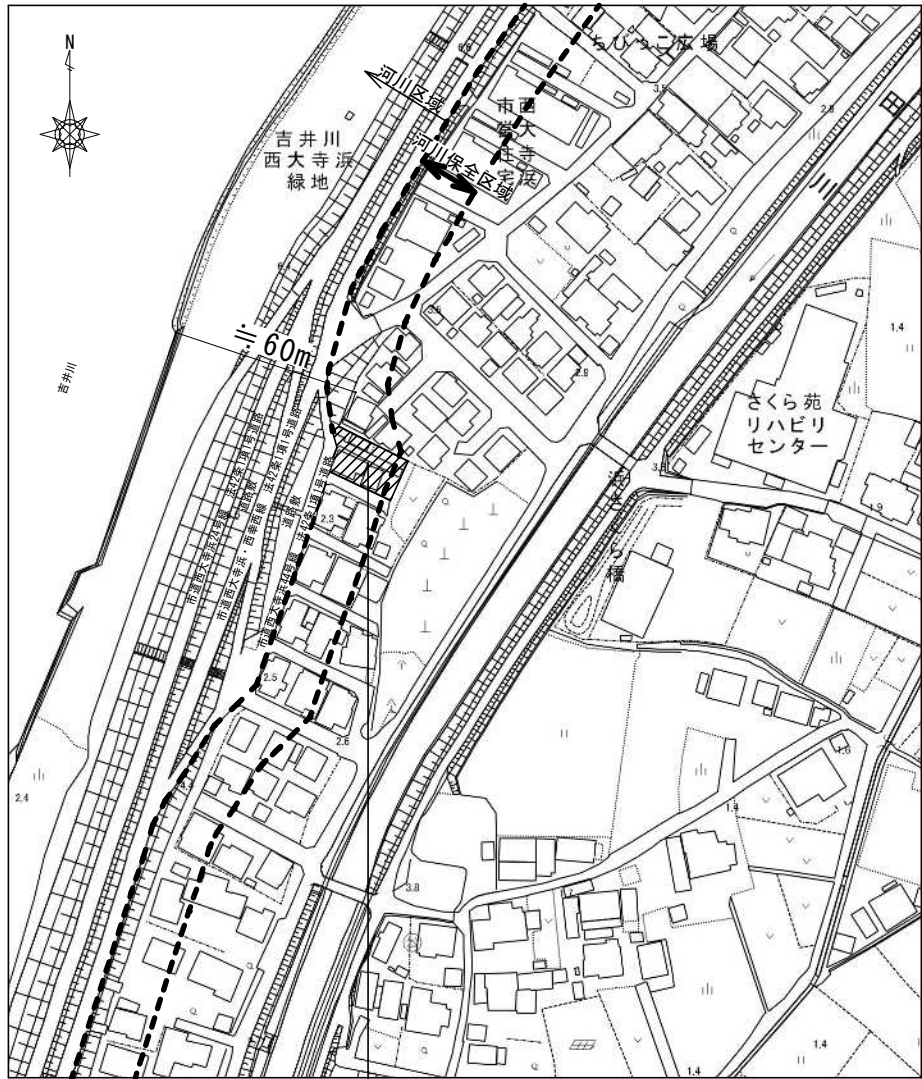
建 築 概 要			外 部 仕 上 表		
工 事 名 称	岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事	規 模	敷地面積 353.65㎡(106.98坪)	外 部 巾 木	コンクリート打放シ 撥水材塗布
工 事 場 所	岡山市東区西大寺浜190番地		建築面積 33.12㎡(10.01坪)	外 壁	防火サイディングt16 横張り 構造用合板t9 下地
主 要 用 途	消防機庫		延床面積 66.24㎡(20.03坪)	屋 根	着色ガルバリウム鋼板t0.4 タテハゼ葺 野地板：構造用合板t=12、改質アスファルト-フィング下地
工 事 種 別	改築		1階床面積 33.12㎡(10.01坪)	軒 裏	軒天井*'-d't12 一部有孔ボード 塗装品
構 造	木造2階建		2階床面積 33.12㎡(10.01坪)	庇	箱庇：着色ガルバリウム鋼板t0.4 平葺 軒裏：軒天井*'-d' t12 塗装品
用 途 地 域	第1種中高層住居専用地域			雨 樋	軒樋：塩ビ角樋 SUS受金物 前高120 堅樋：カラーVP60 SUS控金物
防 火 地 域	-			建 具	アルミサッシ(カラー) 軽量スチールシャッター
				断 熱 材	天井面：グラスウール t105 16kg/m3 外壁面：グラスウール t75 16kg/m3
				犬 走 り	コンクリート金コテ直押エ

[illegible]

シ ャ ッ プ ハ ウ ス 検 討 表													
階 数	部 屋 名	換 気 種 別	床 面 積 （ m ² ）	天 井 高 （ m ）	部 屋 容 積 （ m ³ ）	換 気 回 数 （ 回 ／ h ）	必 要 換 気 量 （ m ³ ／ h ）	設 計 換 気 量 （ m ³ ／ h ）	換 気 扇 メーカ一 名 品 番				
2 階	詰 所	3 種	19.87	2.40	47.69	0.3	14.31						
	湯沸ｺｰﾅｰ		6.62	2.56	16.95		5.09	38.00	V-08KLD4				
	合 計						19.99 (≒ 20.0)	38.00					
天 井 裏 等	・ 小屋裏、天井裏への措置：第3種材料以上を使用、及び密閉措置とする。												
建 築 材 料 一 覧 表			部 屋 名	面 積 (㎡)	仕 上 部 分	種 別	記 号	長 さ (m)	高 さ (m)	面 積 (㎡)	係 数	使 用 面 積 (㎡)	合 計 判 定
記 号	建 築 材 料		種 別	詰 所	19.87	床	F☆☆☆☆	b					O K
a	クッションフロアー（床）		F☆☆☆☆			壁	F☆☆☆☆	c					
b	タタミ敷（床）		F☆☆☆☆			天井	F☆☆☆☆	e					
c	ビニールクロス（壁）		F☆☆☆☆			建具	F☆☆☆☆	f					
d	化粧ケイ酸カルシウム板（壁）		F☆☆☆☆	湯沸ｺｰﾅｰ	6.62	床	F☆☆☆☆	a					O K
e	化粧石膏ボード（天井）		F☆☆☆☆			壁	F☆☆☆☆	c					
f	ポリ合板フラッシュ（木製建具）		F☆☆☆☆			天井	F☆☆☆☆	e					
						建具	F☆☆☆☆	f					

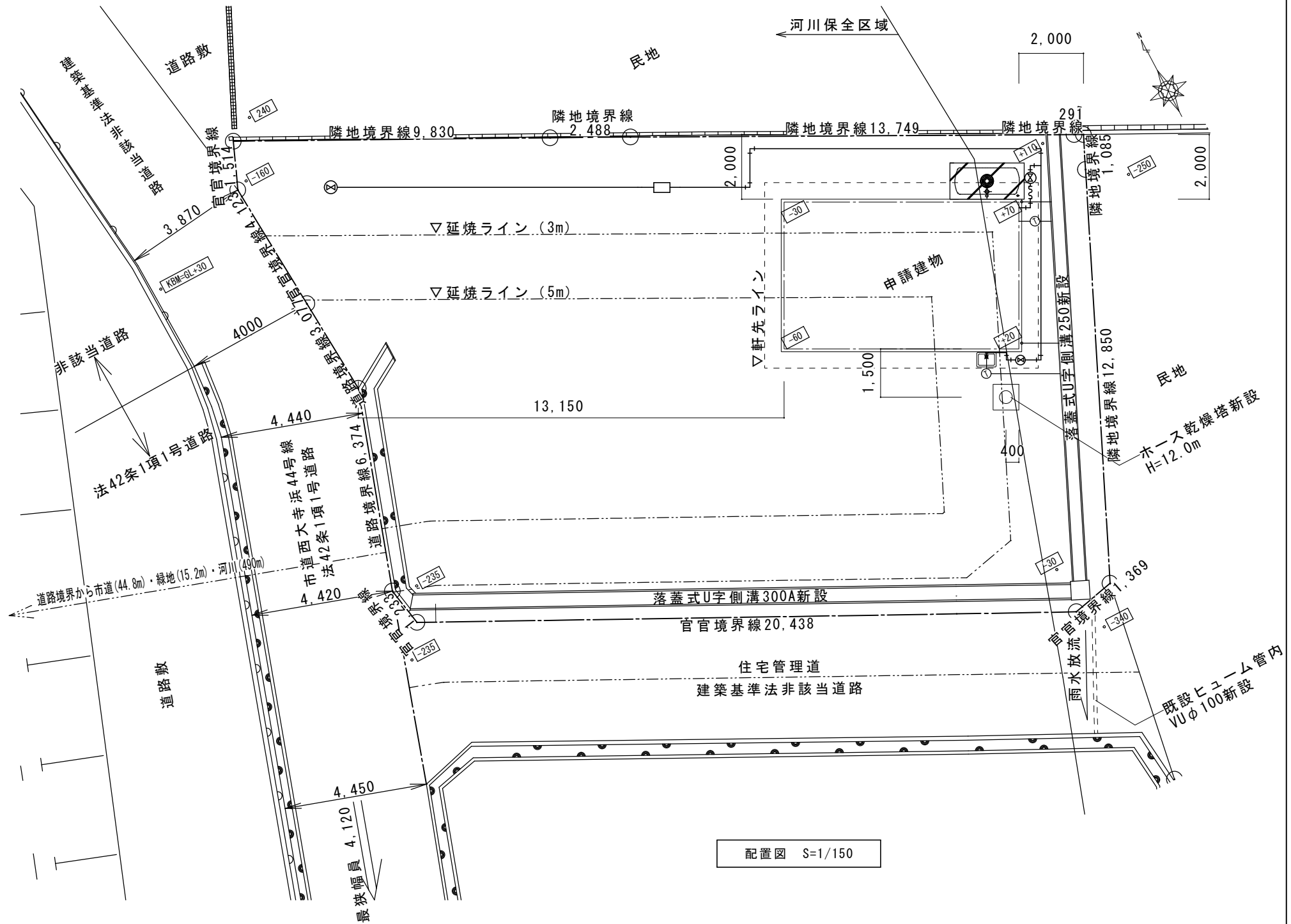
〔 注 記 〕					
〈 下 地 材 〉		〈 塗 装 記 号 〉		〈 認 定 番 号 〉	
P B	プラスターボード	O S C	オイルステインクリア	壁：ケイ酸カルシウム板t6	不燃認定：NM－1 0 0 1
		E P	合成樹脂エマルジョン	壁：P B t12.5下地　ビニールクロス	準不燃認定：QM－9 2 9 6
				天井：化粧石膏ボードt9.5	準不燃：QM－0 5 2 4
				流シ廻り壁：化粧ケイ酸カルシウム板t6	不燃認定：NM－3 4 3 0
				便所腰壁：化粧ケイ酸カルシウム板t6	不燃認定：NM－3 4 3 0
				外壁：防火サイディングt16　P C 0 3 0 B E－9 2 0 1（防火）	
				（内壁：P B t-9.5mm以上　若しくは、合板t-4以上+ガラス-1t-75　施工の事）	
				軒裏：軒天井+”-t”　QF030RS-0154<フラット板>　t12	
				QF030RS-0155<有孔板>　t12	

工事名 岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事							No. A-09
図面名 建築概要、仕上表					縮尺	—	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当

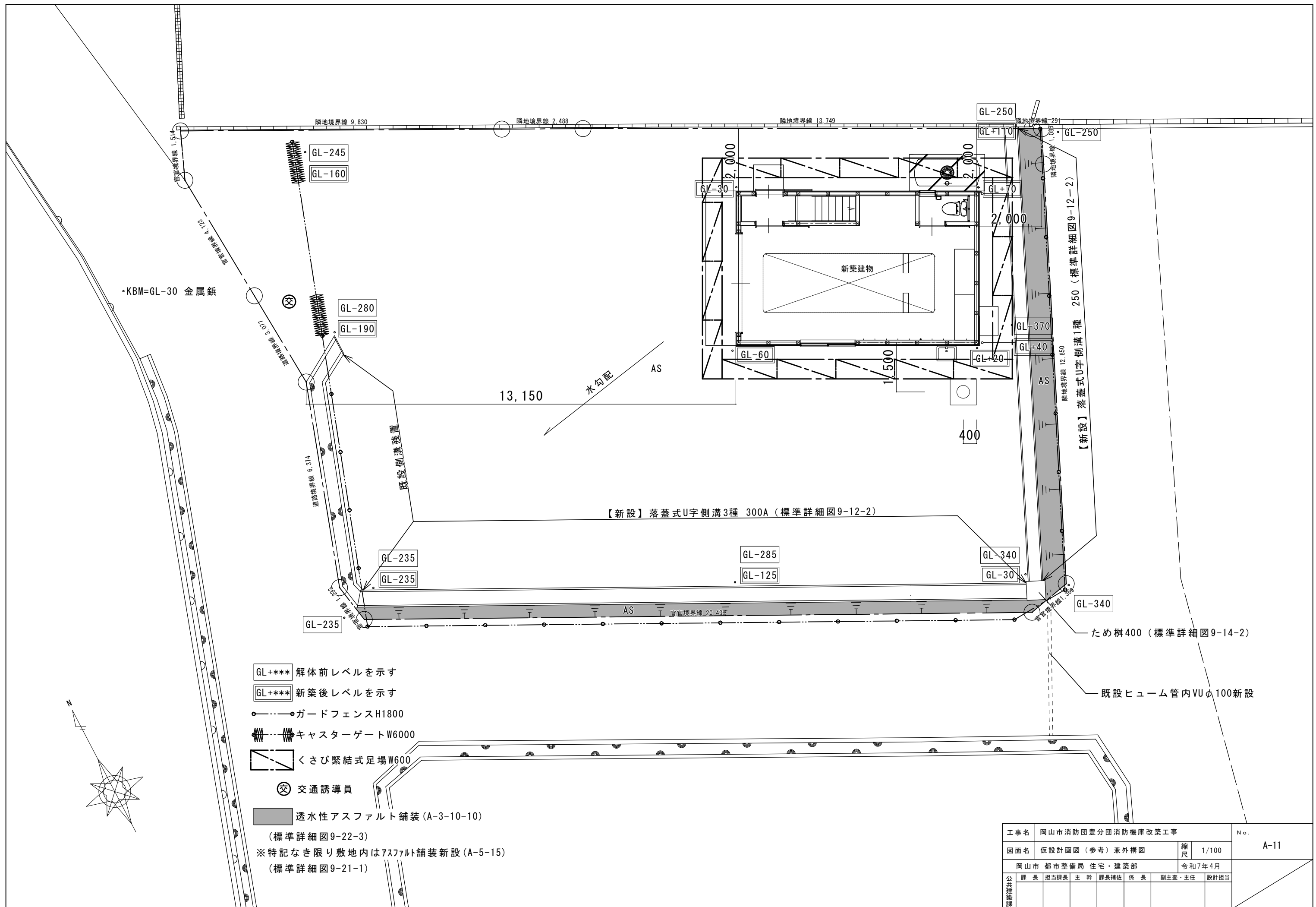


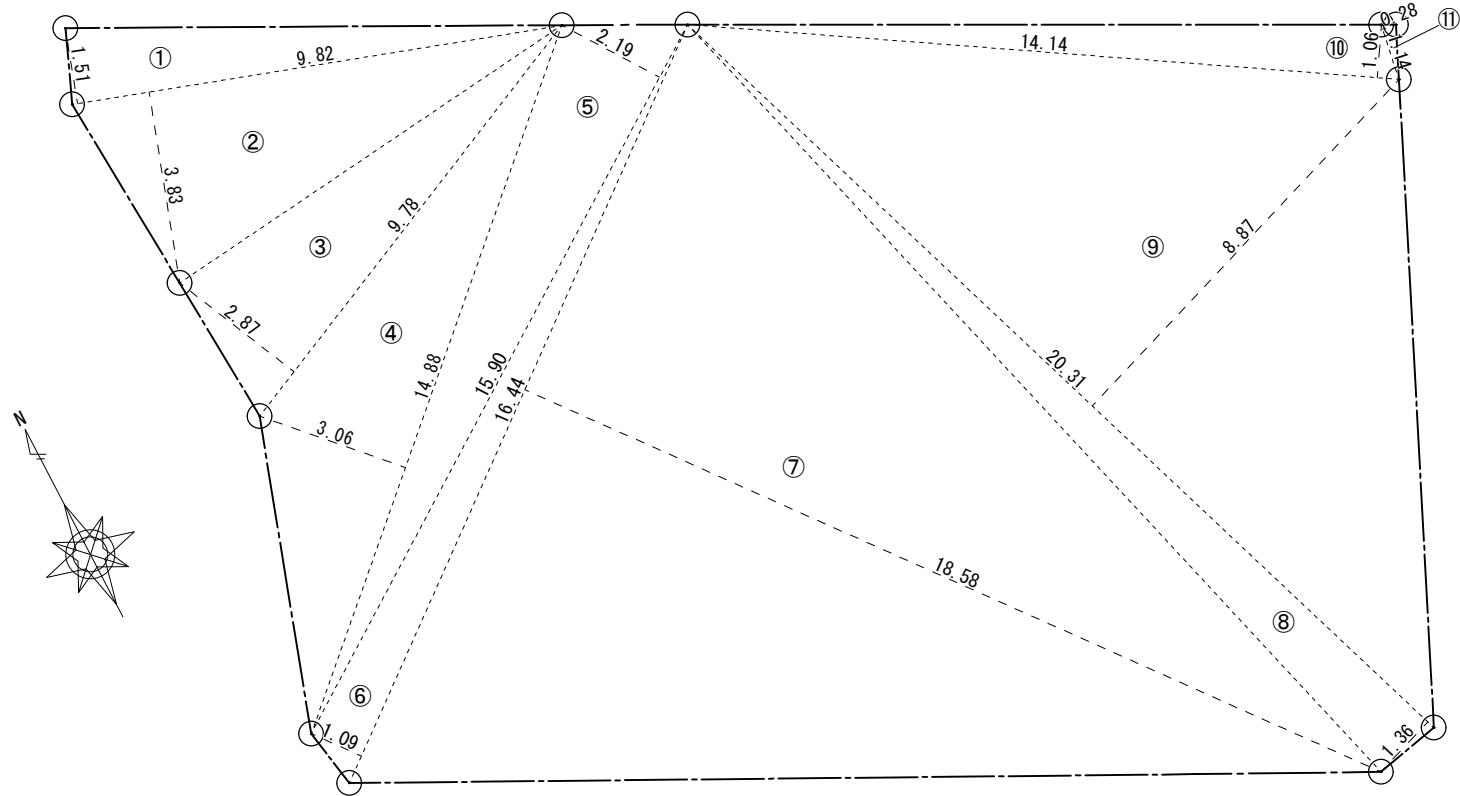
工事場所：岡山市東区西大寺浜185番地一部、185番地5
住居表示：岡山市東区西大寺浜190番地

附近見取図 S=1/2500



工事名 岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事							No. A-10
図面名 附近見取図・配置図						縮尺 1/2,500 1/150	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	
						設計担当	



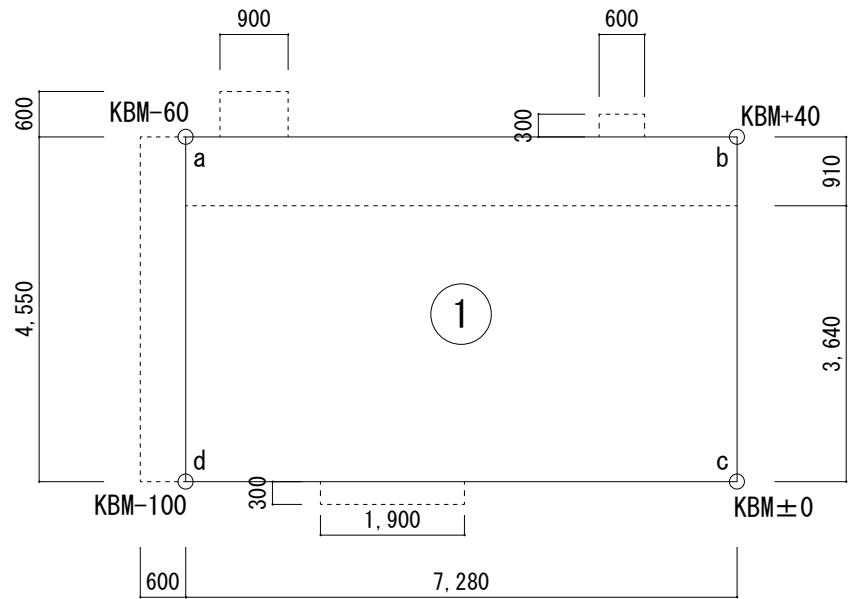


敷地面積求積図 S=1/100

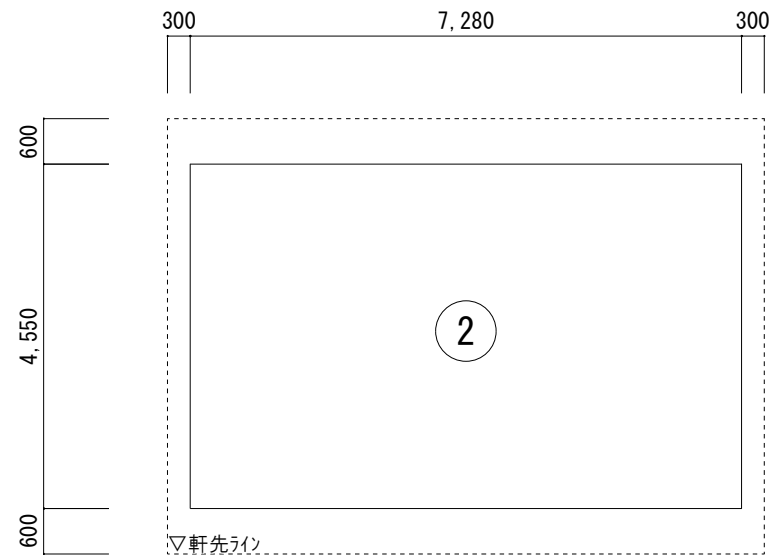
■ 敷地面積 求積表

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	9.82	1.51	14.8282	7.41410
2	9.82	3.83	37.6106	18.80530
3	9.78	2.87	28.0686	14.03430
4	14.88	3.06	45.5328	22.76640
5	15.90	2.19	34.8210	17.41050
6	16.44	1.09	17.9196	8.95980
7	16.44	18.58	305.4552	152.72760
8	20.31	1.36	27.6216	13.81080
9	20.31	8.87	180.1497	90.07485
10	14.14	1.06	14.9884	7.49420
11	1.14	0.28	0.3192	0.15960
合 計				353.65745
敷 地 面 積				353.65 m ²

側点			高さ		長さ	面積
a	～	b	-0.060	-0.040	7.280	-0.07280
b	～	c	-0.040	-0.010	4.550	0.06825
c	～	d	-0.010	-0.090	7.280	-0.36400
d	～	a	-0.090	-0.060	4.550	-0.34125
合計					23.660	-0.70980
総面積/総長さ						-0.030000
平均地盤面						KBM -0.030



1階面積求積図兼平均地盤面算定図 S=1/100

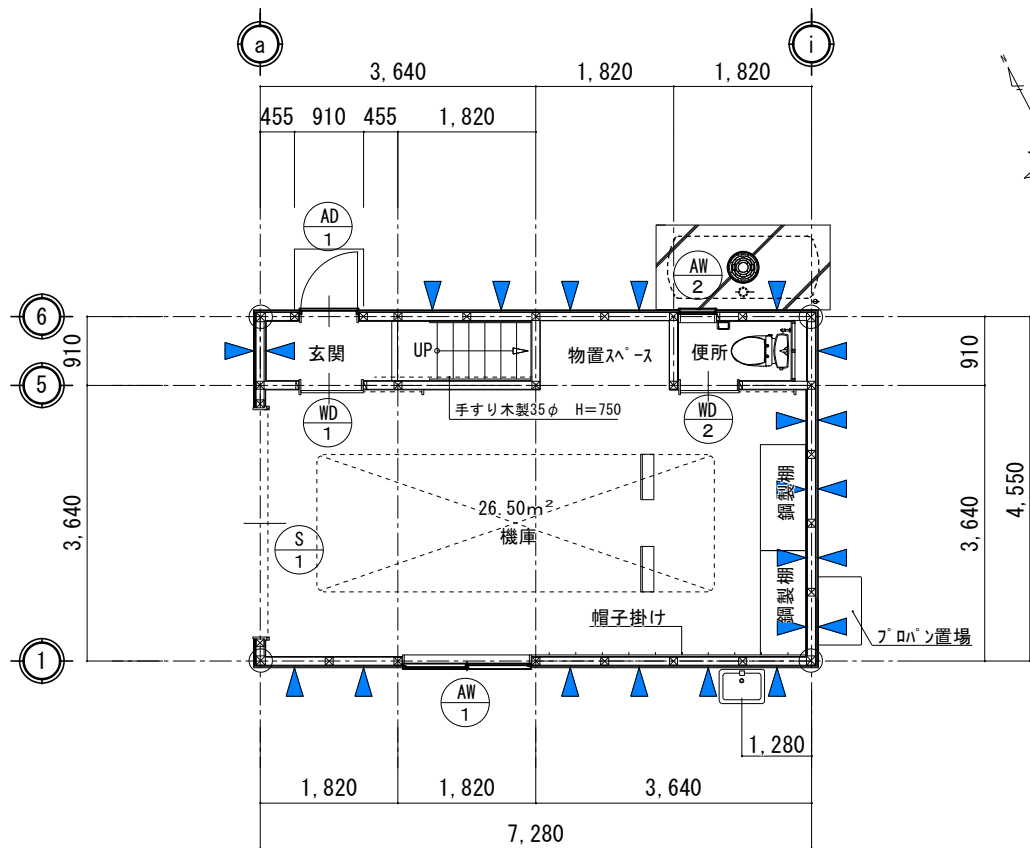


2階面積求積図 S=1/100

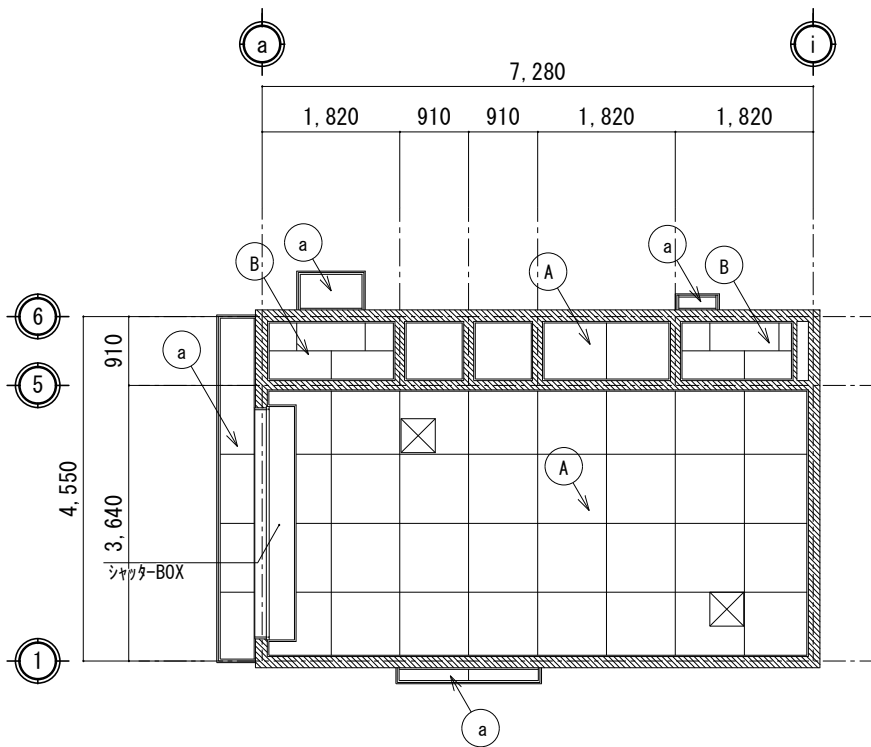
■ 建物面積 求積表

	記号	算 式	面 積 (m ²)
1階床面積	①	7.280 × 4.550 (7.280 × 3.640)	33.12 (車庫等 26.50)
2階床面積	②	7.280 × 4.550	33.12
延べ床面積	① + ②		66.24
建築面積	②		33.12

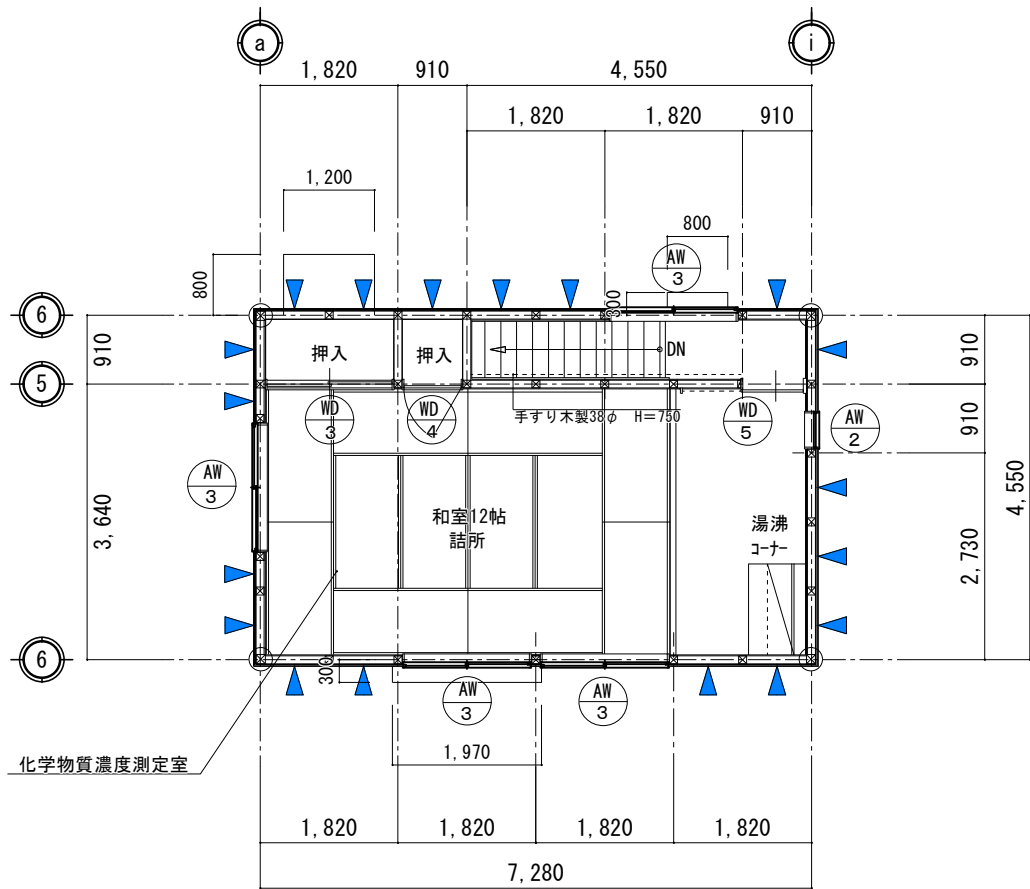
工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No. A-12
図面名		面積表			縮尺	1/100	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部							令和7年4月
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任	設計担当



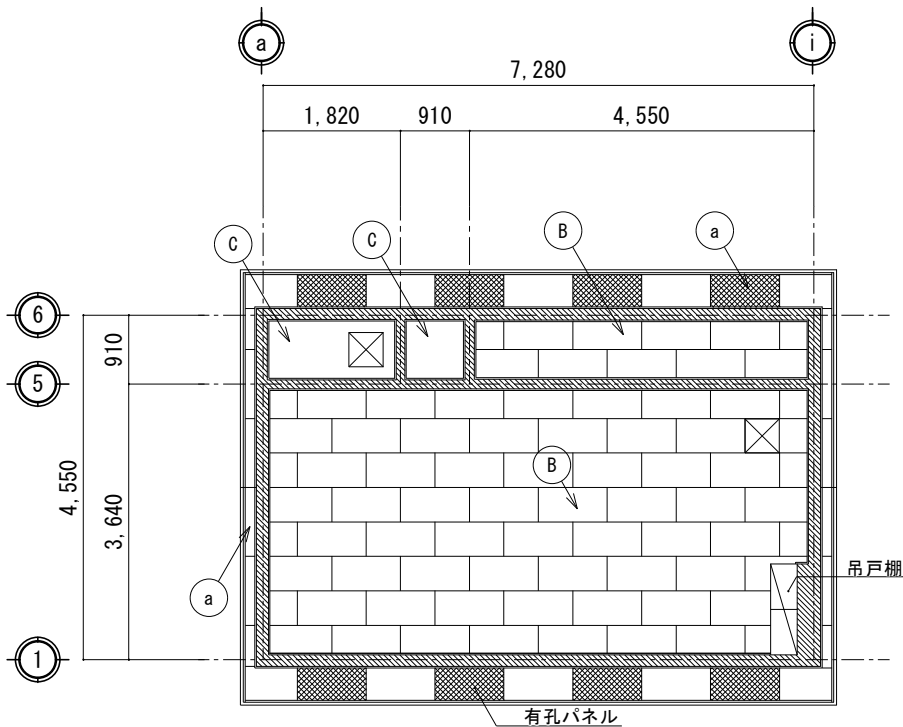
S=1/100 1階平面図



S=1/100 1階天井伏図



S=1/100 2階平面図



S=1/100 2階天井伏図

面積表	
建築面積	33.12㎡
1階床面積	33.12㎡
(車庫等)	(26.50㎡)
2階床面積	33.12㎡
延べ床面積	66.24㎡

凡例		
	通柱位置	120x120
	管柱位置	105x105
	耐力壁位置	構造用合板 t=9mm

階段 (15段)	
有効幅	780mm
踏み面寸法	210mm
蹴上寸法	189mm

天井仕上リスト		
記号	使用材	廻縁
A	化粧石膏ボード t=9.5mm (準不燃) 910x910	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5mm (準不燃) 455x910	塩ビ製
C	ラワン合板 t=5.5mm	木製
a	軒天井ボード t=12mm 塗装品 一部有孔ボード	
	天井点検口 7/8製450x450	

工事名					岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事		No. A-13
図面名		平面図・天井伏図		縮尺	1/100		
					岡山市 都市整備局 住宅・建築部		
					令和7年4月		
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	
						設計担当	

必要壁量計算表

[illegible]

※壁量等の基準に対応した表計算ツールによる

□X方向計算用見付面積計算表

区 画	計 算 式	面積 (㎡)
A	$4,735 \times 1,196 \div 2$	2.832
B	$4,735 \times 1,614$	7.643
C	$512 \times 256 \div 2$	0.066
D	512×150	0.077
E	$512 \times 256 \div 2$	0.066
F	512×150	0.077
G	$208 \times 20 \div 2$	0.002
H	208×106	0.022
I	$4,735 \times 2,920$	13.827

□Y方向計算用見付面積計算表

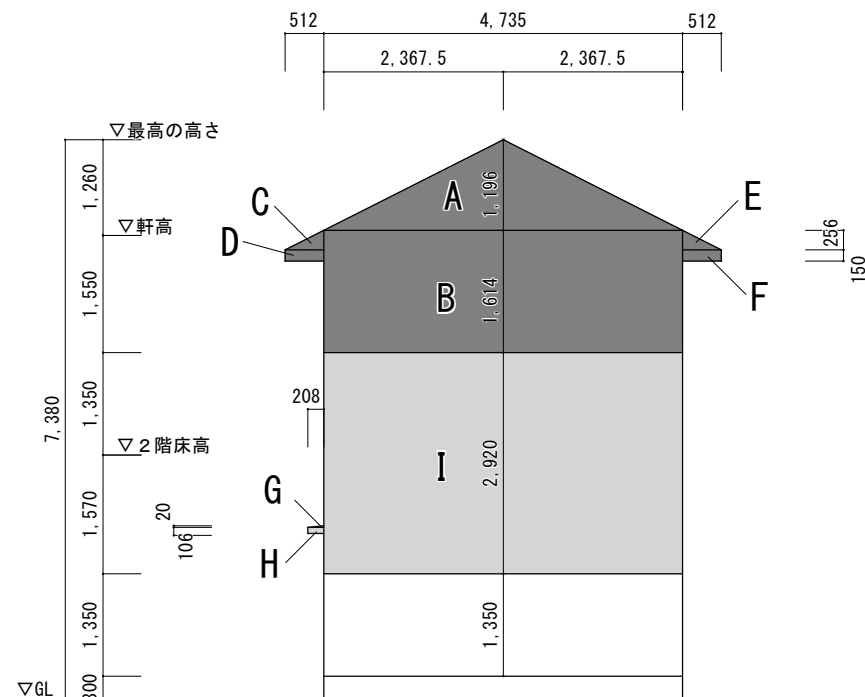
区画	計 算 式	面積 (㎡)
A	$(7,465 + 180 + 180) \times 1,602$	12.536
B	$7,465 \times 1,208$	9.018
C	$208 \times 20 \div 2$	0.002
D	208×106	0.022
E	$208 \times 20 \div 2$	0.002
F	208×106	0.022
G	$7,465 \times 2,920$	21.798
H	$508 \times 25 \div 2$	0.006
I	508×200	0.102

□X方向計算用見付面積計算結果

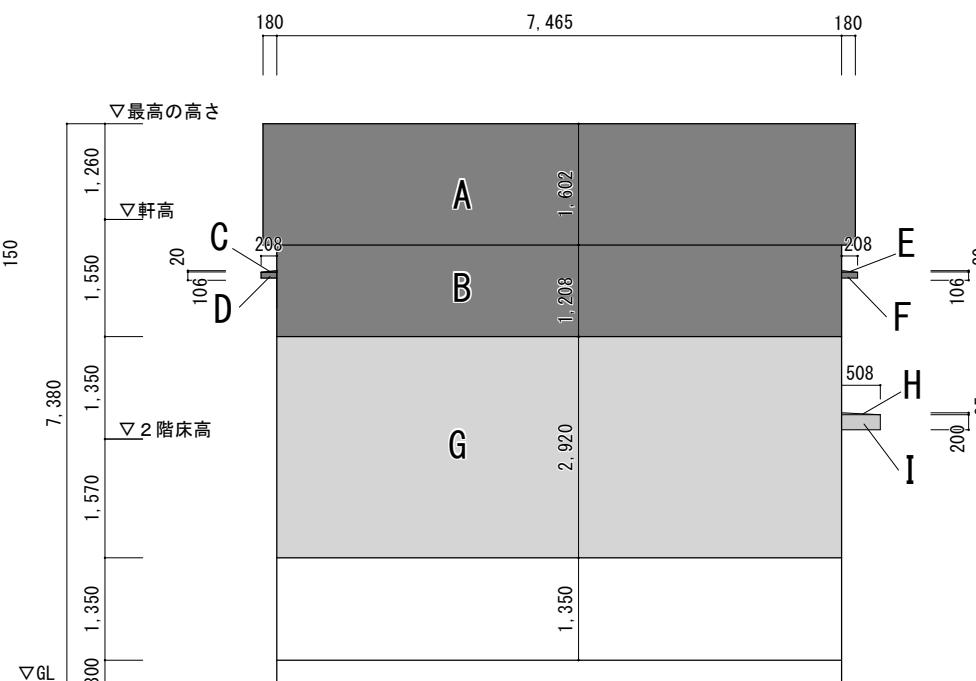
階	計 算 式	面積 (m ²)
1 階	A+B+C+D+E+F+G+H+I	24.612
2 階	A+B+C+D+E+F	10.761

□Y方向計算用見付面積計算結果

階	計 算 式	面積 (㎡)
1 階	A+B+C+D+E+F+G+H+I	43.508
2 階	A+B+C+D+E+F	21.602



X方向計算用見付面積根拠図 1/100



Y方向計算用見付面積根拠図 1/100

工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.	
図面名		壁量計算表(1)			縮尺	1/100		A-14
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和7年4月		
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任	設計担当	

耐力壁・準耐力壁仕様一覧

種類	材料名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ	取付高さ	下地貼材高さ	垂壁高さ	腰壁高さ	下地貼材実高さ	横架材間内法寸法	有効壁倍率	規格	釘打ちの方法種類	間隔
耐力壁	構造用合板 t9	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	—	N50	150
準耐力壁等															

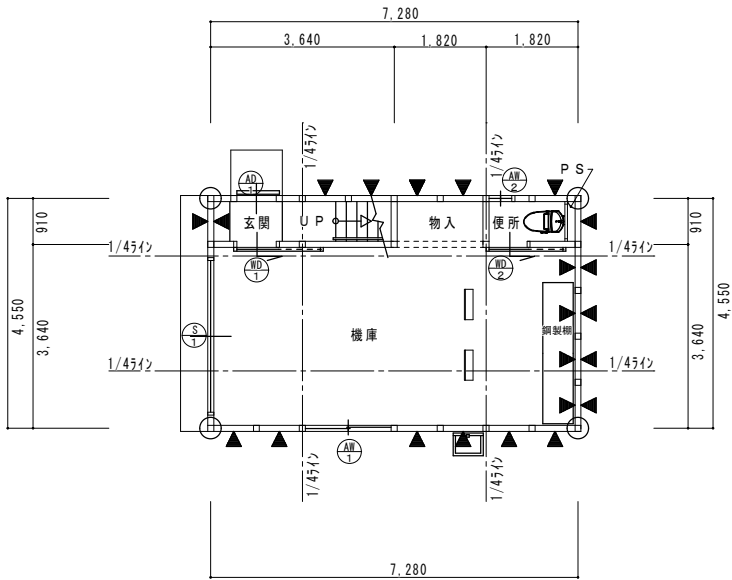
存在壁量計算表

建築物 の階数	階	ゾーン	耐力壁の種類	倍率	X方向（m）			Y方向（m）		
					耐力壁	存在壁量	小計	耐力壁	存在壁量	小計
平家建 2階建	1階	北側 西側 1／4	構造用合板 t9	2.5	4.55	11.37		1.82	4.55	
										4.55
		中央								
	南側 東側 1／4	構造用合板 t9	2.5	5.46	13.65		8.19	20.47		
							13.65		20.47	
	存在壁量の合計				12.59 < 25.02		OK	21.76 < 25.02		OK
	2階	北側 西側 1／4	構造用合板 t9	2.5	5.46	13.65		2.73	6.82	
										6.82
								13.65		
		中央								
		南側 東側 1／4	構造用合板 t9	2.5	3.64	9.10		3.64	9.10	
								9.10		9.10
存在壁量の合計				5.97 < 22.75		OK	10.18 < 15.92		OK	

バランスよい壁配置計算表

階	ゾーン	ゾーン床面積 (㎡)	係数※ (m/㎡)	必要壁量 (m)	存在壁量 (m)	壁量充足率 (存在壁量/必要壁量)	壁率比 (≥ 0.5)	判定
1階	北側 1/4	8.28	0.38	3.15	11.37	3.61	——	OK
	南側 1/4	8.28		3.15	13.65	4.34		
	西側 1/4	8.28		3.15	4.55	1.45		
	東側 1/4	8.28		3.15	20.47	6.51		
2階	北側 1/4	8.28	0.18	1.50	13.65	9.1	——	OK
	南側 1/4	8.28		1.50	9.10	6.07		
	西側 1/4	8.28		1.50	6.82	4.54		
	東側 1/4	8.28		1.50	9.10	6.07		

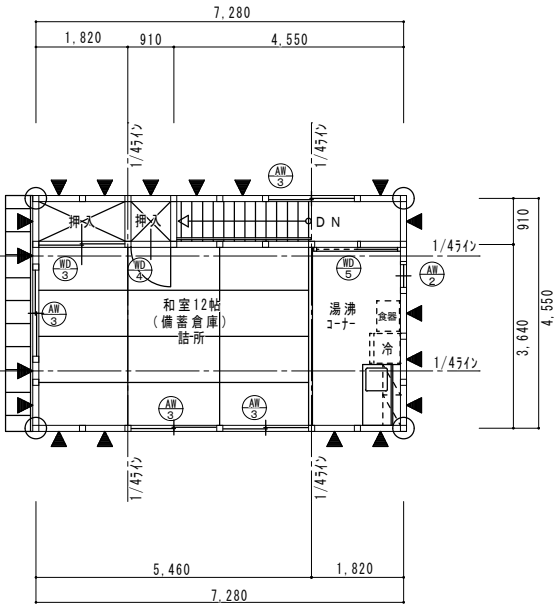
※係数：単位面積当たりの必要壁量



1 階 平 面 図 S = 1 / 1 5 0

凡 例	
	通シ柱 120×120mm
	管柱 105×105mm
	耐力壁 構造用合板の9

※耐壁壁の構造用合板はJASに適合するものとし、釘はN50で@150以下とする。



2 階 平 面 図 S = 1 / 1 5 0

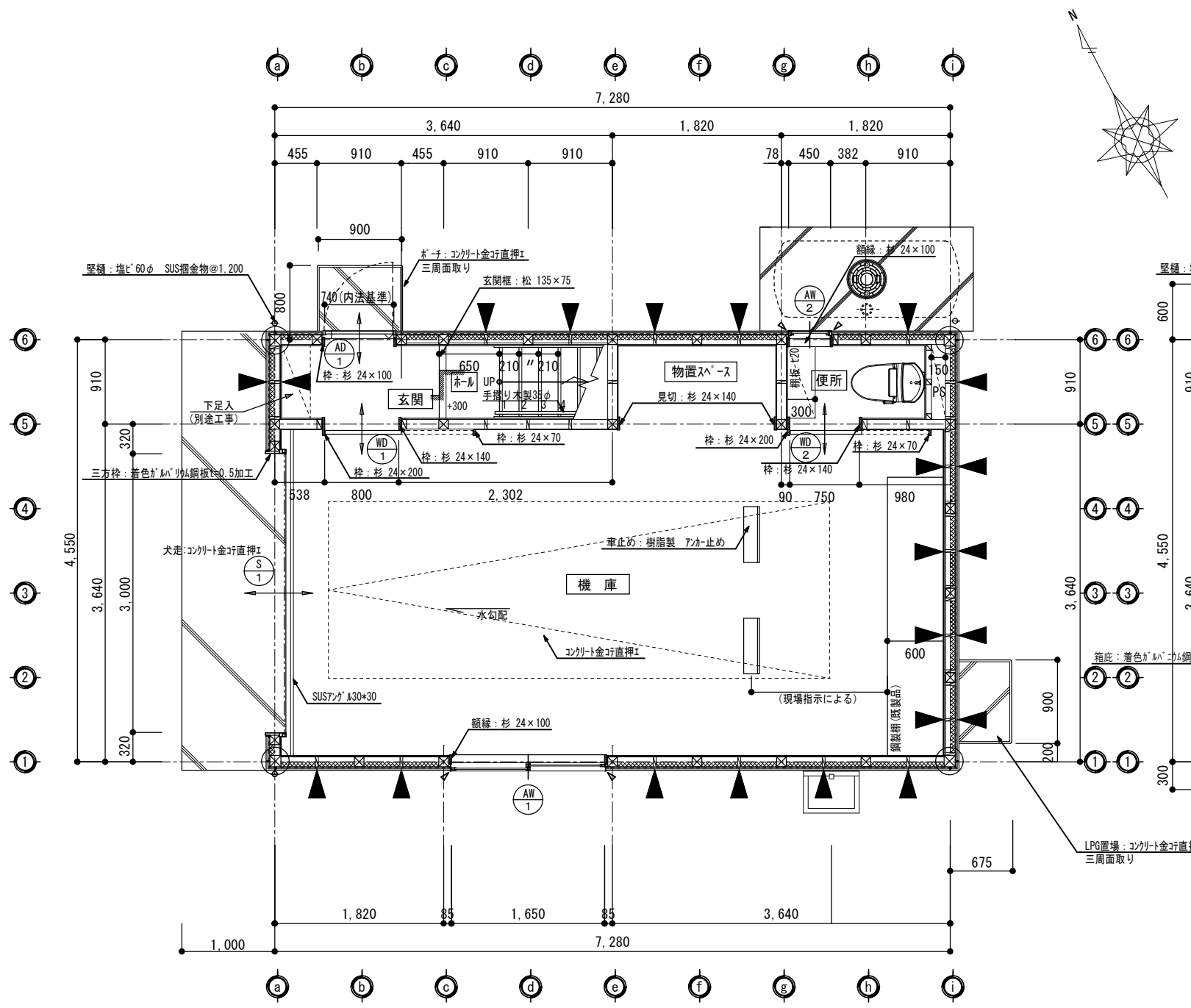
(L) 採光面積検討表					
室名	居室床面積	必要採光面積	採光面積検討計算式	有効採光面積	判定
	A (㎡)	A=1/7 (㎡)			
2F 詰所 湯沸コーナー	26.49	3.79	(1.65×0.9)×3×3	13.36	OK

※採光補正係数αは3とする

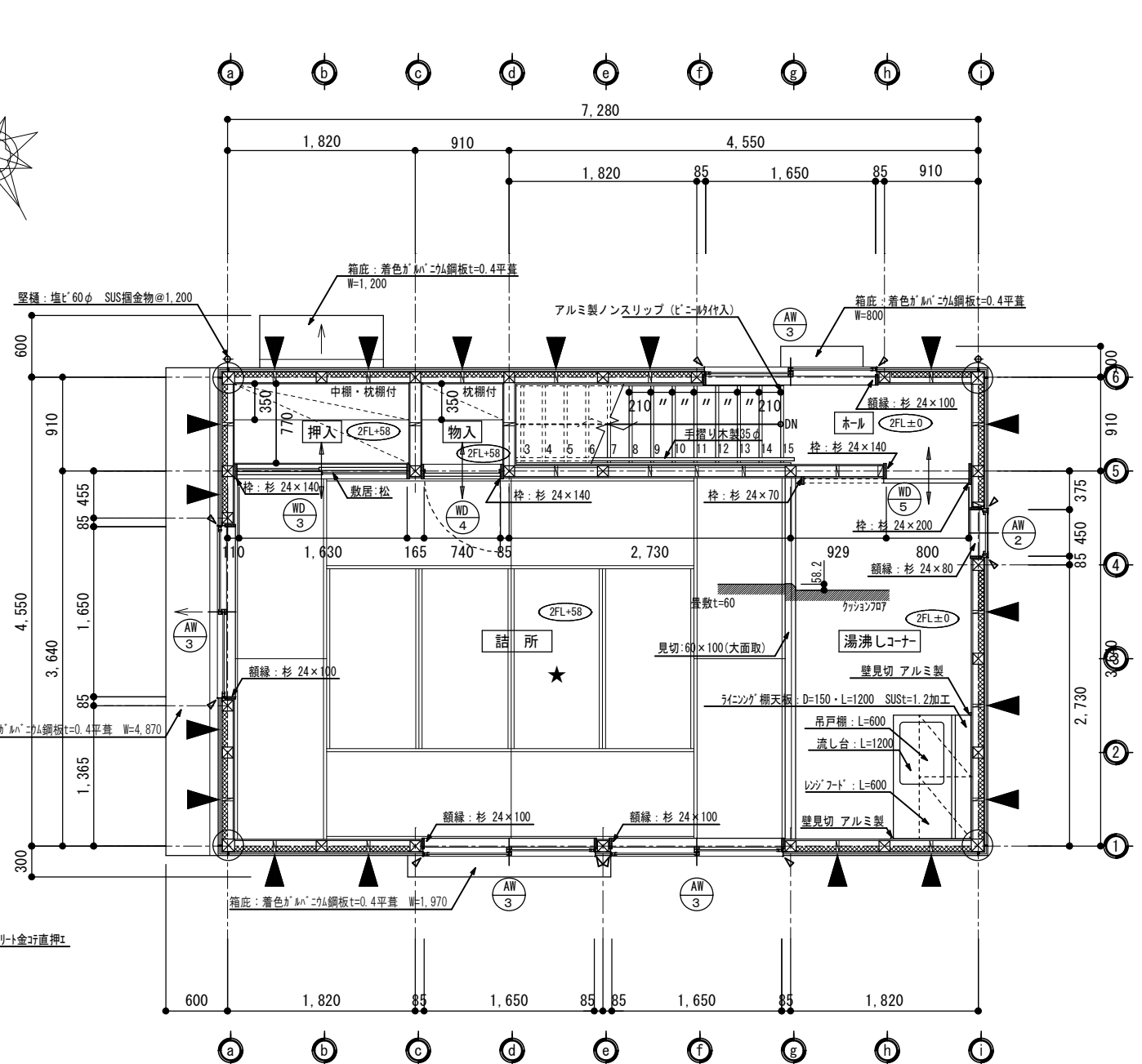
(V) 換気面積検討表					
室名	居室床面積	必要換気面積	換気面積検討計算式	有効換気面積	判定
	A (㎡)	A=1/20 (㎡)			
2F 詰所 湯沸コーナー	26.49	1.33	(1.65×0.9×1/2)×3	2.22	OK

(S) 排煙面積検討表					
室名	居室床面積	必要排煙面積	排煙面積検討計算式	有効排煙面積	判定
	A (㎡)	A=1/50 (㎡)			
2F 詰所 湯沸コーナー	26.49	0.53	(1.65×0.4×1/2)×3	0.99	OK

工事名 岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事										No. A-15
図面名 壁量計算表(2)・LVS検討表								縮尺 1/150	令和7年4月	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部										
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査	主任	設計担当		

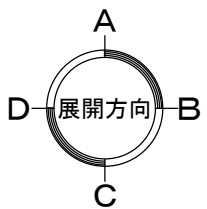


1階平面詳細図 1/60

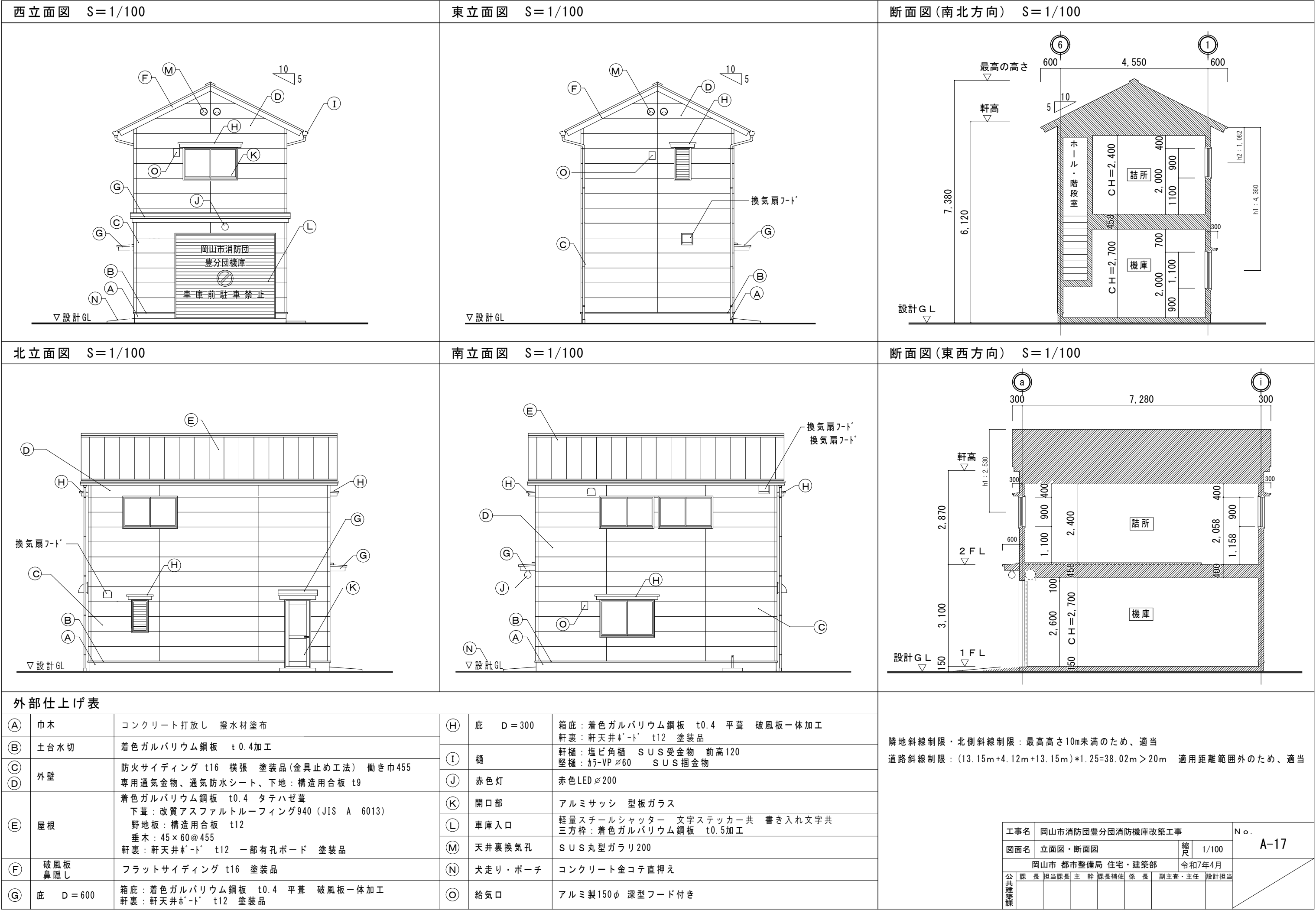


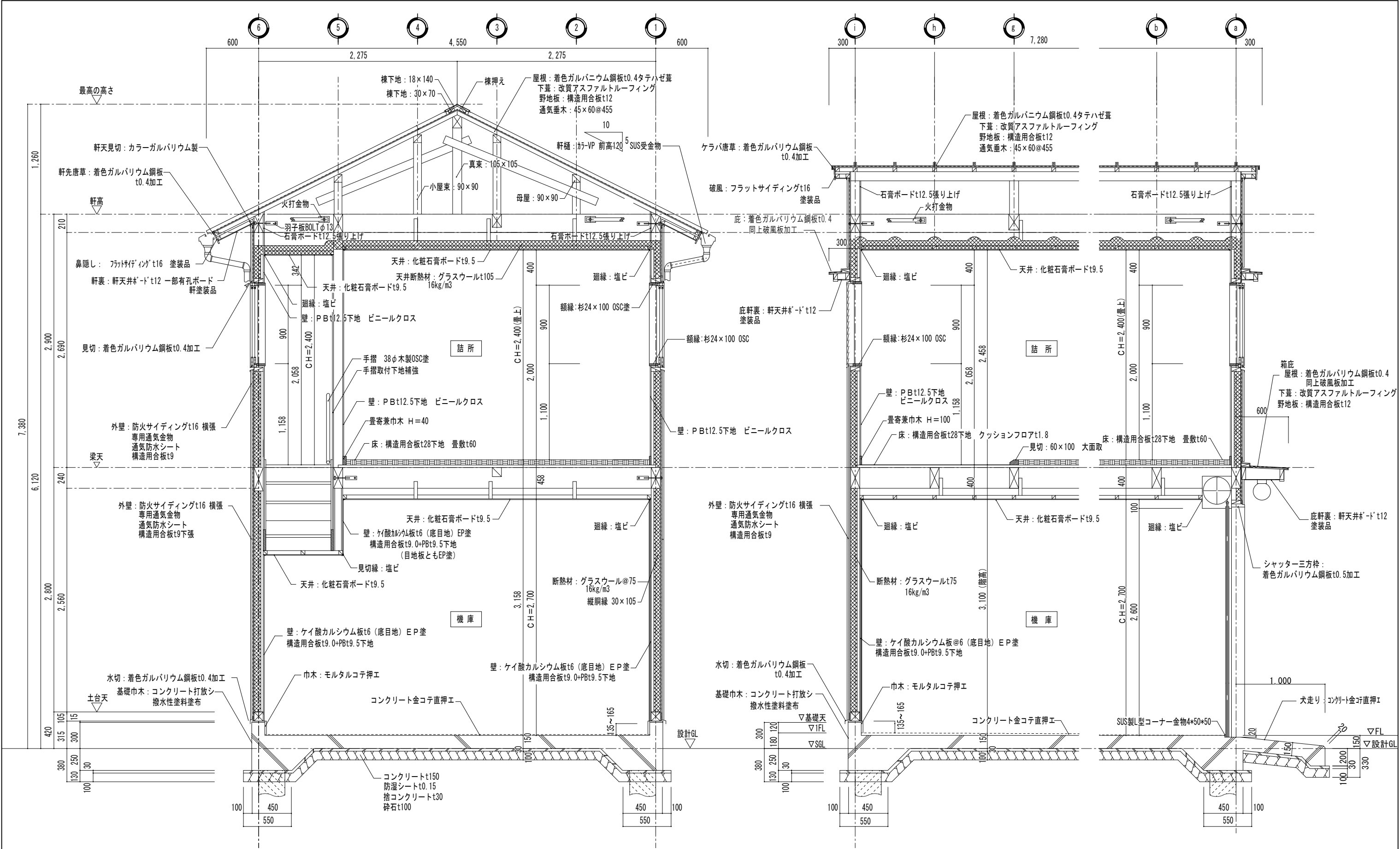
2階平面詳細図 1/60

凡 例	
	通し柱 120×120
	耐力壁 構造用合板 t=9
	壁：グラスウール 16kg/m3 t=75 充填
	変性シリコンコーキング処理
	室内空气中化学物質濃度測定
	・ 桝廻及額縁は見付24とする
	・ 建具桝廻材は杉材OSC塗とする



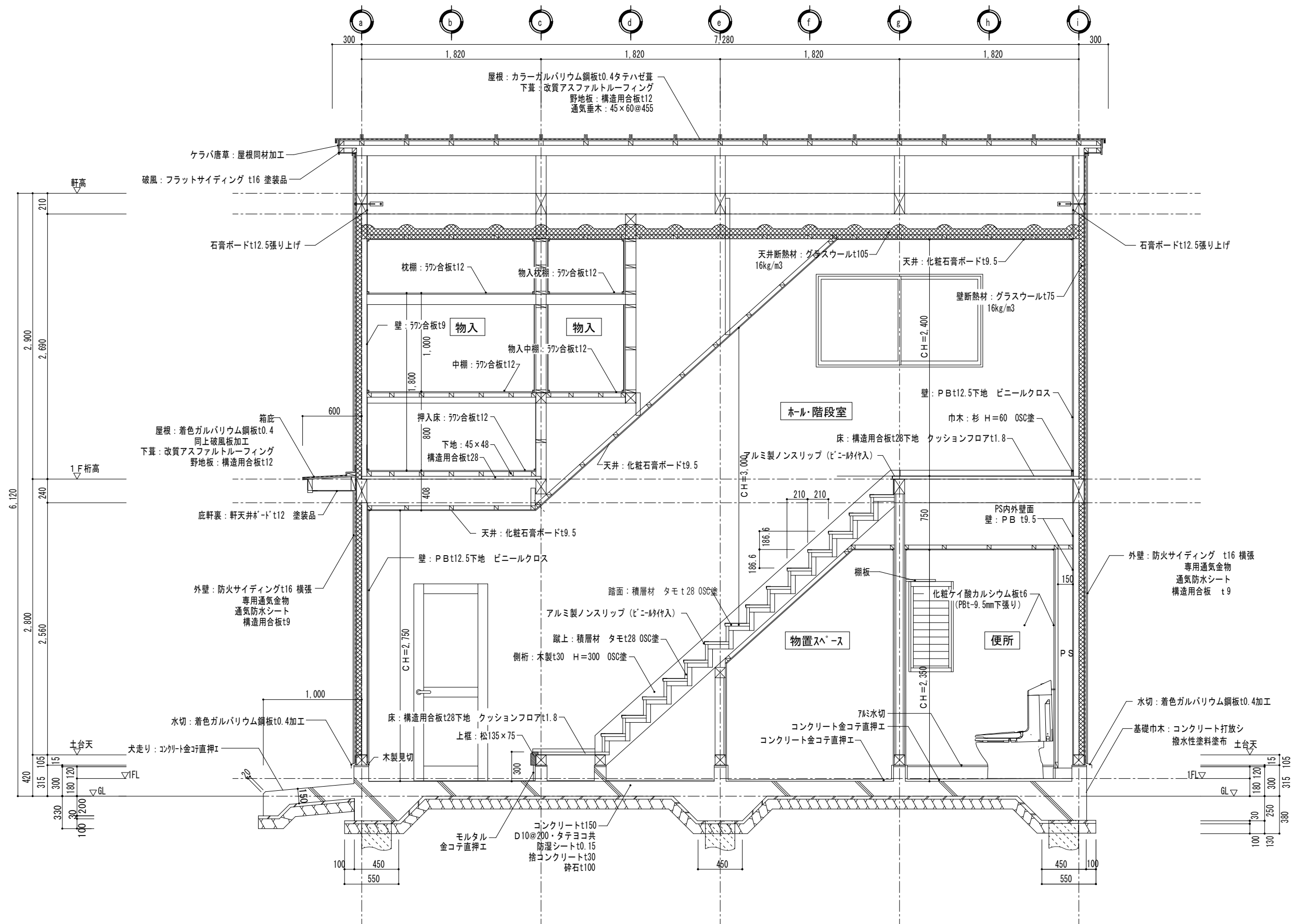
工事名						岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事		No.	A-16
図面名		平面詳細図			縮尺	1/60			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和7年4月			
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任			





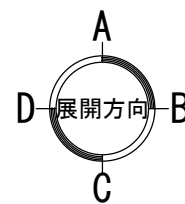
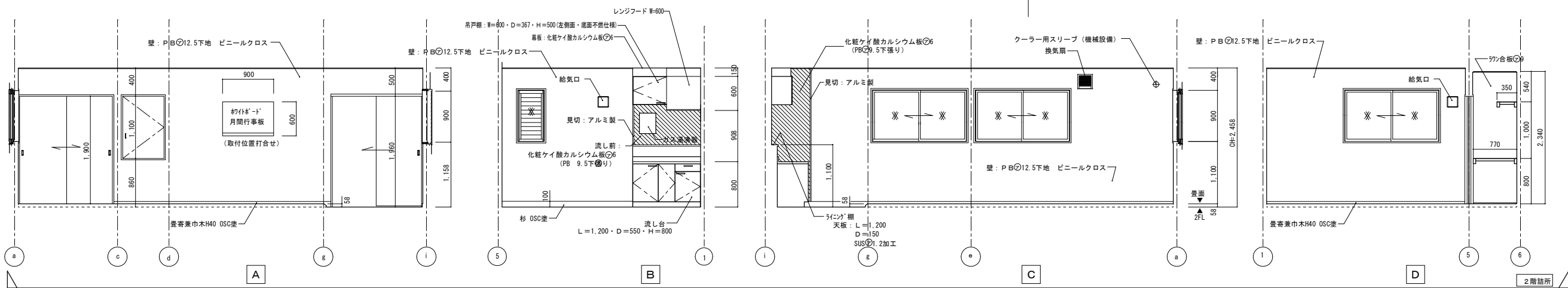
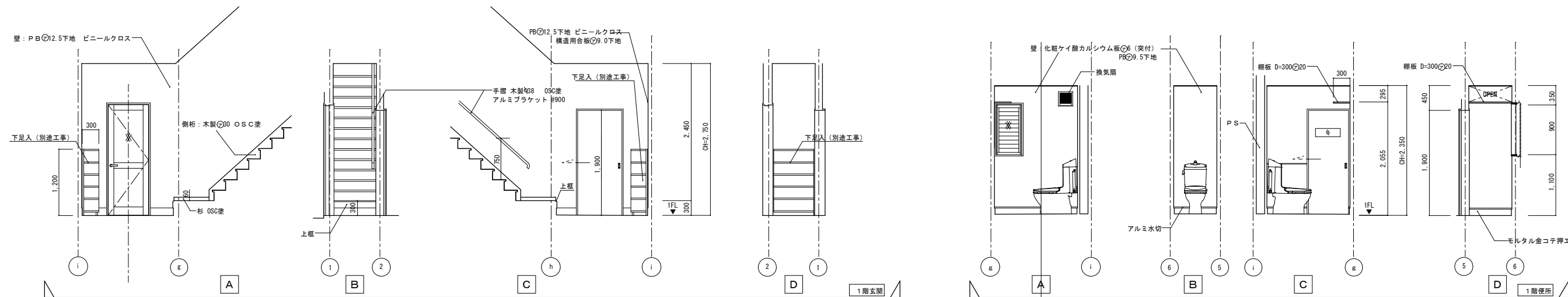
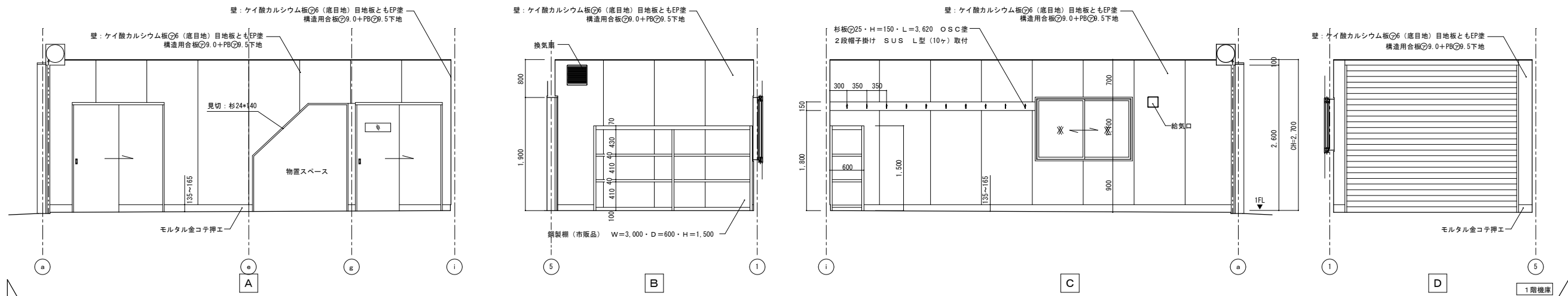
矩計図（１） S=1/40

工事名 岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事						No. A-18
図面名 矩計図（１）				縮尺	1/40	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任 設計担当



矩計図(2) S=1/40

工事名 岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事							No. A-19
図面名 矩計図(2)						縮尺 1/40	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	
						設計担当	

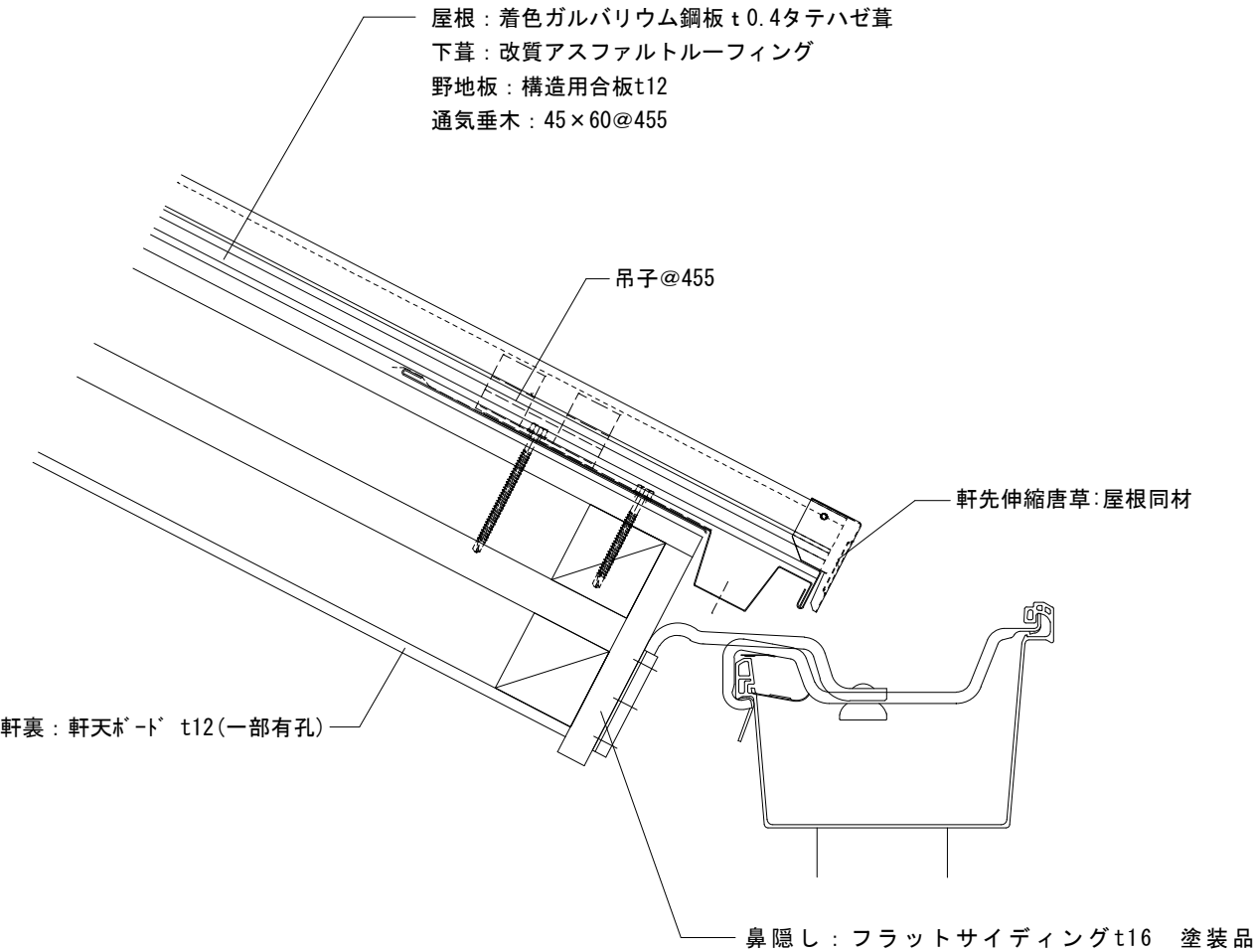
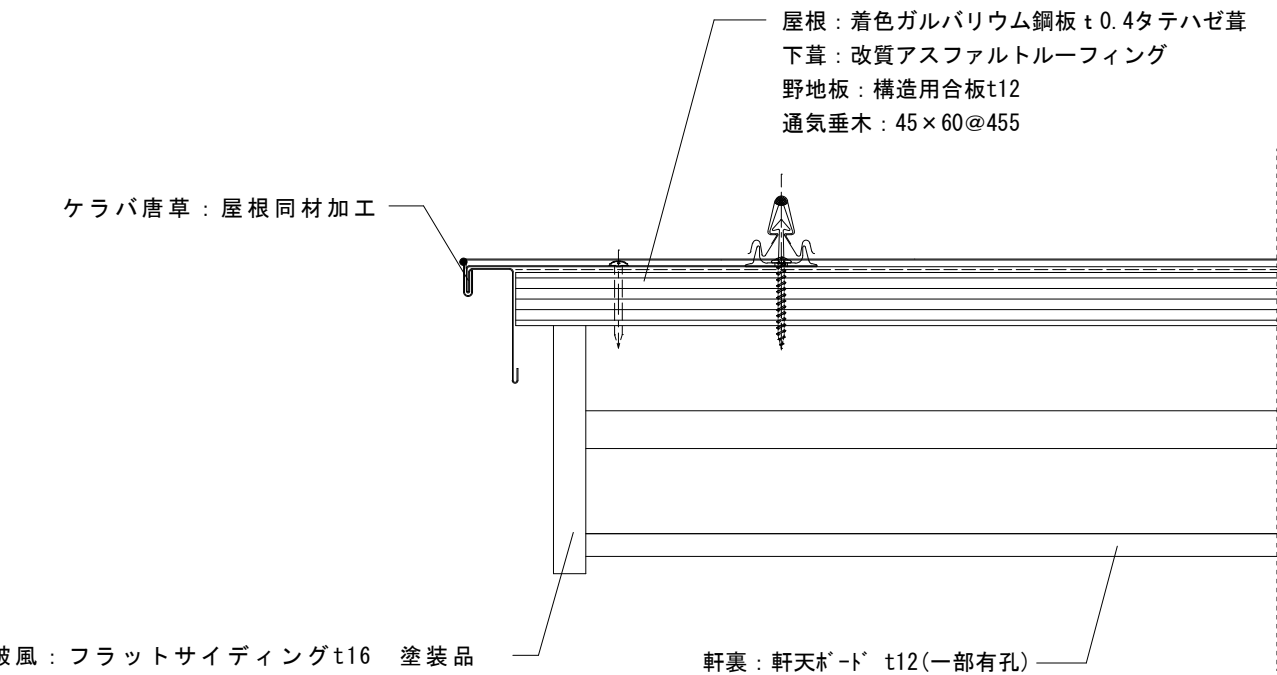


工事名	岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.	A-20
図面名	展開図					縮尺	
	岡山市 都市整備局 住宅・建築部					1/80	
	令和7年4月						
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当

建具表 S=1/100																	
形 式	数 量	片開き戸		1	軽量スチールシャッター		1	引違窓		1	ルーバー窓		2	引違窓		4	
記 号	姿 図	<div><div>AD</div><div>1</div></div>		<div><div>S</div><div>1</div></div>		<div><div>AW</div><div>1</div></div>		<div><div>AW</div><div>2</div></div>		<div><div>AW</div><div>3</div></div>							
				(外観図)				() 内は2階の寸法を示す									
位 置	見 込	玄関		70	1階機庫入口		スラット t0.8	1階機庫		70	1階便所・2階詰所		70	2階詰所・階段		70	
材 質	色	アルミ		カラー	スチール		カラー鋼板	アルミ		カラー	アルミ		カラー	アルミ		カラー	
鍵	硝 子	シリンダー錠 (内サムターン)		型板 t6	シリンダー中間錠			クレセント		型板 t6	オペレーターハンドル		型板 t6	クレセント		型板 t6	
金 物		標準金物一式・彫込引手				標準金物一式・SUSガイドレール・SUSマグサ SUS座板・シャッターケース・SUS床L型コーナー金物4*50*50共				標準金物一式・網戸				標準金物一式・網戸			
備 考		住宅用サッシ：半外付型7kgフル付				書き入れ文字はゴシック体				住宅用サッシ：半外付型7kgフル付				住宅用サッシ：半外付型7kgフル付			
形 式	数 量	吊式片引フラッシュ戸		1	吊式片引フラッシュ戸		1	引違フラッシュ戸		1	片開フラッシュ戸		1	吊式片引フラッシュ戸		1	
記 号	姿 図	<div><div>WD</div><div>1</div></div>		<div><div>WD</div><div>2</div></div>		<div><div>WD</div><div>3</div></div>		<div><div>WD</div><div>4</div></div>		<div><div>WD</div><div>5</div></div>							
位 置	見 込	玄関ホール～機庫		33	1階便所		33	2階詰所押入		33	2階詰所押入		30	2階詰所～階段		33	
材 質	色	ポリ合板		小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板		小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板		小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板		小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板		小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	
鍵	硝 子				表示付鍵錠		型板 t4										
金 物		SUS引手・V型レール				SUS引手・V型レール				SUS引手・底車				SUS丁番・SUS取手・マグネットキャッチ			
備 考																	

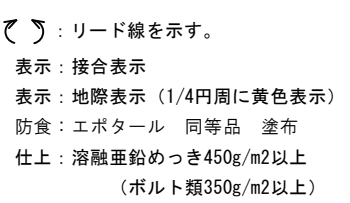
工事名							岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事		No.	A-21
図面名		建具表				縮尺	1/100			
							岡山市 都市整備局 住宅・建築部		令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任		設計担当		

元旦：TRX4型 同等以上



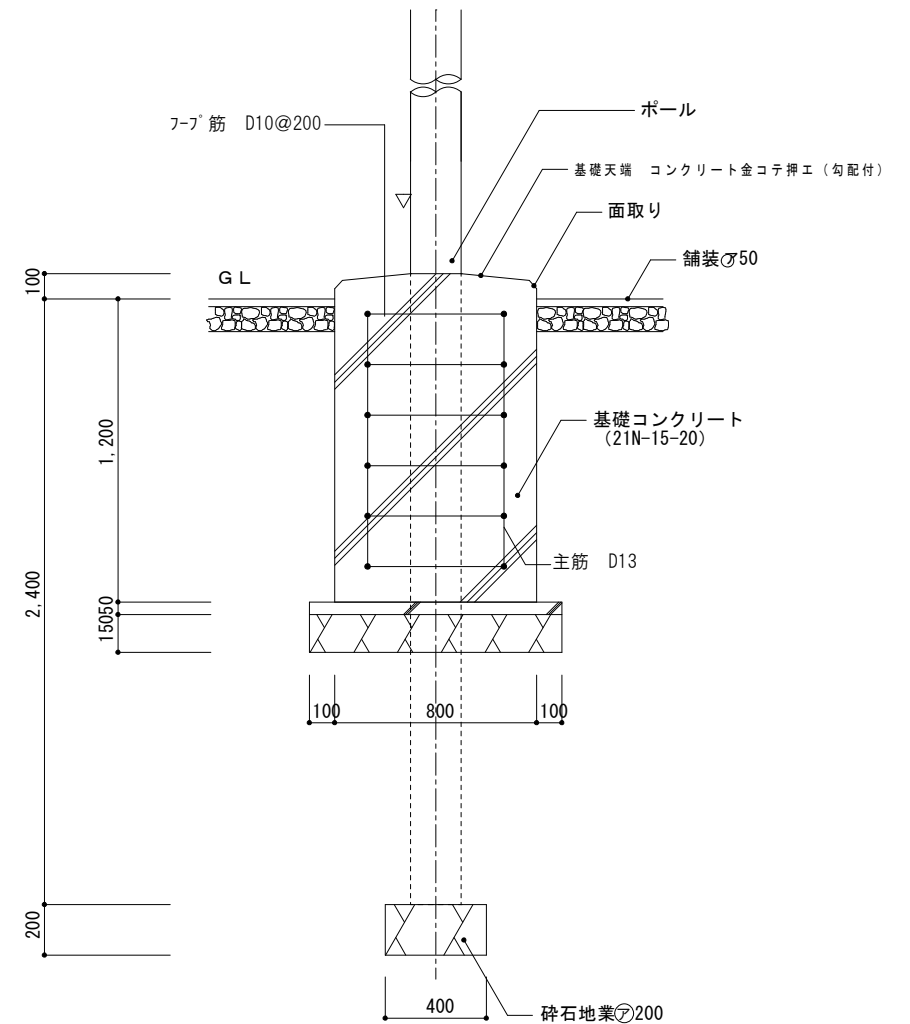
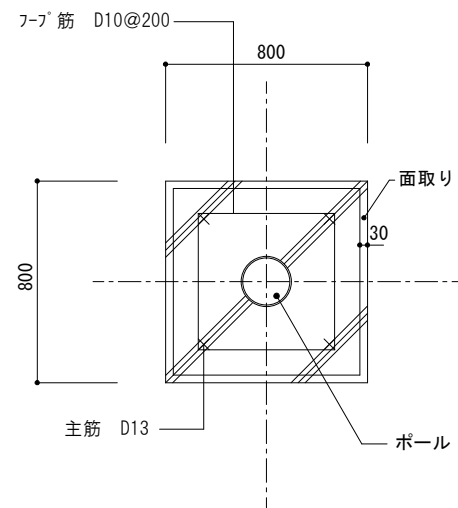
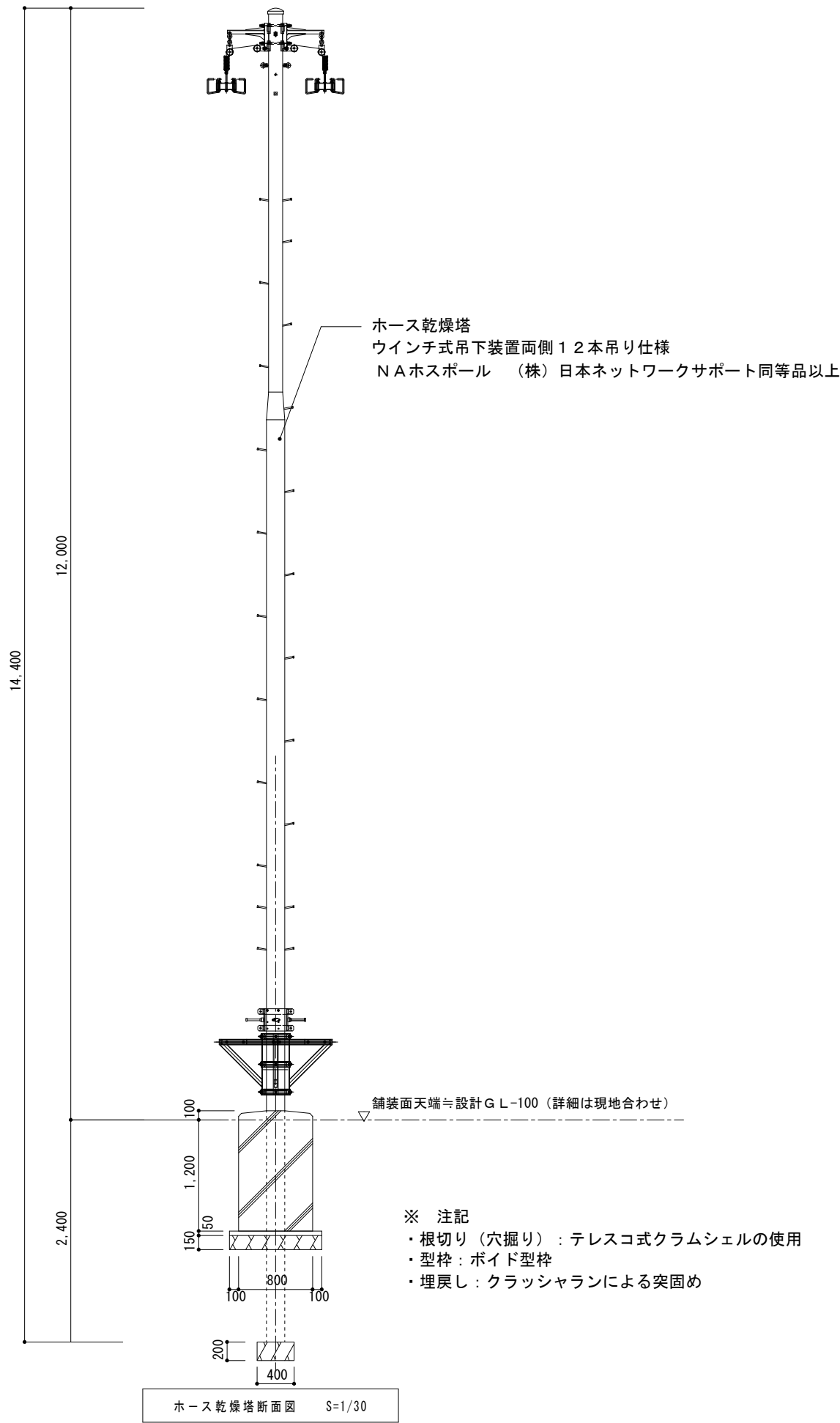
軒先、ケラバ 詳細図 S=1/4

工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.	
図面名		屋根詳細図					縮尺	1/4
		岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当	

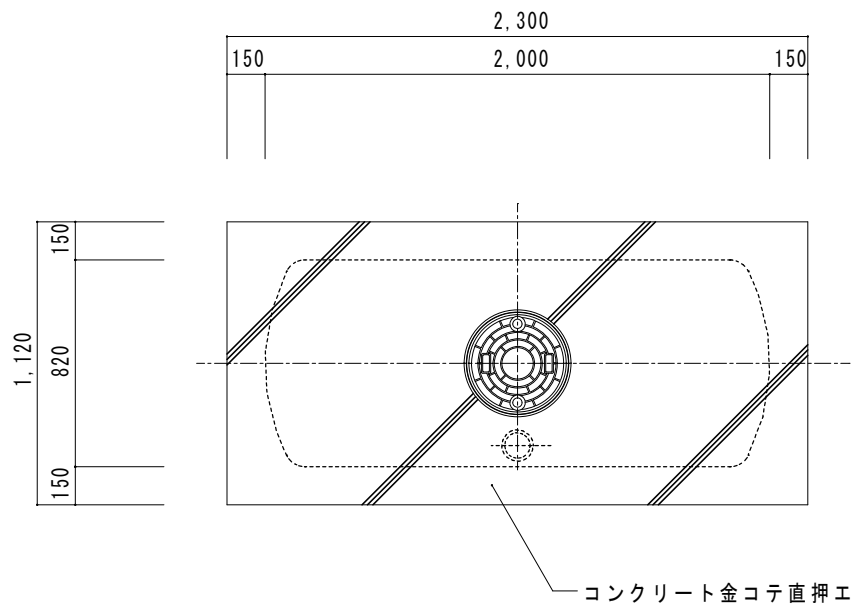


品 番	品 名	個 数	材 質	備 考	品 番	品 名	個 数	材 質	備 考
付属4	NAホースキャッチ〔φ216.3用〕	1式	SS材		10	六角ボルト M6×12×12	1	しんちゅう	
付属3	ウインチ〔GM-3-S型〕	2台	-		9	ゴムブッシュ〔C20〕	1	EPDM	
付属2	ウインチ架台〔両側用：併用タイプ〕	1式	SS材	00986	8	底キャップ〔φ216.3用〕	1	SPHC	
付属1	ウインチ式吊下装置両側12本バンドレス型〔円形タイプ〕	1式	SS材	00988	7	キャップ〔φ165.2用〕	1	SS材	00984
16	中複用六角ナットM16〔付W×3,クリップ〕	4組	強度区分4		6	連通管〔φ21.7×1.9-165〕	4	STK400	
15	アイボルト〔M16〕	4	SS400		5	足場ボルト〔W5/8〕	29	強度区分4.6	
14	安全帯取付用足場座〔C3型〕	4	SAPH370		4	足場座〔C5型〕	29	SAPH370	
13	警告ラベル〔安全に関するご注意〕	1	白コートテトロンR		3	φ216.3×4.5-6500	1	STK540	160kgf
12	商品ラベル	1	消銀-UTLR		2	φ193×3.2-5400	1	STK490	85kgf
11	ゴムブッシュ〔29×63有効径〕	1	STK400		1	φ165.2×3.3-3250	1	SS400	45kgf

[illegible]

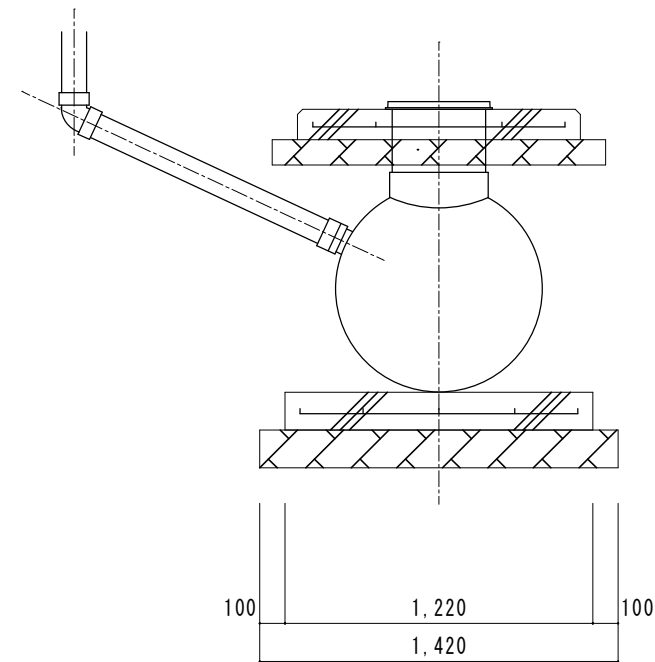
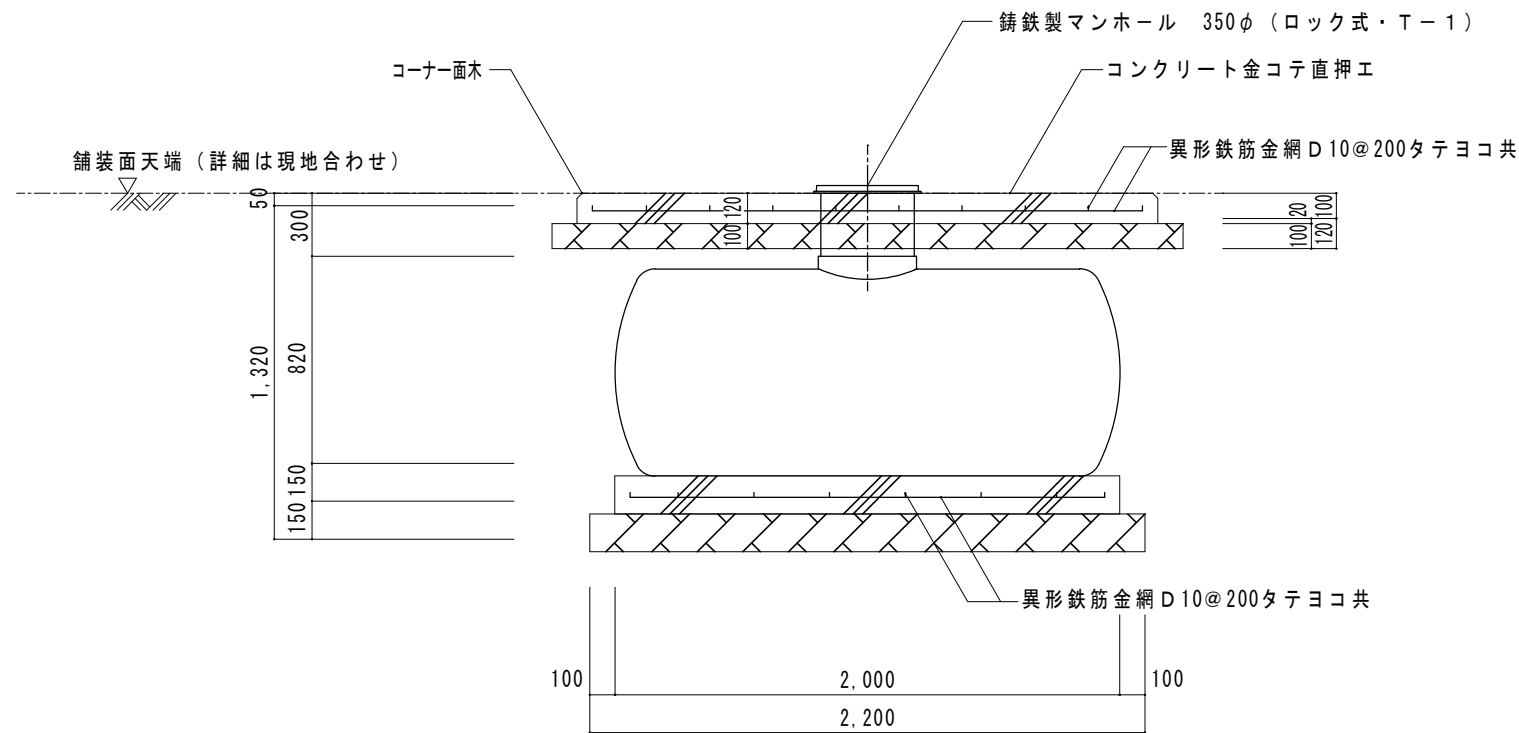


工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.	
図面名		ホース乾燥塔基礎詳細図					縮尺	
		岡山市 都市整備局 住宅・建築部					1/30, 1/60	
		令和7年4月					A-24	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当	



※ 便 槽 参 考 品 番
ネボン株式会社
N Y U 4 - 9 (9 6 0 ⅔)

平 面 図 S=1/30



※ 注 記

- ・臭突長さは軒下より1m以上とし、電動ファン取付け
- ・臭突管はカラー色とする。
- ・埋戻し土は、山砂により行い、各層300mm程度ごとに締固め(転圧・水締め)を行うこと。

断 面 図 S=1/30

工事名					岡山市消防団豊分団消防機庫新築工事			No.	A-25
図面名					汲取便槽詳細図		縮尺		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和7年4月				
公共建築課	課長	担当課長	主幹	幹線補佐	係長	副主査・主任	設計担当		

§ 1 一般事項

- § 2 金物

- | 名 称 | 記 号 | 短期許容耐力 (kN) | | | 使用接合具等 | |
|---------|---------------|-------------|-------|-------|-------------------|---------------|
| | | べいまつ類 | べいつが類 | すぎ類 | | |
| 太めくぎ | Z N40 | 0.86 | 0.77 | 0.68 | | |
| | Z N65 | | | | | |
| | Z N90 | 1.26 | 1.14 | 0.98 | | |
| スクリューくぎ | Z S50 | 1.48 | 1.34 | 1.17 | | |
| 柱脚金物 | P B-33 | 11.38 | 10.40 | 10.00 | | 六角ボルト M12(1本) |
| | P B-42 | 22.76 | 20.80 | 20.00 | 六角ボルト M12(2本) | |
| ひら金物 | S M-12 | 1.72 | 1.54 | 1.36 | 太めくぎ ZN65(4本) | |
| | S M-40 | 4.30 | 3.85 | 3.40 | 太めくぎ ZN65(12本) | |
| ひねり金物 | S T-9 | 1.72 | 1.54 | 1.36 | 太めくぎ ZN40(4本) | |
| | S T-12 | | | | | |
| | S T-15 | | | | | |
| 折曲げ金物 | S F | 2.58 | 2.31 | 2.04 | 太めくぎ ZN40(6本) | |
| くら金物 | S S | 5.16 | 4.62 | 4.08 | | |
| 羽子板ボルト | S B・F, S B・F2 | 5.69 | 5.20 | 5.00 | 六角ボルト M12(1本) | |
| | S B・E, S B・E2 | | | | | |
| かど金物 | C P・L | 4.30 | 3.85 | 3.40 | 太めくぎ ZN65(10本) | |
| | C P・T | | | | | |
| 山形プレート | V P | 5.04 | 4.56 | 3.92 | 太めくぎ ZN90(8本) | |
| 短ざく金物 | S | 5.69 | 5.20 | 5.00 | 六角ボルト M12(2本) | |
| かね折り金物 | S A | | | | | |
| かすがい | C-120 | 1.27 | 1.18 | 1.08 | | |
| | C-150 | | | | | |
| 手違いかすがい | C C-120 | | | | | |
| | C C-150 | | | | | |
| 引き寄せ金物 | H D-B10 | 11.38 | 10.40 | 10.00 | | 六角ボルト M12(2本) |
| | S-HD10 | | | | 又は5ヶスクリューLS12(2本) | |
| | H D-B15 | 17.07 | 15.60 | 15.00 | 六角ボルト M12(3本) | |
| | S-HD15 | | | | 又は5ヶスクリューLS12(3本) | |
| | H D-B20 | 22.76 | 20.80 | 20.00 | 六角ボルト M12(4本) | |
| | S-HD20 | | | | 又は5ヶスクリューLS12(4本) | |
| | H D-B25 | 28.45 | 26.00 | 25.00 | 六角ボルト M12(5本) | |
| | S-HD25 | | | | 又は5ヶスクリューLS12(5本) | |
| | H D-N5 | 7.56 | 6.84 | 5.88 | 太めくぎ ZN90(6本) | |
| | H D-N10 | 12.60 | 11.40 | 9.80 | 太めくぎ ZN90(10本) | |
| | H D-N15 | 20.16 | 18.24 | 15.68 | 太めくぎ ZN90(16本) | |
| | H D-N20 | 22.68 | 20.52 | 17.64 | 太めくぎ ZN90(20本) | |
| | H D-N25 | 29.48 | 26.68 | 22.93 | 太めくぎ ZN90(26本) | |

(4) アンカーボルト 下記●印で選択したアンカーボルトを適用する

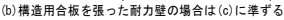
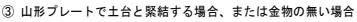
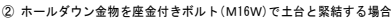
注：この図面は、一例を示したものであり、各現場の状況に合わせ変更して使用すること

1 基礎と土台の繋結

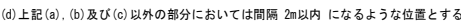
(1) アンカーボルトの配置

(a) 筋違いを設けた耐力壁の部分は両端柱の外側下部に近い位置を原則とする

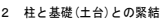
① ホールダウン金物をアンカーボルト(A-70)で緊結する場合



(c)隅各部、土台継手及び土台仕口箇所、端部

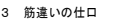
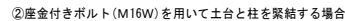


- (3) アンカーボルトの定着のチェック法
埋め込み位置のマークを確認する。
(埋込マークの中心ポイント)

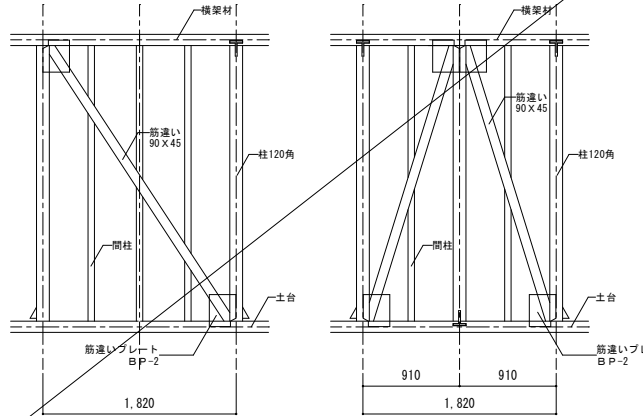


- (a) 柱は、構造計算による引き抜き応力に耐えられるように接合金物(ホールダウン金物)により基礎または土台と緊結する。ホールダウン金物は、柱の下部に締め代を30mm程度とり六角ボルト(M16)、ラグスクリュー(L S 12)または太めくぎ(Z N90)にて柱に固定する。

- ①ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接基礎に緊結する場合



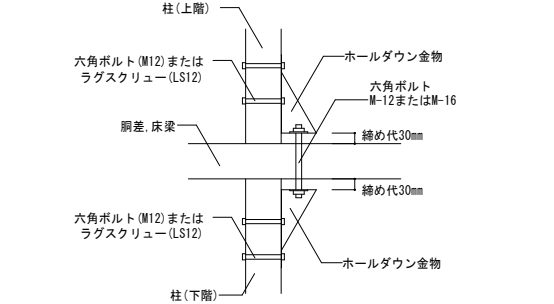
筋違いの仕口は筋違いプレート(BP, BP-2)によって緊結する



(a) 通し柱は、次のいずれかによる

① 1階から3階に達する通し柱とする。

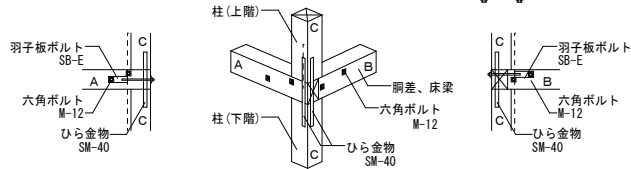
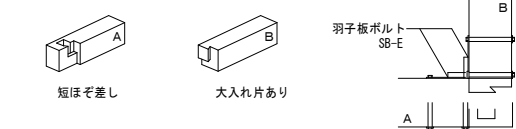
-



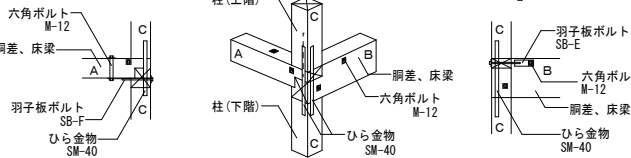
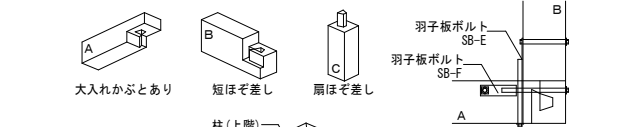
- (c) 上記(b)以外の構造計算による引抜き応力が小さい2階柱の接合金物は、短ざく金物(S)ひら金物(SM-40)等のZマーク表示品、または、これらと同等以上のものとする。

- (1) 隅柱

- (a) 出隅
- ① 直交する隅差がほぼ同寸であり、かつ同一高さで取合う場合
- 一方の隅差(B)を他方の隅差(A)に大入れ片あり掛け、隅差相互を建物の内側に添えた羽子板ボルト(SB-E)で引寄せ、上下管柱は隅差(A)に短ぼろ落とし、管柱出隅両面にひら金物(SM-40)を当て、各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。



- ② 直交する調差の法が異なり段違いに取合う場合
一方の調差(A)を他方の調差(B)に大入れ(かぶと)ありに仕掛け、調差(A)の下部に添寄せた羽子板フルト(SB-F)で調差(B)を引寄せ、さらに、調差(B)の内側に添寄せた羽子板フルト(SB-E)で調差(A)を引寄せる。
上下管は引ずれもそれぞれ調差(A,B)に順は寄せず、管口出隅両面にひら金物(SM-M40)を当て各々太くも(±ZN65)で打ち固める。

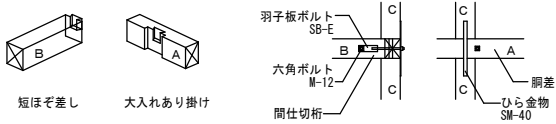


- ①、②共、状況に応じて、かね折り金物(SA)を胴差に対して取り付けること。
- (b) 入り隅
- 入り隅は出隅の場合に準ずる。ただし、準ずることが困難な場合には通し柱とする。

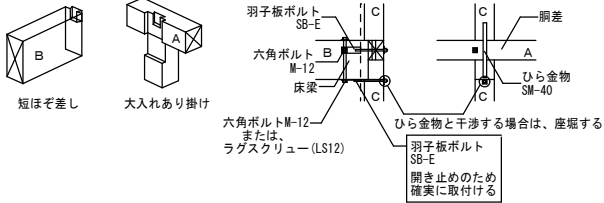
A-1

(2)「隔柱に準ずる柱」の通し柱と同等以上の耐力を有するような補強方法

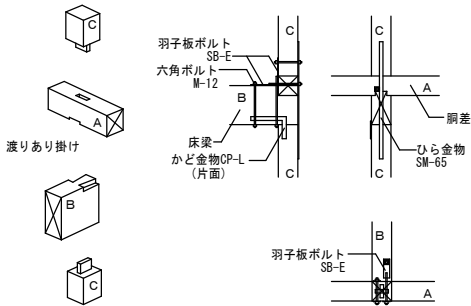
① 直交する胴差がほぼ同寸であり、かつ、同一高さで取合う場合
間仕切桁(B)は胴差(A)に大入れあり掛け、胴差(A)を間仕切桁(B)より羽子板
ボルト(SB-E)で引寄せ。
上下管柱は胴差(A)へ短ぼぞ差しとし、上下管柱外側にひら金物(SM-40)を当て、
各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。



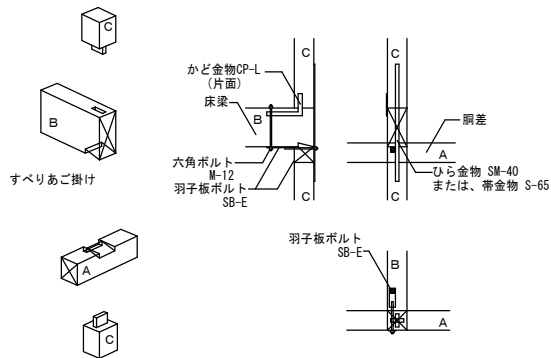
② 胴差と直交する梁があり、上端が揃う場合
床梁(B)は胴差(A)に大入れあり掛け、下階柱には大入れ、胴差(B)を床梁(A)及び管柱(C)
より羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せる。
上下管柱は胴差(A)へ短ぼぞ差しとし、上下管柱外側にひら金物(SM-40)を当て、各々太め
くぎ(Z N65)で打ち固める。



③ 胴差と直交する床梁が胴差の下側にある場合
床梁(B)は下階管柱の長ぼぞに差し込み、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(Z N65)で
打ち、胴差(A)は床梁(B)に渡りあり掛け、床梁(B)を羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せる。
上階柱は胴差(A)に短ぼぞ差し、上下管柱相互は外側にひら金物(SM-40)(長さが足りない場合
は、帯金物(S-65)を代用する)を当て、各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。
床梁(B)と下階柱とは、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(Z N65)で打ち固める。



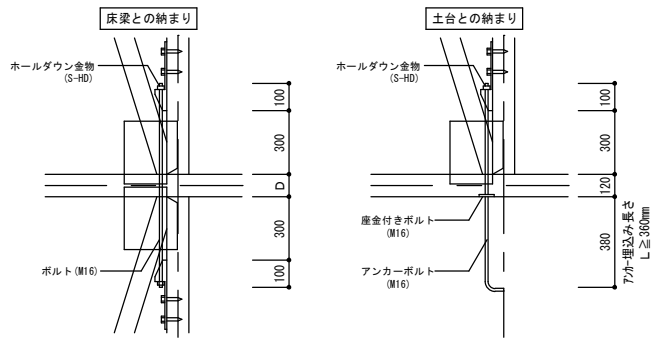
④ 胴差と直交する床梁が胴差の上側にある場合
下階管柱の長ぼぞに胴差(A)を差し込み、床梁(B)は胴差(A)にすべりあご掛けとし、胴差
より羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せる。
上階管柱は床梁(B)へ短ぼぞ差しとし、上下管柱相互は外側にひら金物(SM-40)(長さがたりない
場合は、帯金物(S-65)を代用する)を当て、各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。
上階管柱と床梁(B)とは、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(Z N65)で打ち固める。



5 ホールダウン金物周辺の納まり

(1) 筋違いとホールダウン金物の納まり
筋違いとホールダウン金物は極力重ならないように位置を決定する。
重なりが出てきた場合には、以下の方法を参考に納まりを決定する。

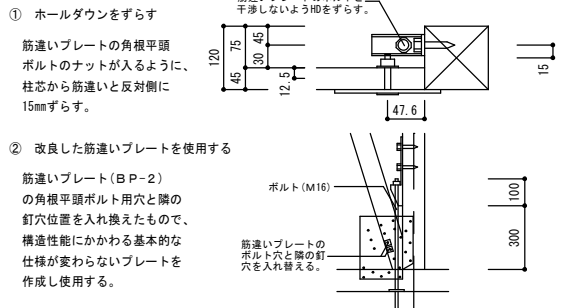
(a) ホールダウン金物自体と筋違いの重なり
ホールダウン金物と横架材間の締め代を長く取り、筋違いと重ならないようにする。
その場合、座金付きボルト(土台)やアンカーボルト(基礎)、ボルト(床梁等)
が標準の場合より長くなることに注意する。



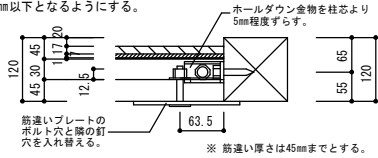
筋違いが上下の 一方にある時	筋違いが上下に ある時
D+430	D+800

座金付きボルト	アンカーボルト
520	900

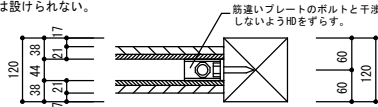
(b) ホールダウン金物の引寄せボルトと筋違いプレートの角根平頭ボルトのナット部分との重なり
120mmX120mm の柱に対して 45mmX105mm の筋違いが取り付け場合ホールダウン金物の
引寄せボルトと筋違いプレートの角根平頭ボルトのナット部分との重なりを防ぐため以下の
ように納める。ただし、120mm 角未満の場合は施工できないことに注意する。



(c) 折衷壁(壁の片側が真壁)におけるホールダウン金物の納まり
折衷壁(壁の片側が真壁)の場合、柱芯から筋違い側に5mmずらし、かつ上記
(b)~②のように改良した筋違いプレートを使用する。
ただし、筋違い厚さは45mm以下となるようにする。

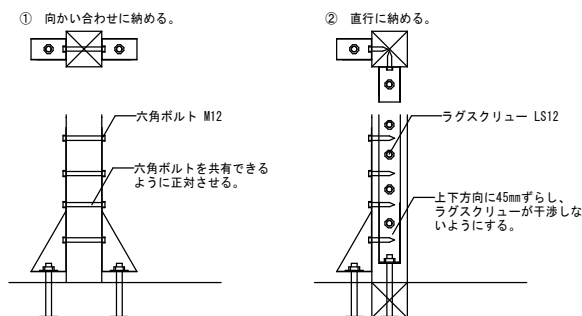


(2) 両側真壁の場合のホールダウン金物の納まり
両側真壁の場合、ホールダウン金物をS-HDとし、また柱のちりを16mm程度にする。
ただし、この場合筋違いは設けられない。



(3) 2本のホールダウン金物の納まり

- ① 向かい合わせに設ける場合、六角ボルトを共有できるようにする。
- ② 直行する場合、ホールダウンの取り付け位置を上下に45mmずらし六角ボルトが重ならないように
する。この場合欠損が大きいためラグスクリューを使用することが望ましい。

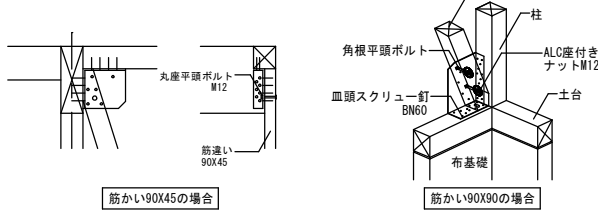


(4) ホールダウンの選定

ホールダウン	ホールダウンのとりつく壁の種類		
	大壁	折衷壁	両面真壁
HD-N	○	×	×
HD-B	○	×	×
S-HD	○	○	○

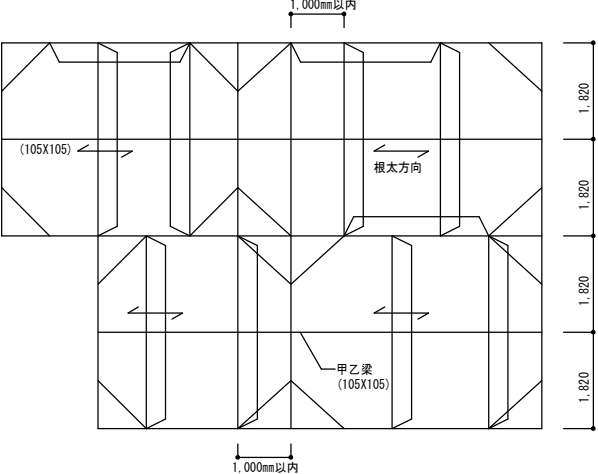
記号 ○ : 使用できる。
× : 納まらないため、使用できない。
※ 面材の受材・筋違いが干渉する場合はS-HDを使用する。

(5) 3階建て用筋違い金物



6 床組 2階(3階)床

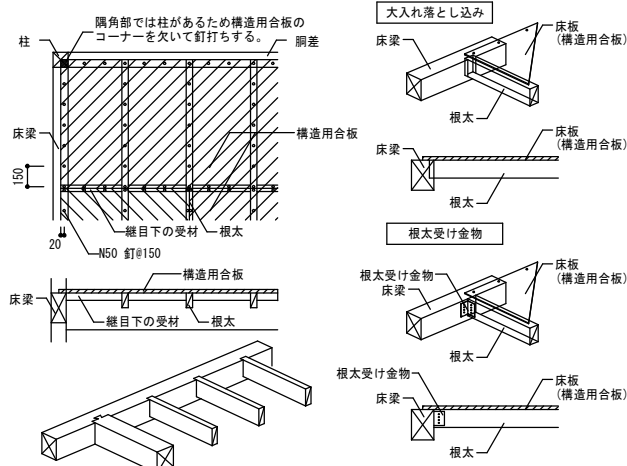
耐力壁線の交点が不一致の場合は、その階の水平力伝達に有効な横架材を耐力壁線上に設ける。
ただし、1メートル(約半間)を限度とする。



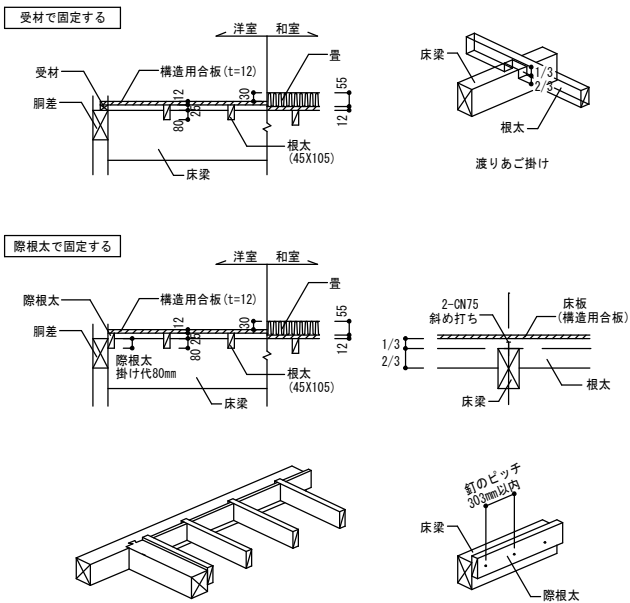
(1) 水平構面の剛性が十分期待できる床の施工(剛な床組)

- ① 種類 : サイズ3×6版以上、厚さ12mm以上の構造用合板を用いる。
- ② 張り方 : 構造用合板の長手方向を根太と直交させ、かつ千鳥張りとする。
構造用合板の継手は、根太上で付き付け継ぎとし、継目下に受材
(45mmX45mm程度)を設ける。
- ③ 釘打ち : 構造用合板の四周边は釘(N50)を150mm以下で根太または床梁や胴差、
受材等に平打ちする。
- ④ 床根太の寸法は45mmX105mmを標準とし、根太間隔は、455mm以下とする。
ただし、断面寸法105mmX105mm以上の甲乙梁を1,820mm内外(1間)の間隔
に梁間・桁行き方向に配置する。
- ⑤ 床梁・胴差の仕口補強
柱と床梁・胴差、床梁と胴差の仕口は、金物、ボルトにより十分緊結補強する。

(a) 根太と床梁、胴差の上端高さが同じ場合の施工方法
根太は床梁、胴差に大入れ落とし込みとし、釘(N75,2本)で斜め打ちとすとか、
または、根太受け金物を用いて床梁、胴差に留め付ける。
この場合、構造用合板を床梁、胴差に釘で直張りする。
ただし、隅角部では柱があるため構造用合板のコーナーを欠いて釘打ちする。
なお、この場合、火打ち梁は省略できる。

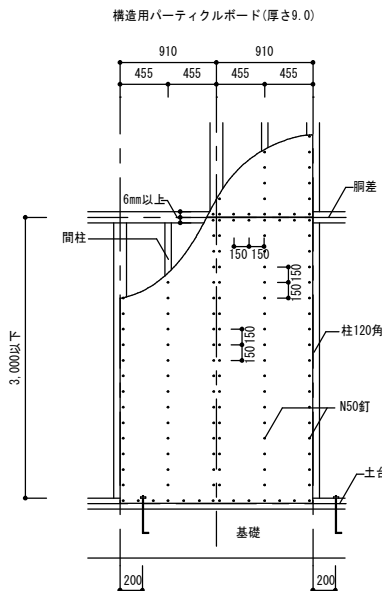


(b) 根太と床梁、胴差の上端高さが異なる場合の施工方法
床梁、胴差に直交する根太は渡りあご掛けとし、釘(N75,2本)で斜め打ちとする。
また、床梁・胴差の際には際根太、または受材を添え付け床板構造用合板の四周边を固定する。
際根太は床梁・胴差へ釘打ち(N90)間隔303mmで平打ちする。



7 耐力壁(面材)施工例

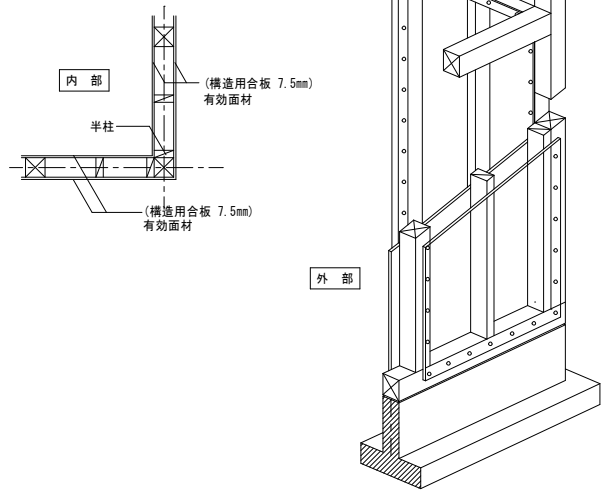
(1) 釘打ち基準



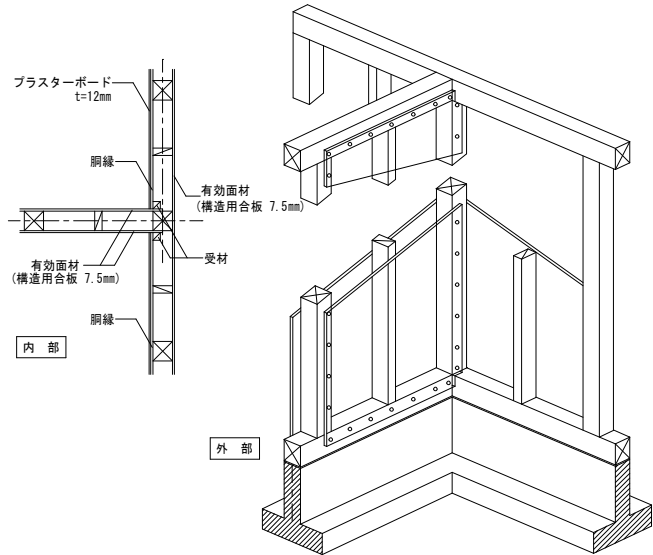
工事名	岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事	N o.	
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図 (2)	図 示	S-02
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和7年4月		S-06
担当課長	主計	課長	課員

(2) 標準的な耐力壁(面材)の納まり

(a) 隅角部(屋外・室内側共構造用合板 7.5mmの場合)
内部側の入隅に有効面材を貼るために、柱面に半柱を釘N75#300で取付ける。



(b) T字部(外壁屋外側・室壁に構造用合板 7.5mmの場合)



(c) 柱の断面寸法が異なる場合の面材の納め方

- 柱を外面に合わせる。内壁側は受材で調整し、面材を張る。
- 柱を外面に合わせる。内壁側は柱の一部を欠き取り調整し、面材を張る。
- 柱は芯合わせとし、外壁側、内壁側とも受材で調整し、面材を張る。
- 柱は芯合わせとし、外壁側、内壁側とも柱の一部を欠き取り調整し、面材を張る。

(3) 柱にホールダウン金物を使用する場合の耐力壁(面材)の納まり

(a) 隅角部

- ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に有効面材を伸ばし、釘打ちする。その上から半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に他方向の面材を釘打ちする。

- ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に有効面材を伸ばし、釘打ちする。他方向の非有効面材は受材を設けて取付ける。

- 面材の受材に半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に有効面材を釘打ちする。この場合、ホールダウン金物の取付けは、六角ボルトを使い、また、その長さに注意する。

- 面材の受材に半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に有効面材を釘打ちする。他方向の非有効面材は受材を設けて取付ける。ただし、ホールダウンと面材が干渉するので、使用するホールダウン金物はS-HDとし、受材の、大きさに注意する。

(a) T字部周辺

- ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に面材を伸ばし釘打ちする。その上から半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に他方向の有効面材を釘打ちする。

- 面材の受材に半柱を釘N75#300で取付け、有効面材を釘打ちする。この場合、ホールダウン金物の取付けは六角ボルトを使い、また、その長さに注意する。

- 有効面材をホールダウン金物に干渉しないように柱面に釘打ちする。他方向の非有効面材は受材を設けて取付ける。ただし、ホールダウンと面材が干渉するので、使用するホールダウン金物はS-HDとし、受材の大きさに注意する。

8 小屋組

- 小屋火打梁
火打梁は耐力壁線に囲まれた隅角部に設ける。

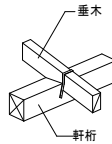
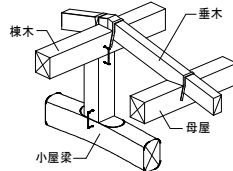
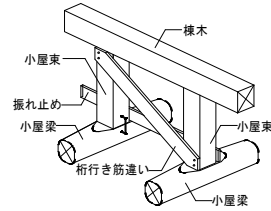
- 小屋筋違い及び桁筋違い・振れ止め
小屋組の一体化を図るために、小屋束相互及び梁・桁にまたがり筋違い15mm×90mm以上を釘(N50, 2本)で平打ちし固定する。

- 垂木
軒先部や、けらば・棟部の垂木は軒桁・母屋・棟木等の受材とひねり金物(S T)・折曲げ金物(S F)・くら金物(S S)等で緊結する。

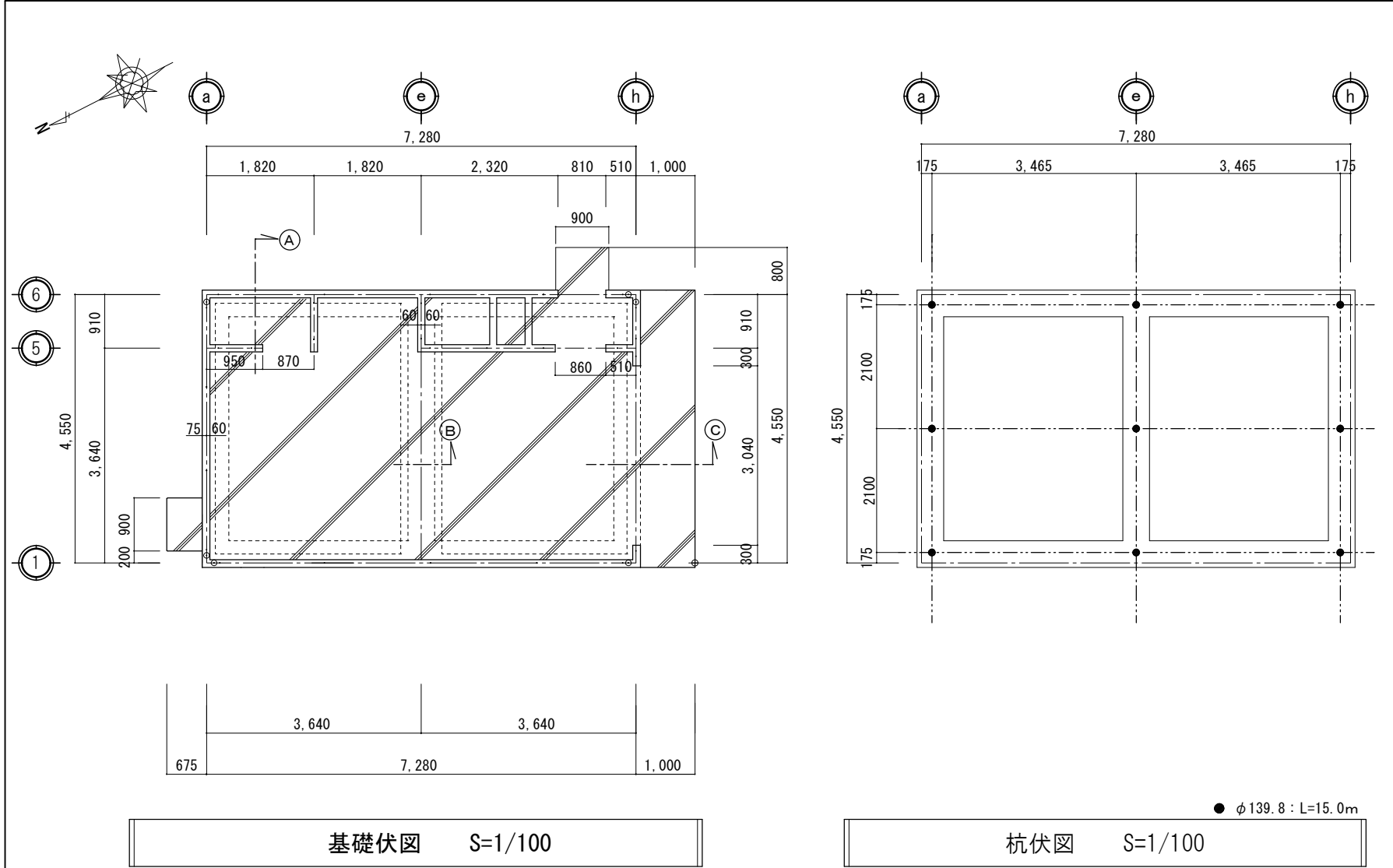
- 棟木・母屋
棟木と第2母屋は、必要に応じて金物等で小屋束に接合する。

- 小屋束
小屋束下部と小屋梁あるいは妻梁・桁は、必要に応じて金物等で接合する。

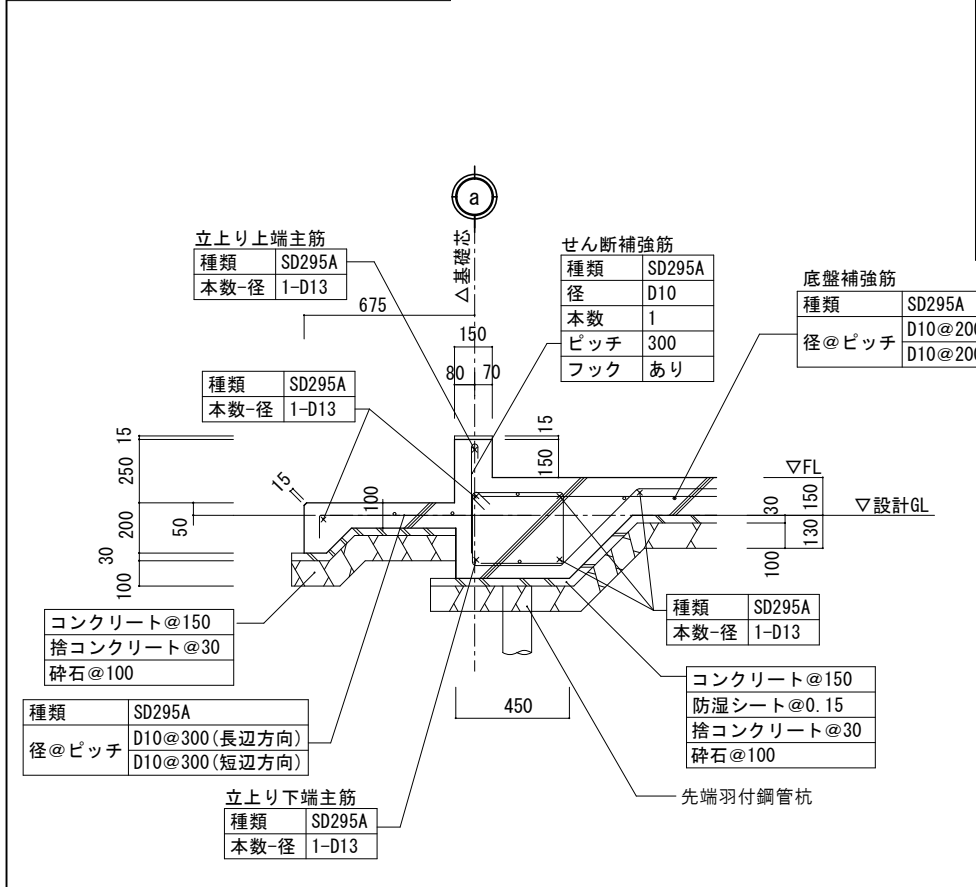
- 垂木(剛床の場合) 今回工事
垂木は、ひねり金物のほか、折曲げ金物、L型受金物を使用して緊結する。



工事名	岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事				N o.			
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図 (3)				S-03			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年4月	S-06			
担当課長	主幹	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

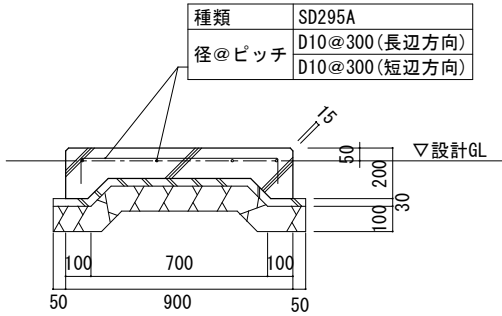


LPGボンベ置場詳細図 S=1:30

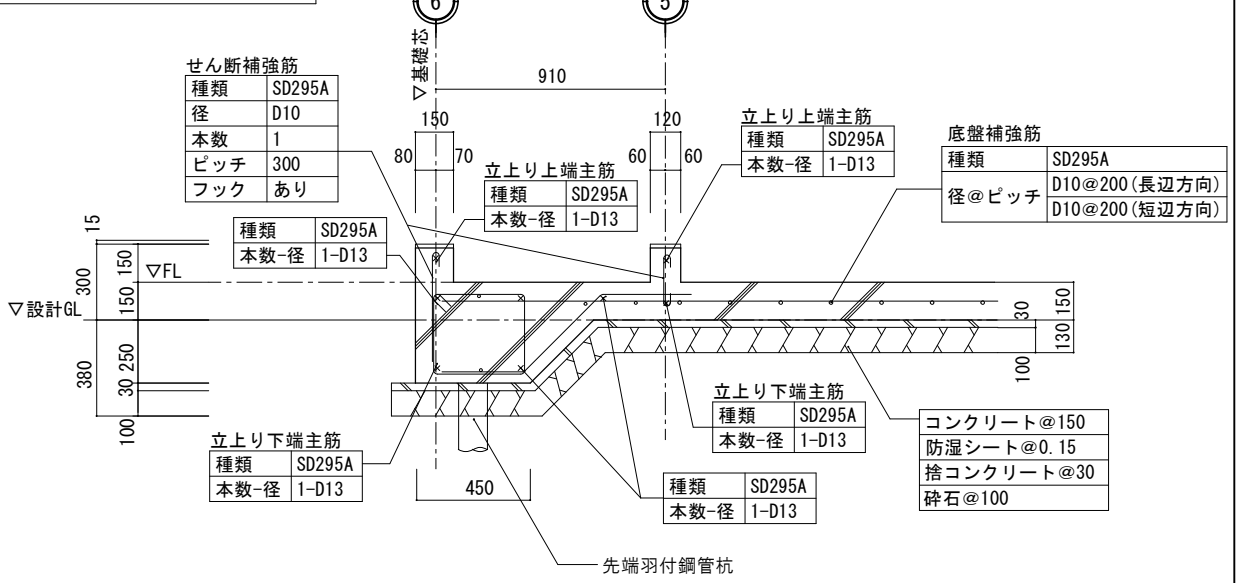


刃工法 同等以上
(GBRC 性能証明 第19-04号 改2)
軸 径 : φ 139. 8mm
軸管厚 : to=3. 5mm (STK490)
拡翼径 : φ 350. 0mm
拡翼厚 : tw=12. 0mm (SS400)
杭 長 : L=15. 0m
杭先端深度 : 設計GL-15. 25m
本 数 : n=9本
杭1本当たりの支持力 : Ra=76. 9KN/本

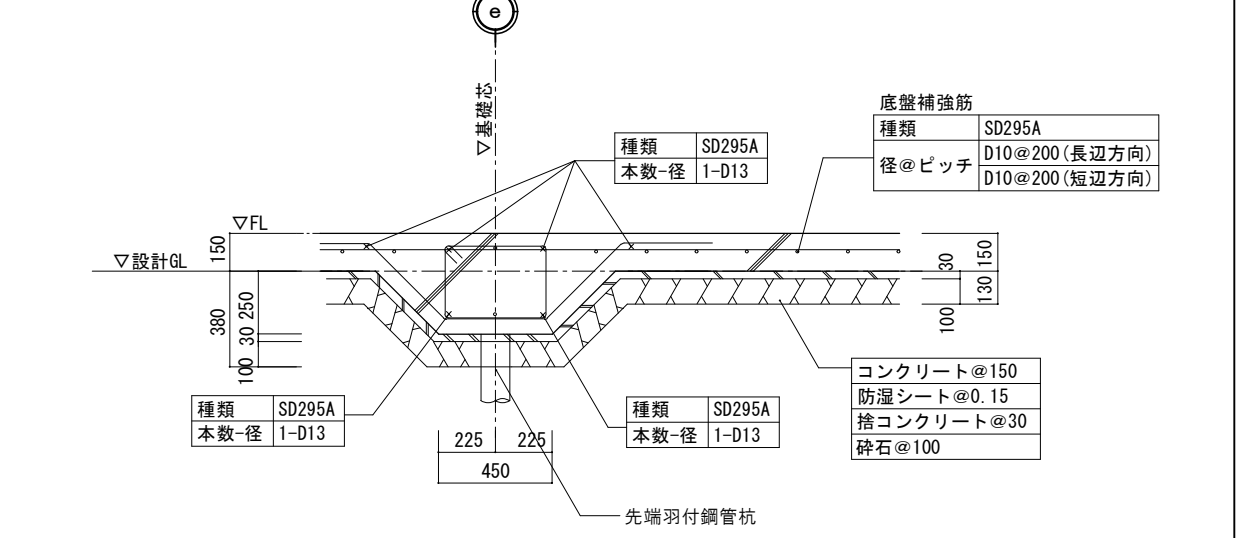
※着工前に施工計画書を提出し、本杭1本を試験杭として
施工監理基準を定めて監理者の承認を受けること。



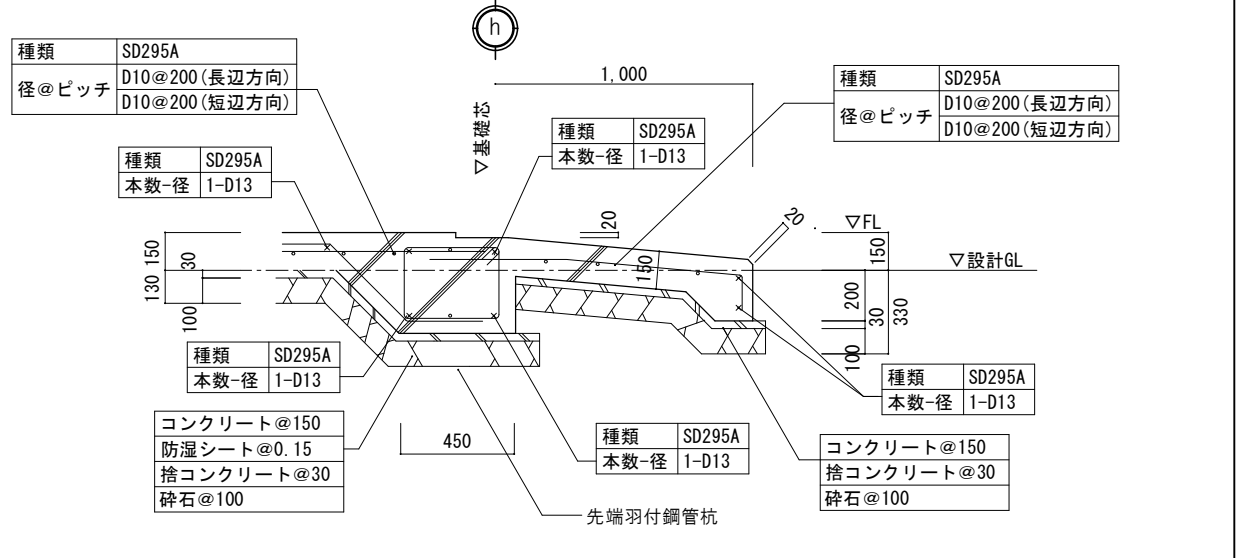
① 詳細図 S=1/30



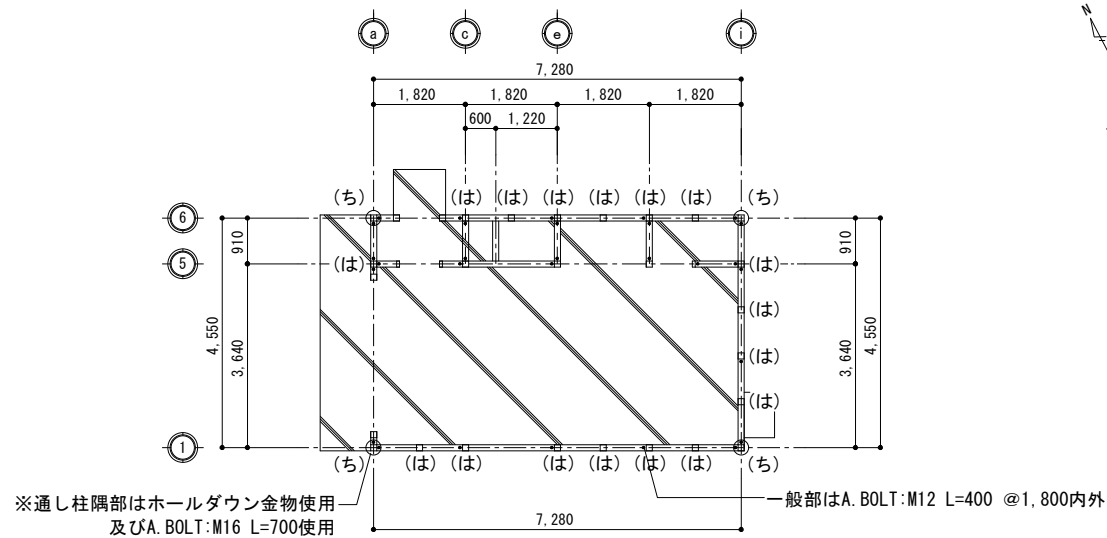
② 詳細図 S=1/30






③ 詳細図 S=1/30

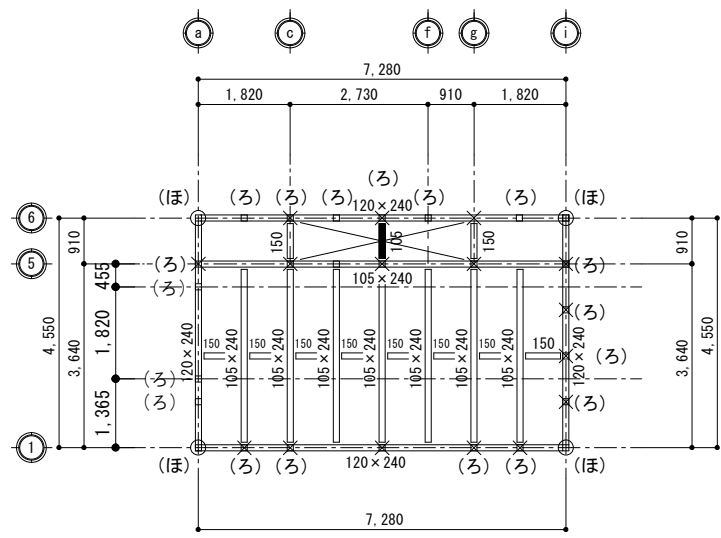


工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事			No. S-04
図面名	基礎伏図・杭伏図・基礎詳細図		縮尺	1/100 1/30	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和6年5月
課	長	担当課長	主 幹	課長補佐	
係	長	副主査・主任	設計担当		
公共建築課					








1階床伏図 S=1/150

凡 例				
	通シ柱	桧 特1等 KD	120 X 120	
	管 柱	桧 特1等 KD	105 X 105	
	土 台	桧 特1等 KD	105 X 105	
※接合金物はZマーク表示金物による				
※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。				
※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること				
※図示 (い) ～ (ぬ) は上記の柱頭・柱脚金物を示し、特記なきは (い) とする。				

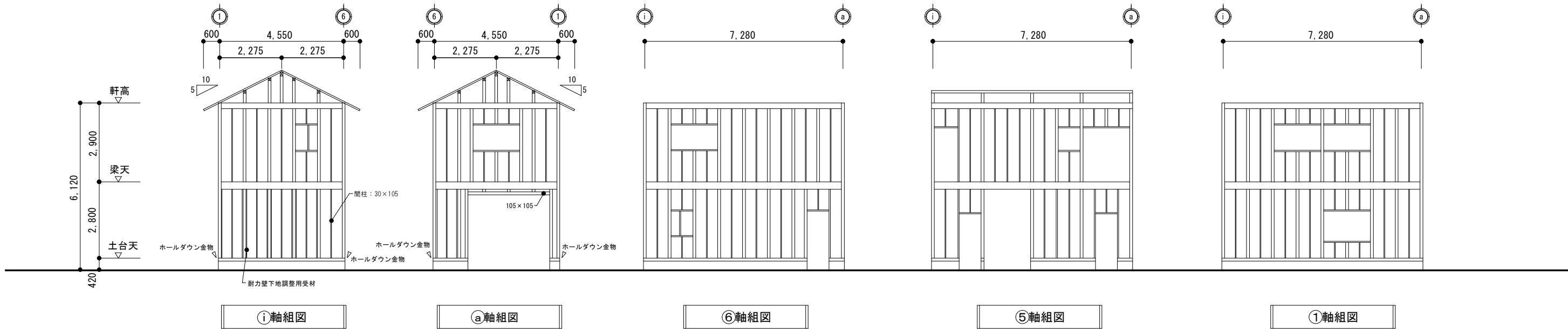


2階床伏図 S=1/150

凡 例				
	通シ柱	桧 特1等 KD	120 X 120	
	柱	桧 特1等 KD	105 X 105	
	梁	米松 特1等 KD	(図面記載) ※150は、105×150を示す。	
	梁	米松 特1等 KD	階段による下り梁	
	下階柱位置			
※接合金物はZマーク表示金物による				
※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。				
※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること				
※図示 (い) ～ (ぬ) は上記の柱頭・柱脚金物を示し、特記なきは (い) とする。				

＜告示1460号に応じた金物耐力表＞

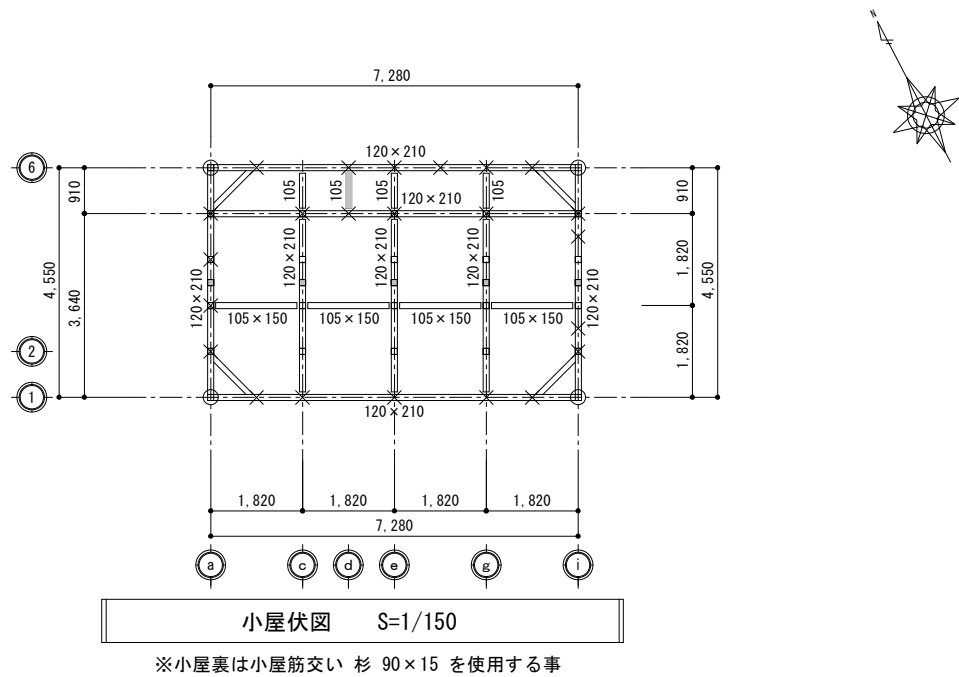
告示記号	N 値	必要耐力
(い)	0 以下	0 kN
(ろ)	0.65 以下	3.4 kN
(は)	1.0 以下	5.1 kN
(に)	1.4 以下	7.5 kN
(ほ)	1.6 以下	8.5 kN
(へ)	1.8 以下	10.0 kN
(と)	2.8 以下	15.0 kN
(ち)	3.7 以下	20.0 kN
(り)	4.7 以下	25.0 kN
(ぬ)	5.6 以下	30.0 kN










軸組図 S=1/150

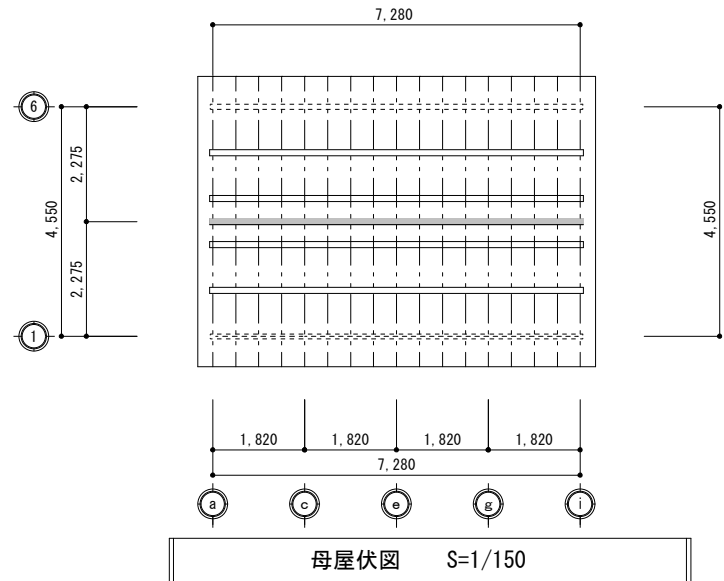
※G L + 1000以内の軸組み材には防腐・防蟻塗料を塗布。

工事名		岡山市消防団豊分団機庫改築工事				No. S-05 S-06			
図面名		1階床伏図・2階床伏図・軸組図		縮尺	1/150				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年4月				
担当課長		主幹	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

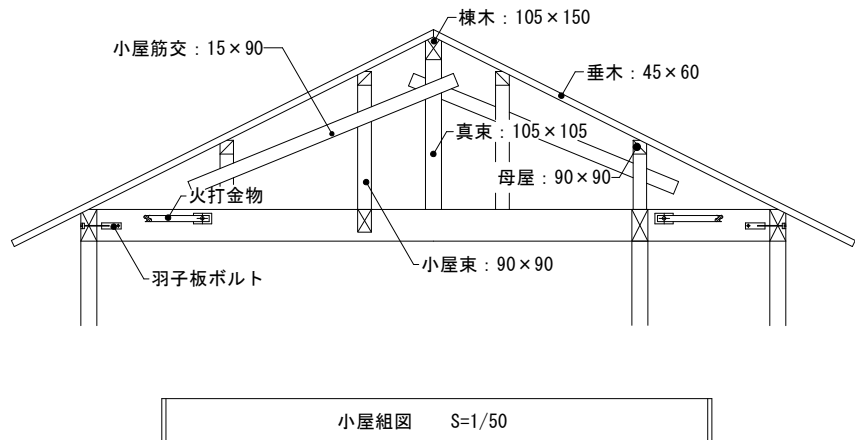


※小屋裏は小屋筋交い 杉 90×15 を使用する事

凡 例			
	通シ柱	桧 特1等 KD	120 X 120
	真束	桧 特1等 KD	105 X 105
	小屋束	桧 特1等 KD	90 X 90
	梁	米松 特1等 KD	(図面記載) ※105は、105×105を示す。
	梁	米松 特1等 KD	物置による下り梁
	火打	火打金物	
	下階柱位置		
※接合金物はZマーク表示金物による			
※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。 ※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。			
※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること			

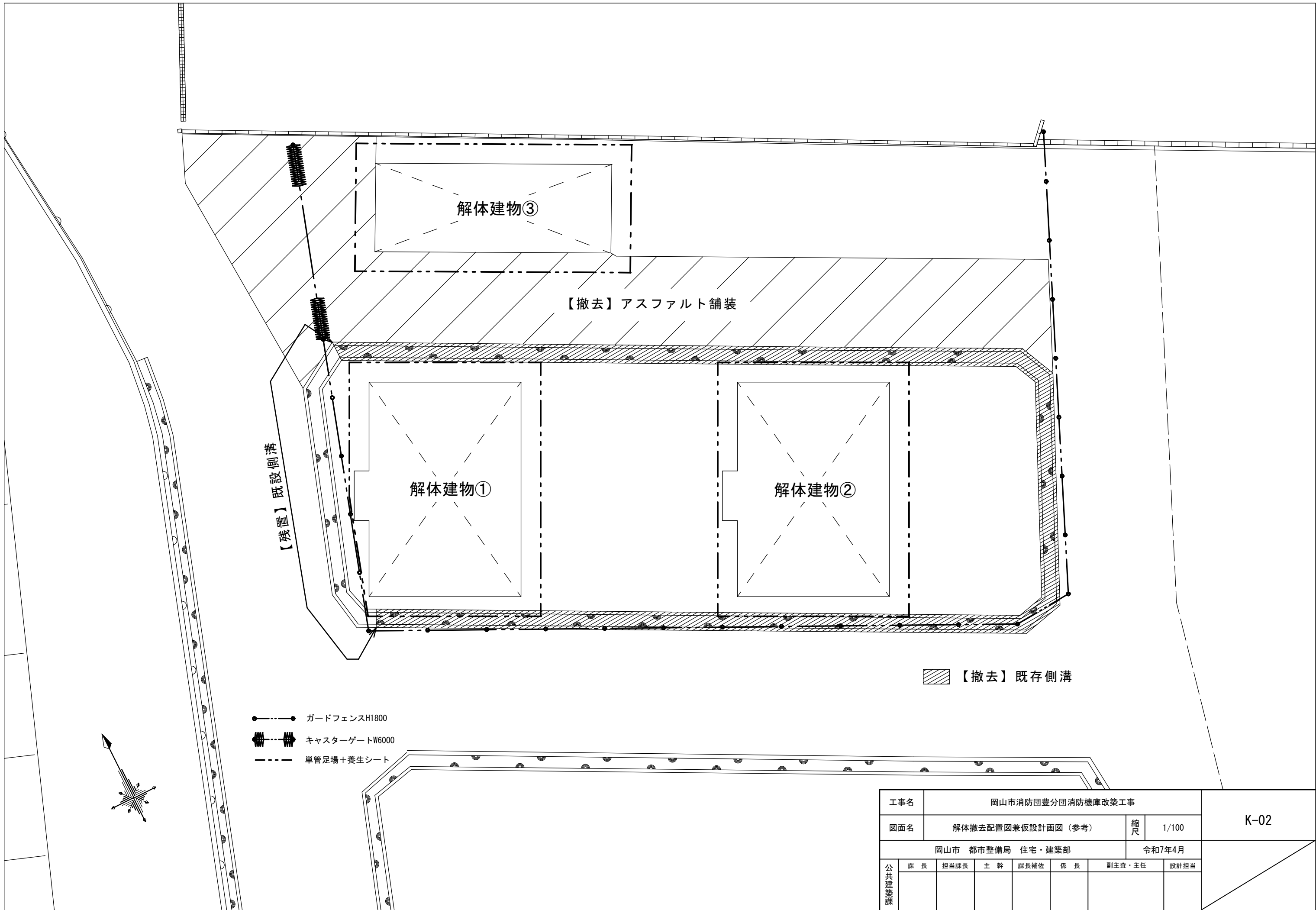


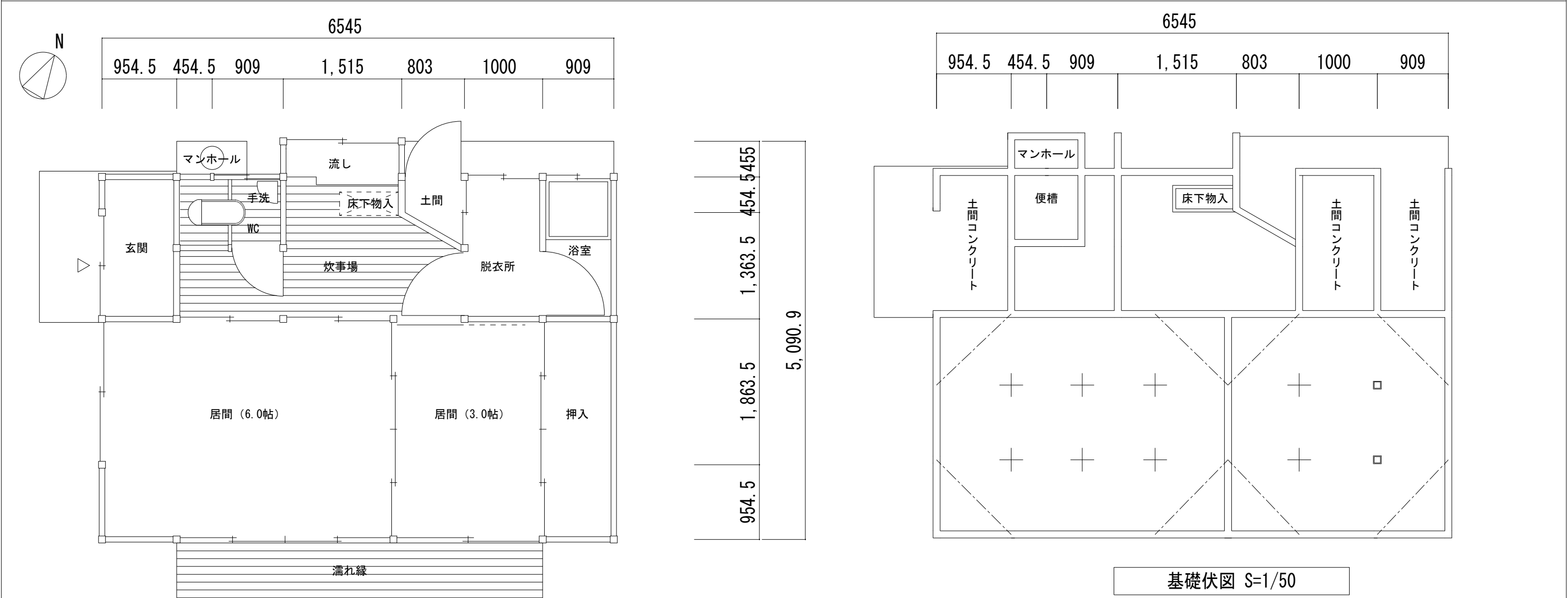
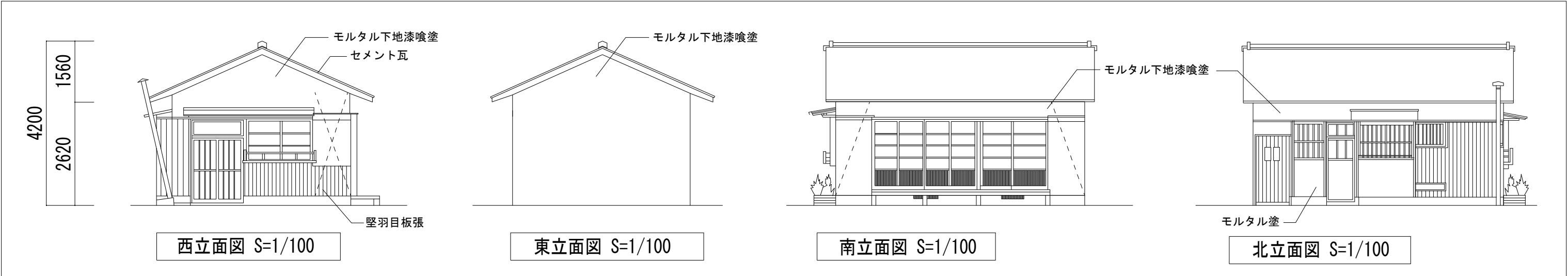
凡 例			
	棟木	米松 特1等 KD	105×150
	母屋	米松 特1等 KD	90×90
	垂木	杉	45×60@455
※接合金物はZマーク表示金物による			
※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。 ※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。			
※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること			



工事名	岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事				No. S-06 S-06			
図面名	小屋伏図・母屋伏図			縮尺				1/150 1/50
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年4月				
担当課長	主幹	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

[illegible]





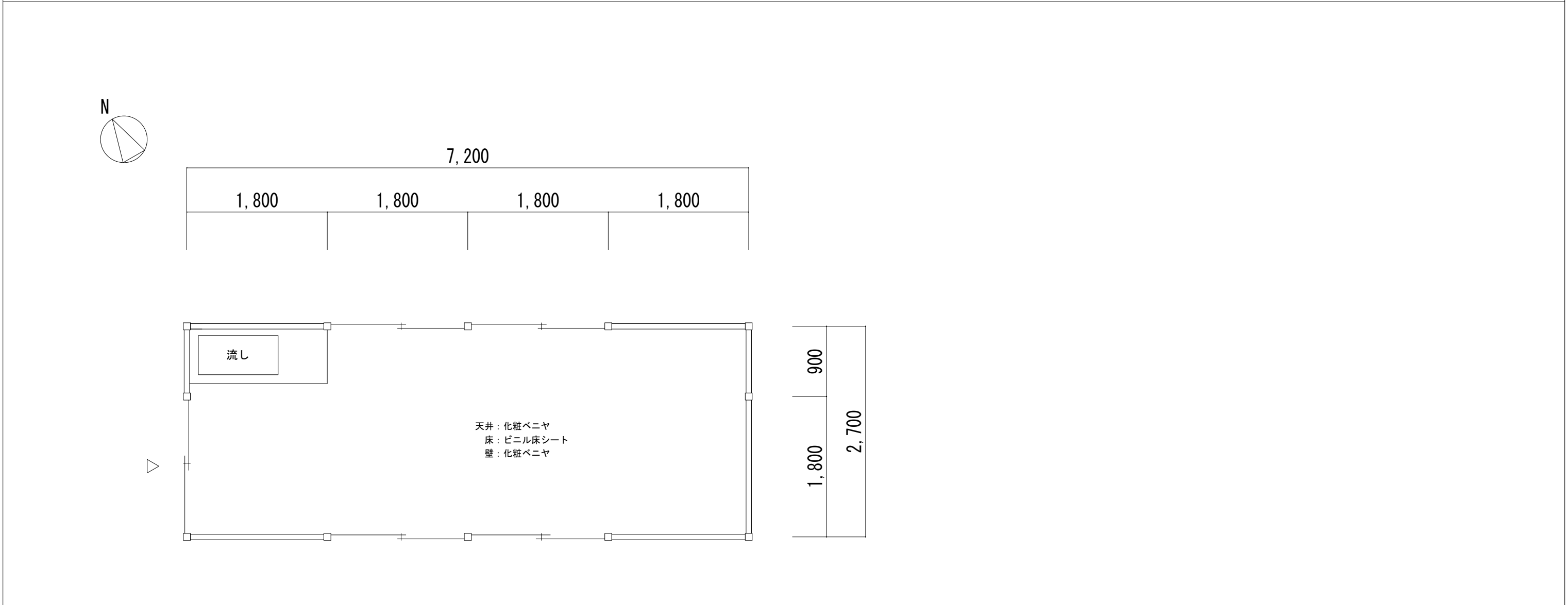
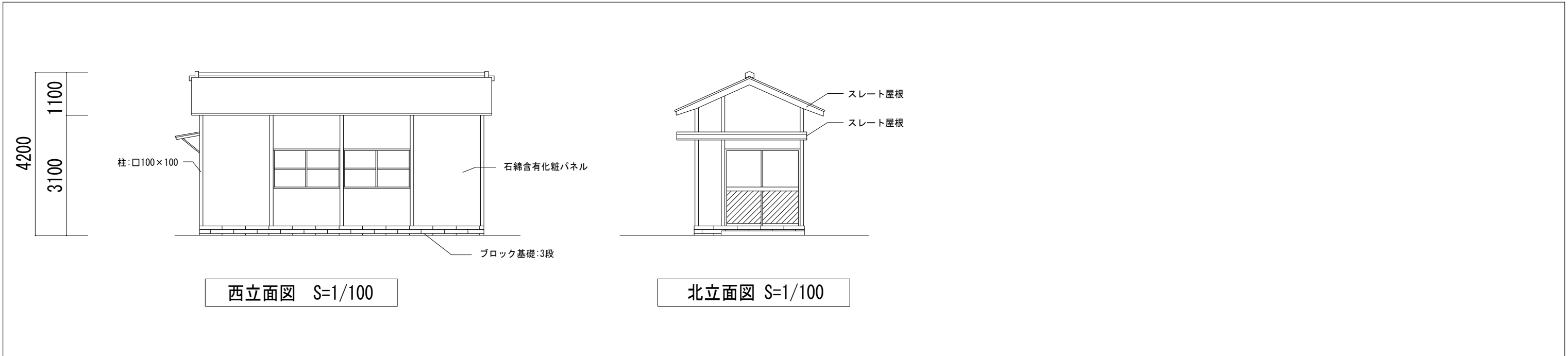
妻入り 平面図 S=1/50

仕上表

室名	区分	床	巾木	腰	壁	天井
玄関		コンクリート打モルタル	モルタル	堅羽目板	漆喰	打上天井
板の間		桧フローリング	畳縁	漆喰	漆喰	打上天井
便所		桧フローリング	木製	堅羽目板	漆喰	打上天井
炊事場		桧フローリング	木製	堅羽目板	漆喰	打上天井
脱衣所		コンクリート打モルタル	モルタル	モルタル	漆喰	打上天井
浴室		コンクリート打モルタル	モルタル	モルタル	漆喰	打上天井
6帖		畳	畳縁	漆喰	漆喰	竿縁
3帖		畳	畳縁	漆喰	漆喰	竿縁
押入		板張	木製	漆喰 一部板張	漆喰	竿縁

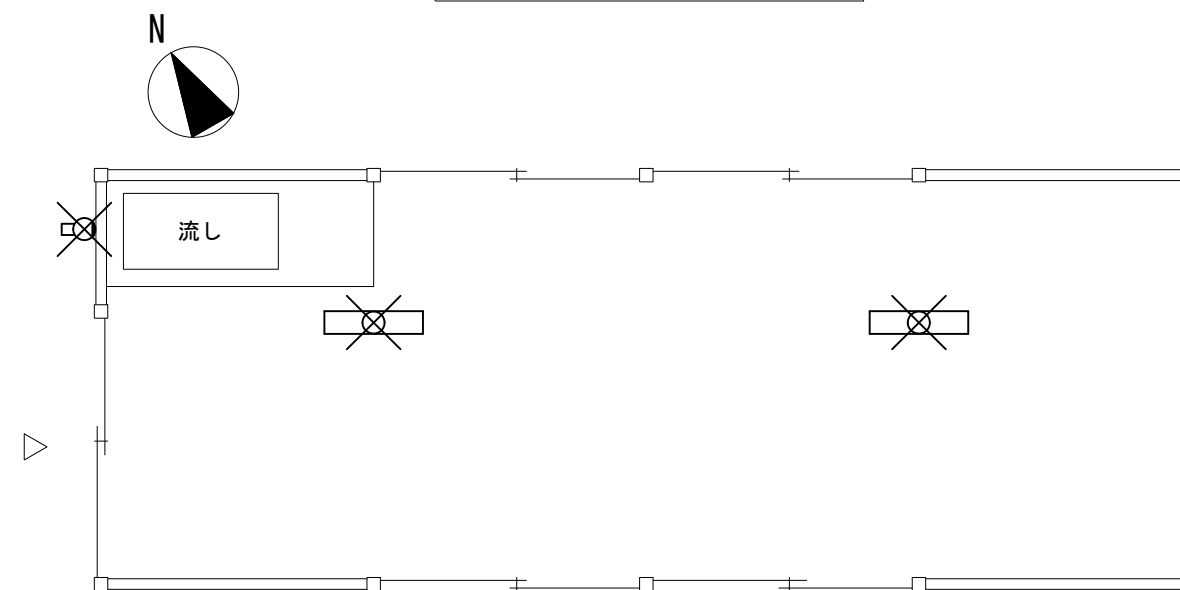
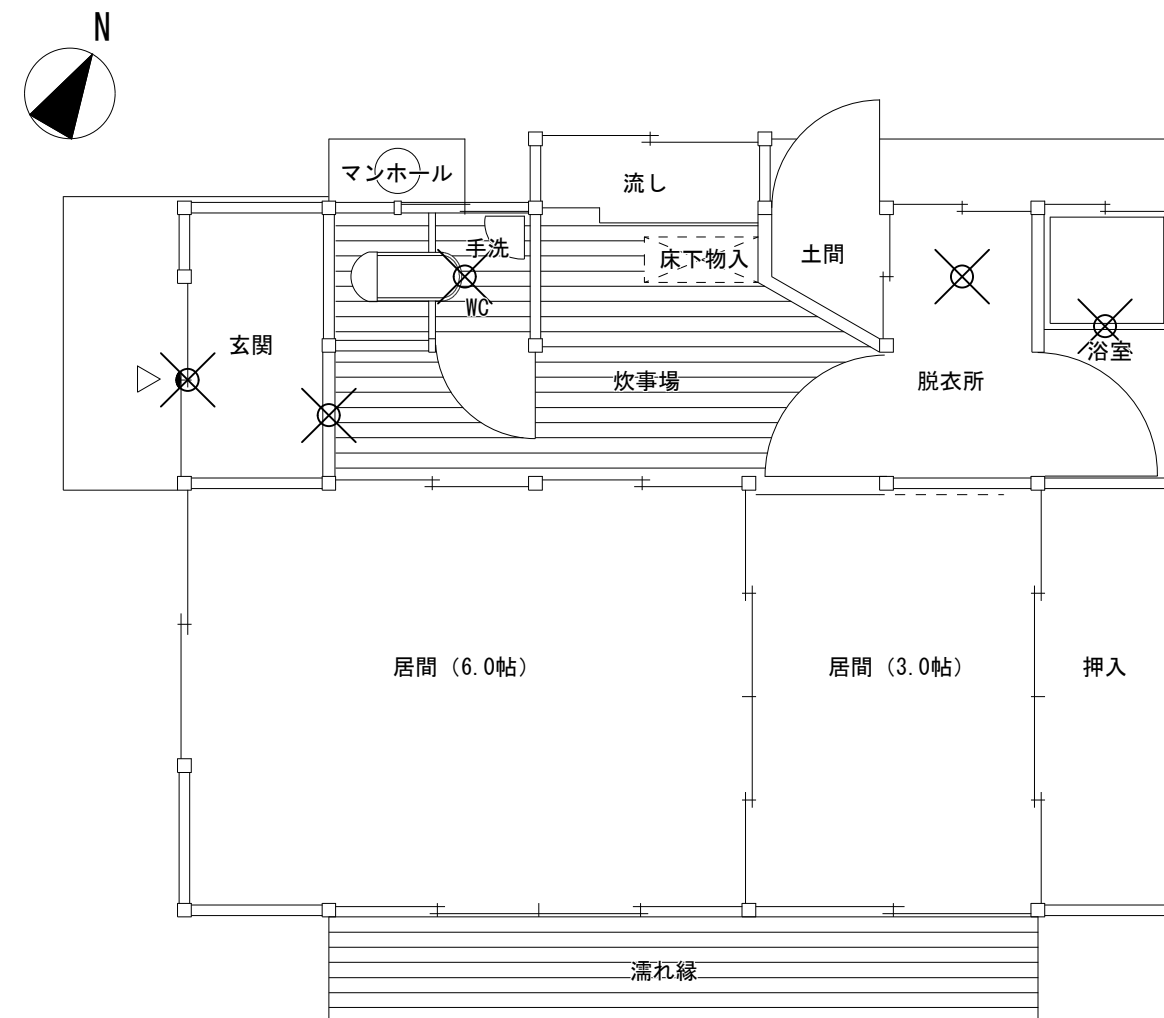
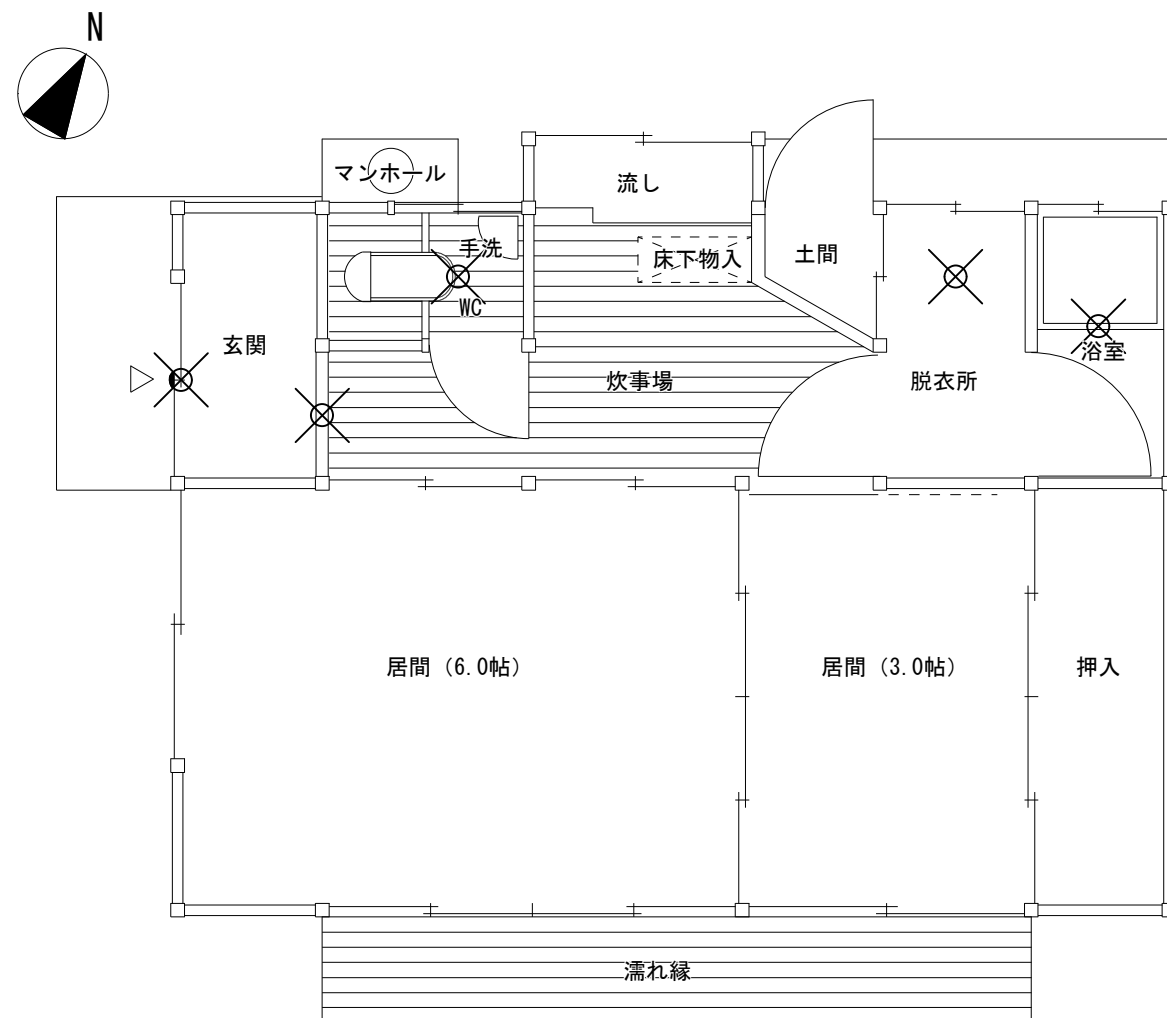
※解体建物①と解体建物②は同様



工事名	岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事							No.	
図面名	【解体建物①②】平面図・立面図・基礎伏図					縮尺	1/100, 1/50	K-03	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部							令和7年4月		
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任		設計担当	



平面図 S=1/50

工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事						No. K-04	
図面名		【解体建物③】平面図・立面図				縮尺	1/100, 1/50		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部							令和7年4月		
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任		設計担当	



凡 例	
○	シーリングライト 8
●	白熱灯(壁付) 2
	FL40W×2(直付) 2
	ブラケットライトFL20W(壁掛) 1
×	撤去(再使用しない) 13

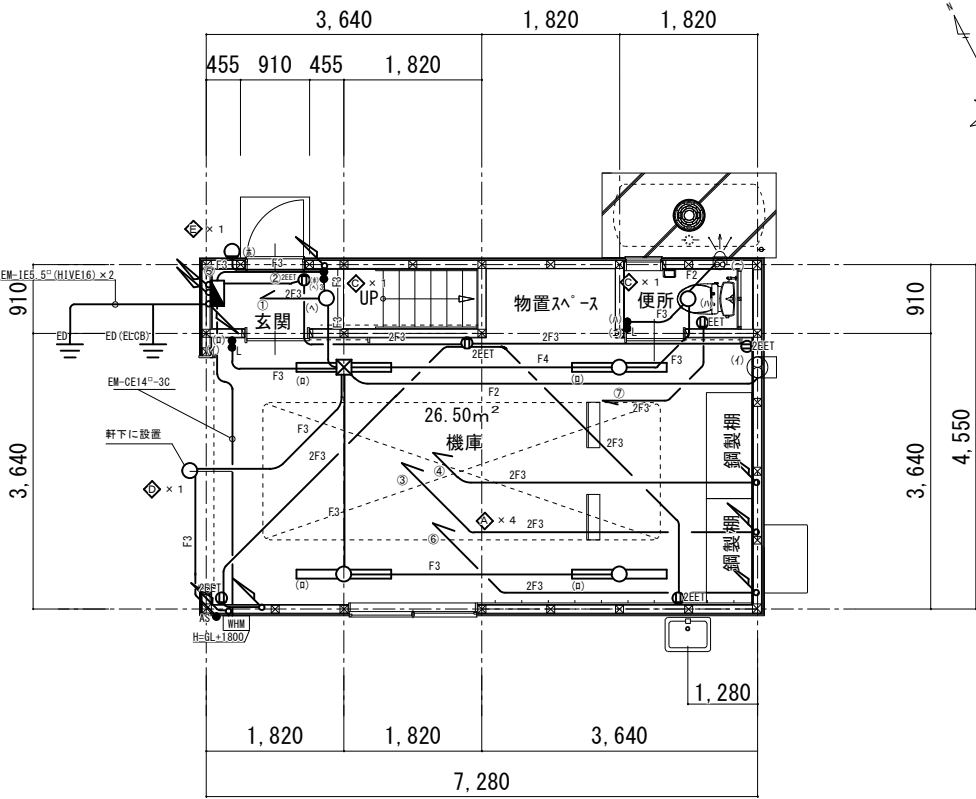
撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。

なお、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。保管場所については、監督員の指示に従うこと。

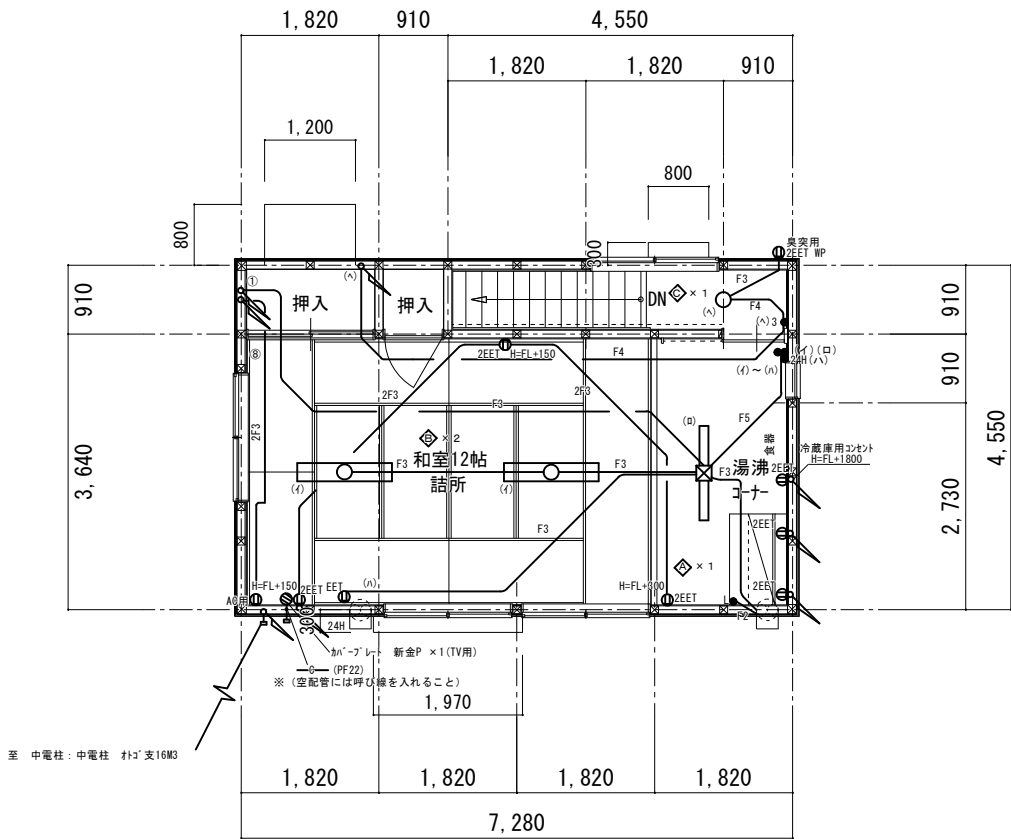
注)

屋内設備の照明器具は電気設備工事で撤去を行い、その他器具、配線等は建築手壊しにて撤去する。(再使用無し)

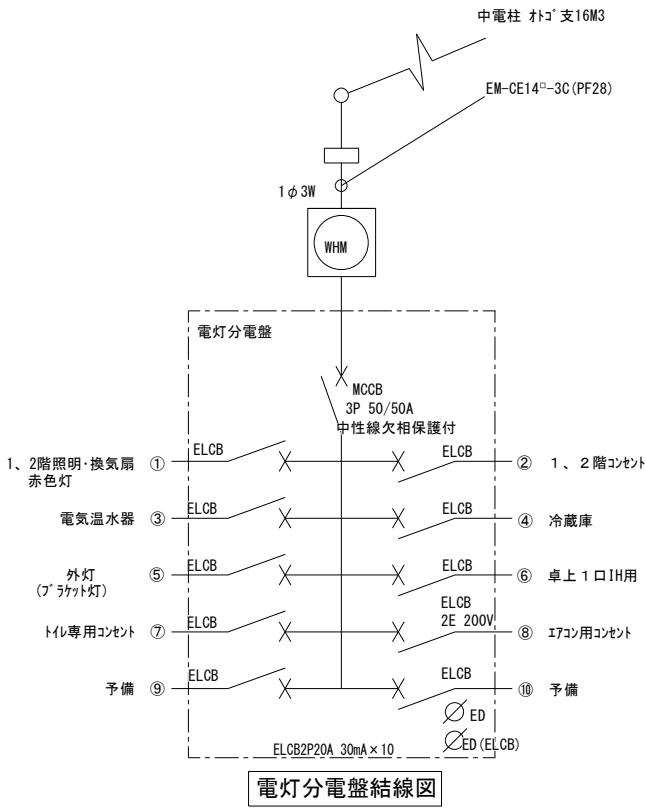
工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.	K-05
図面名		電気設備撤去図			縮尺	1/50		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部							令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当	



S=1/100 1階平面図



S=1/100 2階平面図



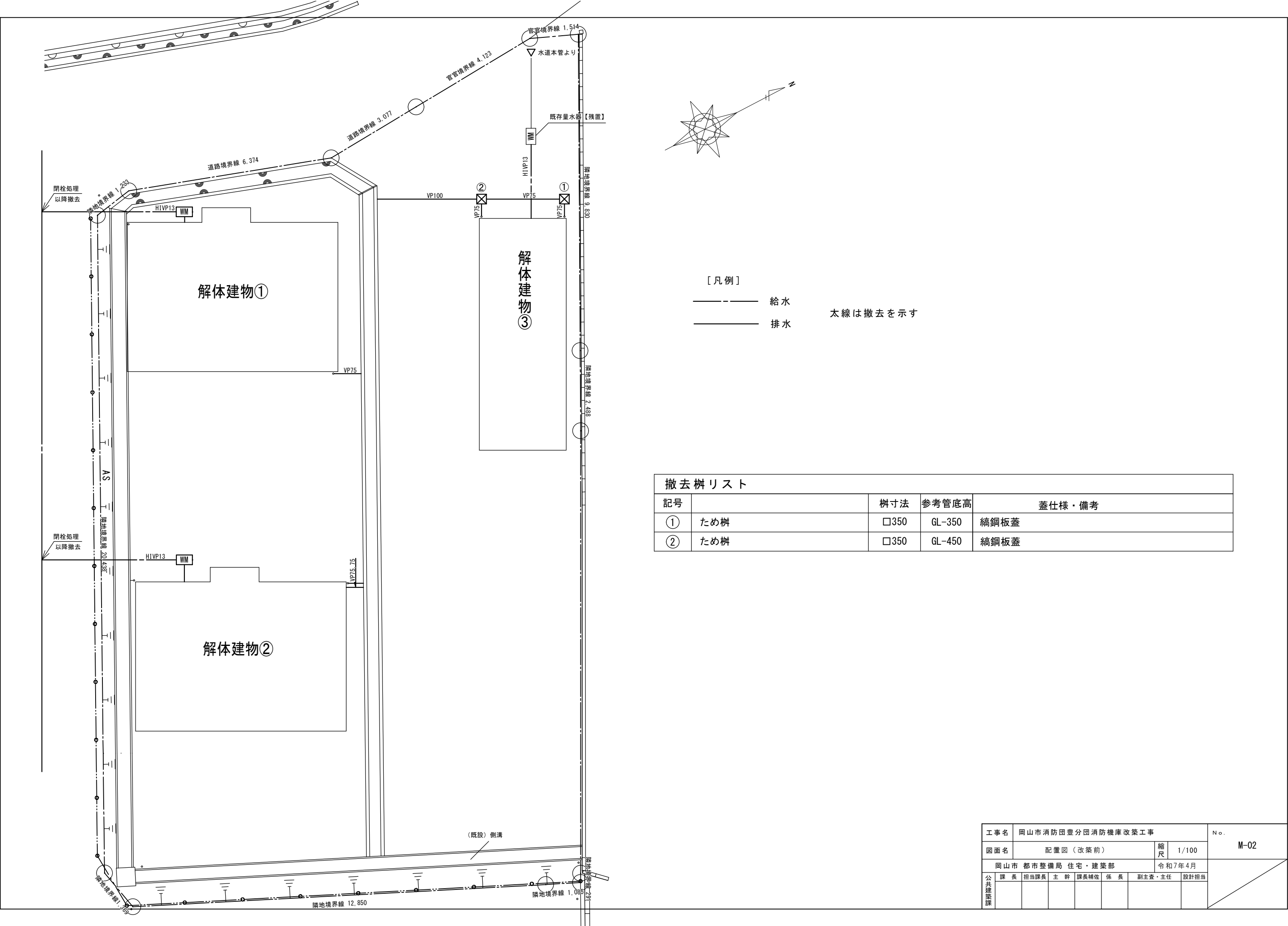
凡 例		(注) スイッチ・コンセントのプレートは、全て新金プレートとする。	
	照明器具 壁付型 姿図参照		埋込コンセント 2P20A ×1 E, ET付
	照明器具 ダウンライト 姿図参照		電灯分電盤 (市販品) ※
	照明器具 天井直付型 姿図参照		電 力 量 計
	照明器具 天井直付型 姿図参照		防 雨 入 線 か へ り
	換 気 扇 機械設備工事		埋込コンセント 2P15A×2、E、ET付 (接地極、接地端子付)
	埋込ネームスイッチ 1P15A×1		か へ り プ レ ー ト (新金属プレート)
	” 3W15A×1		PB SS200□ ×200-VE
	埋込ネームスイッチ(ランプ付) 15A×1		埋込コンセント 2P15A×1 E, ET付 (接地極、接地端子付)
	自動点滅器 100V 3A 相当品		接 地 工 事 E (ELB) : 第 D 種 (ELB 2 次側)
	24時間換気用スイッチ (機械設備より支給)		防水コンセント 2P15A×2 E, ET付 (接地極、接地端子付)

※電灯分電盤 (市販品) BQR85829 組換品 同等以上とする

LED 逆富士型 3200LM (昼白色, 5000K) HF32W相当	LED 逆富士型 6800LM (昼白色, 5000K) HF32W×2相当	LED ダウンライト 850LM (昼白色, 5000K) 白熱球60形相当
公共型番 : LSS9-4-30 LN	公共型番 : LSS9-4-65 LN	公共型番 : LRS1-08 LN
LED 赤色灯	LED ブラケット灯 (電球色, 2700K, 290lm以上)	
参考型番 : NNF202932	参考型番 : LGWC80315K LE1	

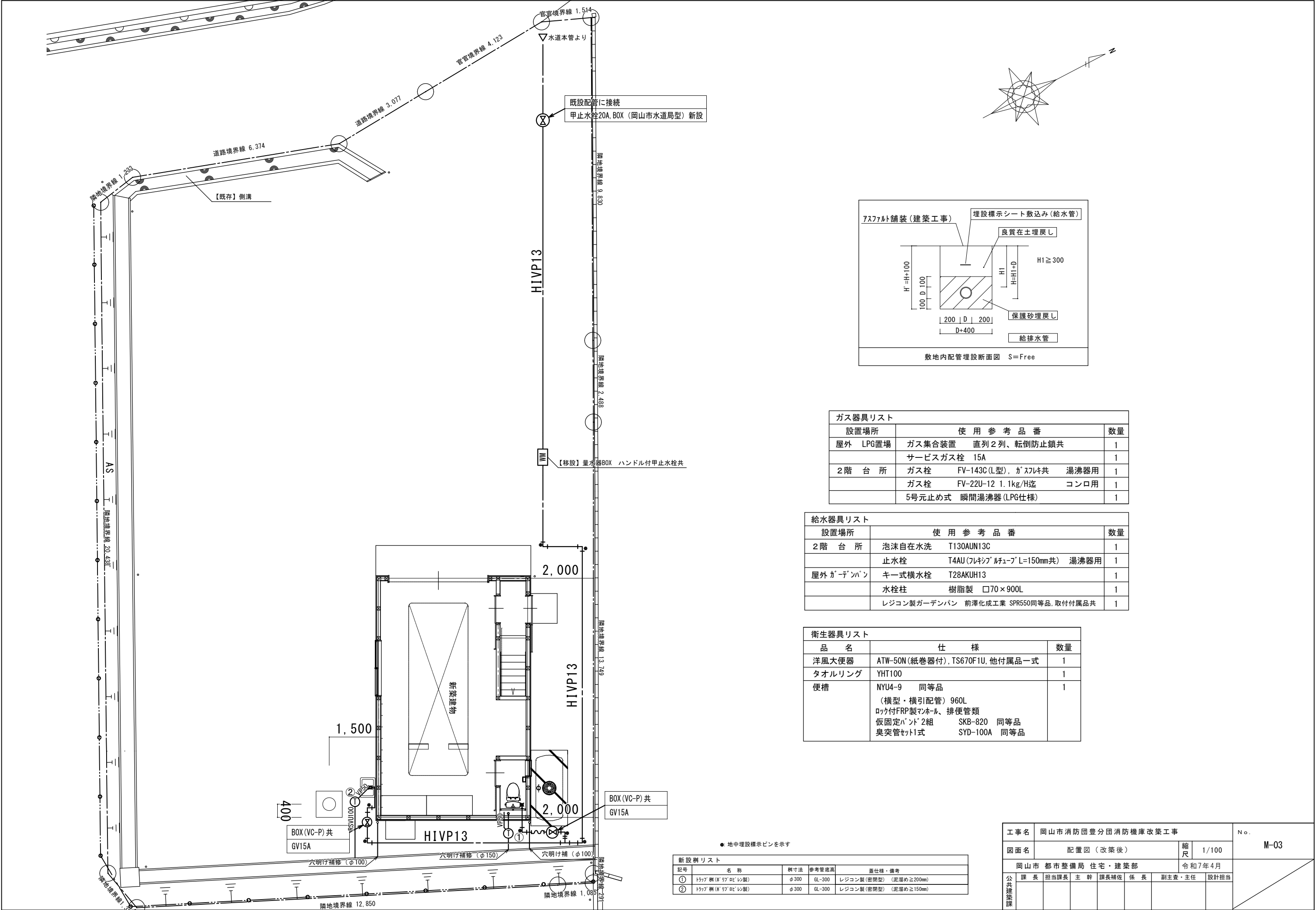
- (注 1) 配線は天井内ころがシケーブル配線とし、壁内配線はPF管にて保護すること。
- (注 2) コンセント等の取付高は岡山市建築設備工事(電気)仕様書を参考にし、変更は監督員と協議の上決定する。
- (注 3) 機庫内のコンセントの取付高は、FL+800(芯)とする。
- (注 4) 接地線は緑線を使用すること。

工事名							岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事		No.	E-02
図面名		電気設備平面図				縮尺	1/100			
							岡山市 都市整備局 住宅・建築部		令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当			



撤去樹リスト				
記号		樹寸法	参考管底高	蓋仕様・備考
①	ため樹	□350	GL-350	縞鋼板蓋
②	ため樹	□350	GL-450	縞鋼板蓋

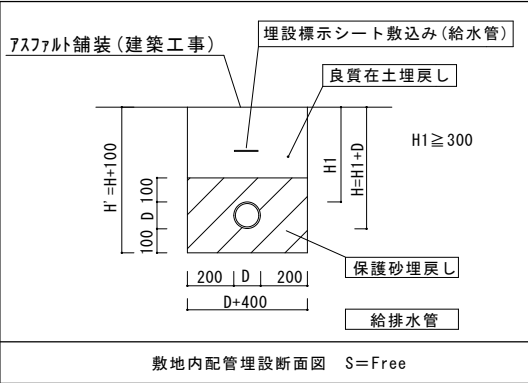
工事名		岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事					No.	
図面名		配置図（改築前）					縮尺	1/100
		岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和7年4月	
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当	



既設配管に接続
甲止水栓20A, BOX (岡山市水道局型) 新設

【移設】量水器BOX ハンドル付甲止水栓共

BOX (VC-P) 共
GV15A



Gas Appliance List			
設置場所	使用参考品番		数量
屋外 LPG置場	ガス集合装置 直列2列、転倒防止鎖共		1
	サービスガス栓 15A		1
2階 台所	ガス栓 FV-143C (L型), ガスレキ共	湯沸器用	1
	ガス栓 FV-22U-12 1.1kg/H迄	コンロ用	1
	5号元止め式 瞬間湯沸器 (LPG仕様)		1

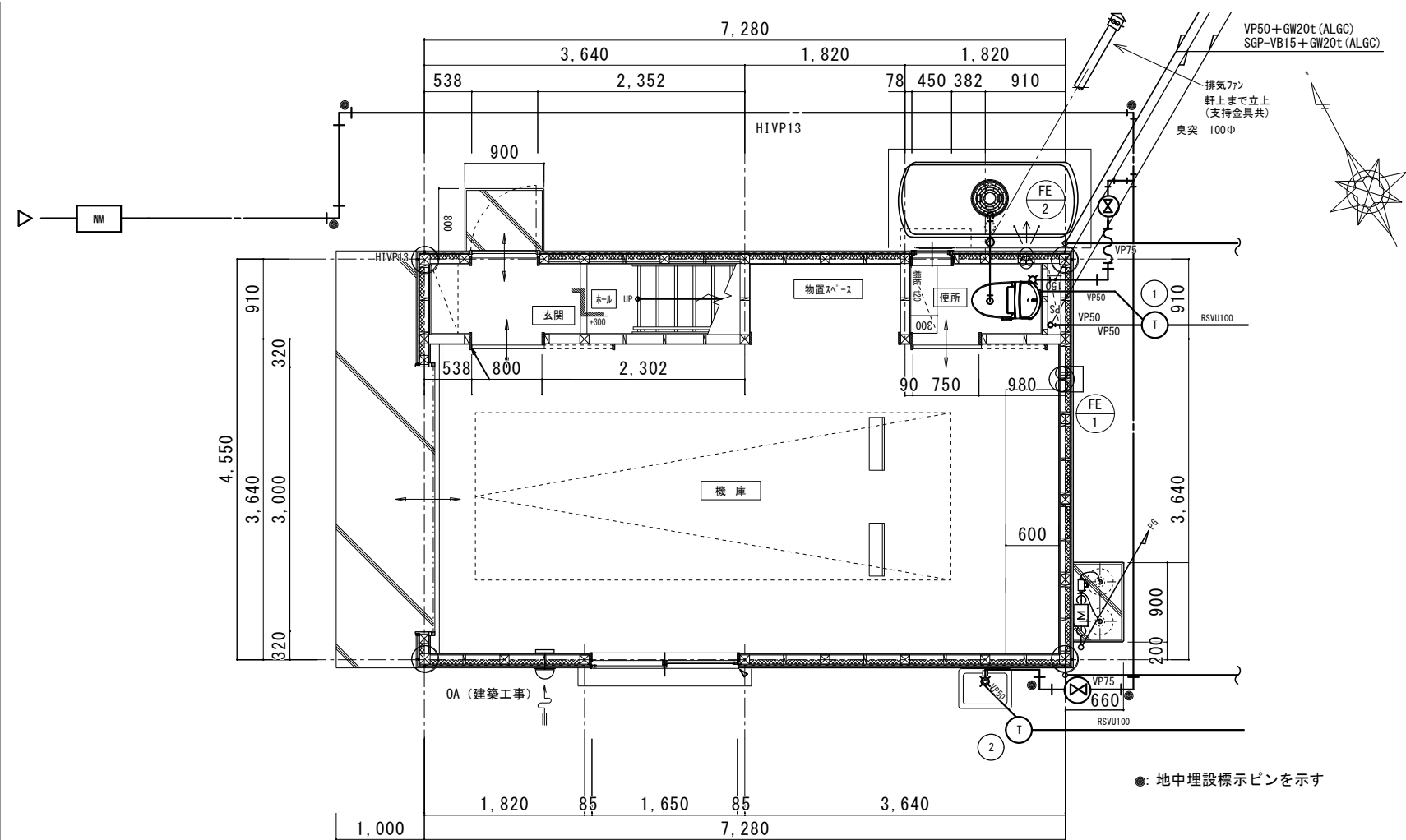
Water Appliance List			
設置場所	使用参考品番		数量
2階 台所	泡沫自在水洗 T130AUN13C		1
	止水栓 T4AU (フレキシブルチューブ L=150mm共)	湯沸器用	1
屋外 ガーデンパン	キー式横水栓 T28AKUH13		1
	水栓柱 樹脂製 □70×900L		1
	レジコン製ガーデンパン 前澤化成工業 SPR550同等品, 取付付属品共		1

Sanitary Appliance List		
品名	仕様	数量
洋風大便器	ATW-50N (紙巻器付), TS670F1U, 他付属品一式	1
タオルリング	YHT100	1
便槽	NYU4-9 同等品 (横型・横引配管) 960L ロック付FRP製マホール、排便管類 仮固定バンド2組 SKB-820 同等品 臭突管セット1式 SYD-100A 同等品	1

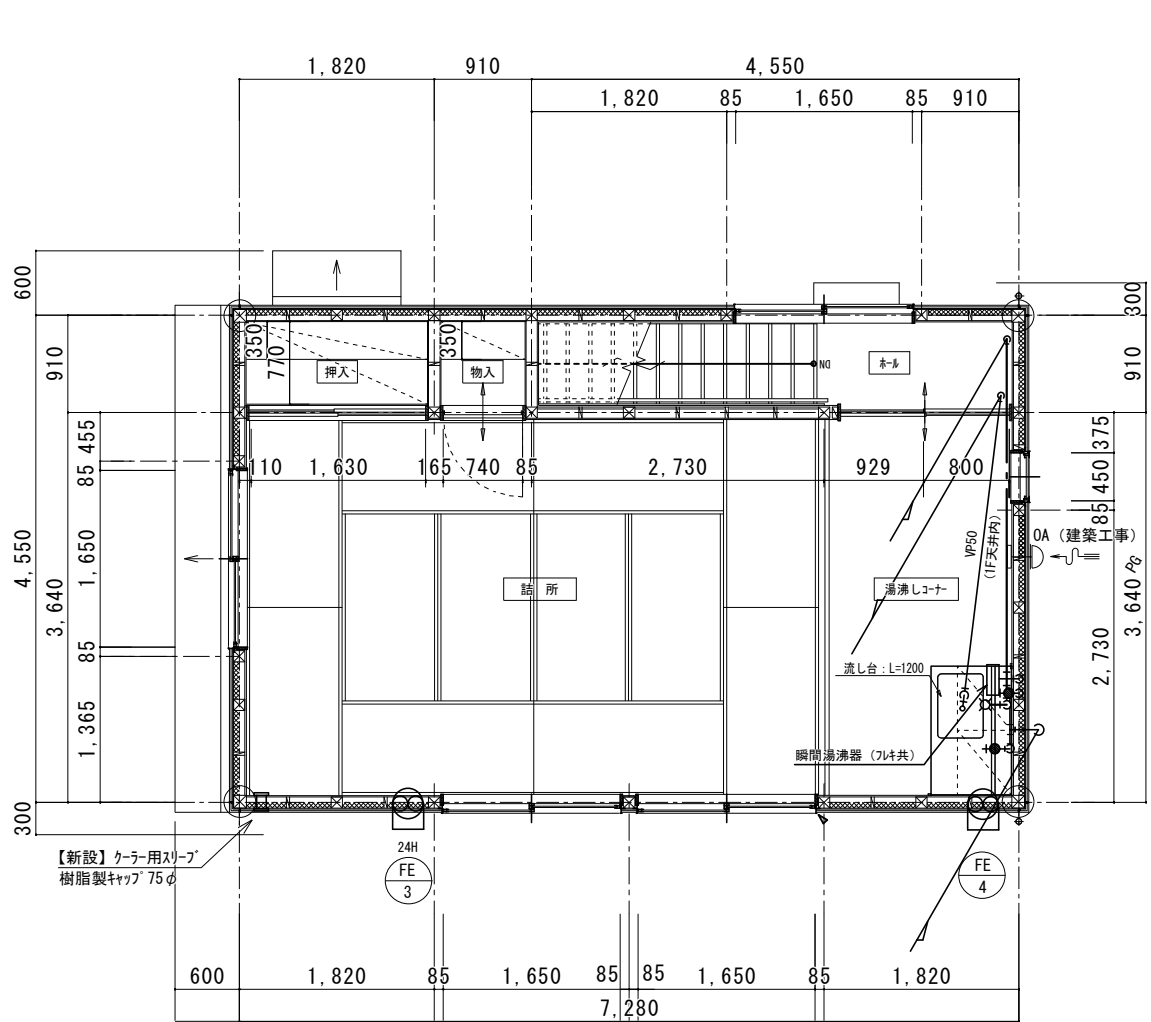
● 地中埋設標示ピンを示す

New Appliance List				
記号	名称	樹寸法	参考管底高	蓋仕様・備考
①	トラップ 胴 (体) リアロビレシ製	φ300	GL-300	レジコン製 (密閉型) (泥溜め ≥ 200mm)
②	トラップ 胴 (体) リアロビレシ製	φ300	GL-300	レジコン製 (密閉型) (泥溜め ≥ 150mm)

工 事 名						岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事		No. M-03
図 面 名		配 置 図（改 築 後）				縮 尺	1/100	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和7年4月		
公共建築課	課 長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任	設計担当	



1階平面詳細図 1/50



2階平面詳細図 1/50

換気量計算表						
階	室 名	床面積 (A) [m ²]	天井高 (H) [m]	換気回数 (N) [回/h]	必要換気量 (V) [m ³ /h]	備 考
1	機庫	28.16	2.70	5	V=AHN =28.16x2.70x5≒380[m ³ /h]	FE-1
1	便所	1.66	2.35	15	V=AHN =1.66x2.35x15≒58.5[m ³ /h]	FE-2
2	詰所	19.87	2.40	0.3	V=AHN =(19.87x2.40+6.62x2.46)x0.3 ≒19.2[m ³ /h]	FE-3 シックハウス対策
	湯沸かしコーナー	6.62	2.46			
2	詰所	19.87	2.40	-	<火気使用による計算> V=30KQ =30x0.93x(11.2+5.6)≒469[m ³ /h] かつ <人員密度による計算> V=30An (n=0.5) =30x26.49x0.5≒398[m ³ /h] を満足のこと。	FE-4 K:理論排ガス量※1 Q:発熱量※1
	湯沸かしコーナー	6.62	2.46			

換気機器リスト								
記号	階	設置場所	機器名称	機器仕様			台数	換気量判定 (必要換気量<機器風量 ならOK)
				材質等	参考型番	機器風量[m³/h]		
FE 1	1	機庫	壁付換気扇(スタンダードタイプ)	羽根径200Φ、引きひもなし、コンセントプラグ付き、電気式シャッター、1Φ-100V	EX-20EH ₉	588	1	380[m³/h]<588[m³/h] OK
			ウェザーカバー	ステンレス製	P-20CVS ₉	-	1	
			ウェザーカバー用防鳥網	ステンレス製	P-20CS ₄	-	1	
			木枠	-	W-202	-	1	
FE 2	1	便所	パイプ用ファン	ダクト径100Φ、連結端子、電気式シャッター、1Φ-100V	V-08PD ₉	85	1	58.5[m³/h]<85[m³/h] OK
			パイプスリーブ	プラスチック製	P-13PSP	-	1	
			深形フード	ステンレス製・防虫網付き(#10)	P-13VSQ ₄	-	1	
FE 3	2	詰所	パイプ用ファン	ダクト径100Φ、24時間換気機能付き、連結端子、角形格子グリル、1Φ-100V	V-08KLD ₄	38	1	19.2[m³/h]<38[m³/h] OK
			パイプスリーブ	プラスチック製	P-13PSP	-	1	
			深形フード	ステンレス製・防虫網付き(#10)	P-13VSQ ₄	-	1	
			コントロールスイッチ	24時間換気専用	P-11SWL ₂	-	1	
FE 4	2	湯沸かしコーナー	壁付換気扇(スタンダードタイプ)	羽根径200Φ、引きひもなし、コンセントプラグ付き、電気式シャッター、1Φ-100V 本体：銅板製、羽根：アルミ製	EX-20EMP ₉	606	1	469[m³/h] 398[m³/h]<606[m³/h] OK
			ウェザーカバー	ステンレス製	P-20CVS ₉	-	1	
			ウェザーカバー用防鳥網	ステンレス製	P-20CS ₄	-	1	
			木枠	-	W-202	-	1	

※1		
	Q:発熱量[kW]	K:理論排ガス量[m ³ /kWh]
瞬間湯沸器5号	5.6(6.4)	0.93
ガスコンロ	11.2(11.6)	

発熱量はプロパンガス使用時の値である。
()内の数値は都市ガス使用時の値である。

工事名					岡山市消防団豊分団消防機庫改築工事		No.	
図面名		機械設備平面詳細図			縮尺	1/50		M-04
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 令和7年4月								
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	課員		設計担当